

Osaka University Intensive Japanese Language and Culture Program for Exchange Students

# Maple Program

大阪大学短期留学日本語日本文化特別プログラム

メイプル・プログラム

Fall Semester

2011-2012

平成23年度秋学期



Center for Japanese Language and Culture  
Osaka University

大阪大学日本語日本文化教育センター

# もくじ 目次

がくねんれき  
学年暦

そうごうあんない  
総合案内

じゅ ぎょう 授 業	1
しけん せいせき 試 験 ・ 成 績	3
しゅうりょうにんてい 修 了 認 定	5
じゅぎょうかちく りしゅう 授 業 科 目 の 履 修	7
じむしつ じむとりあつかい CJLC 事 務 室 の 事 務 取 扱	9
にほんごのうりよくしょうめいしょ はっこう 日 本 語 能 力 証 明 書 の 発 行 に つ い て	11
しゅうこうつうきかんきゅうおよ ぼうふううけいほうはつれいじ ばあい じゅぎょう と あつか しょう 主 要 交 通 機 関 運 休 及 び 暴 風 警 報 発 令 時 の 場 合 の 授 業 の 取 り 扱 い に つ い て ( 抄 )	17
あんない プ ロ グ ラ ム 案 内	20
シ ラ バ ス	30
じかんわり 時 間 割	148
みのお がくしゃはい ち ず 箕 面 キ ャ ン パ ス 学 舎 配 置 図	156

へいせい ねん ど あきがっ き がくねんれき  
平成23年度秋学期学年暦

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	③	4 5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	⑳	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	㉓	24
25	26	27	28	29	30	31

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	⑪
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	㉒	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

しゅくじつ  
祝日

オリエンテーション

プレースメントテスト (日本語既習者 対象)

秋学期開始

授業開始

履修登録期間

履修登録締切日

履修登録確認期間

補講期間

冬期休業

授業再開

必修 / 選択科目試験期間

補講期間

秋学期終了

9月27日 — 9月30日

9月27日 — 9月29日

10月3日

10月3日

10月3日 — 10月17日

10月17日

10月24日 — 10月28日

12月20日、22日

12月23日 — 1月5日

1月6日

1月31日 — 2月13日

2月15日、17日、20日

3月31日

がくねんれき へんこう  
学年暦は変更されることがあります

# 総 合 案 内

## 1. 授業

### (1) 学期

1年を春学期(4月1日から9月30日まで)と秋学期(10月1日から翌年3月31日)に分けます。  
 授業は春学期に15週、秋学期に15週、年間30週にわたって開講しています。

### (2) 授業時間

授業は1時限当たり90分で行い、月曜日から金曜日まで、1日5時限開講しています。

時 限	授 業 時 間
1 時限	午前 8:50 — 10:20
2 時限	午前 10:30 — 12:00
3 時限	午後 1:00 — 2:30
4 時限	午後 2:40 — 4:10
5 時限	午後 4:20 — 5:50

### (3) 学修時間

授業の方法に応じて学修時間を次のように定めています。

種 別	講義	演習	種 別	実 習
学修時間	授業15時間	自習30時間	学修時間	授業30時間 自習15時間

### (4) 休講

休講はCJLC事務室前の掲示板によって通知しますので、授業前に必ず確認してください。

休講の掲示がなく、授業開始時刻から30分以上経過しても授業担当講師が出講しない場合は、

CJLC事務室に連絡して、その指示を受けてください。

交通機関の運休や暴風警報の発令によって授業が休講になる場合があります。「主要交通機関

運休及び暴風警報発令時の場合の授業の取り扱いについて」(17ページ参照)に従って、休講になるかどうかを判断してください。

## (5) 補講

授業の進度または休講を補う授業として補講が行われる場合があります。直接担当講師が指示するほか、掲示によっても通知します。

## (6) 出席

本センターの短期集中日本語プログラムでは、20%以上授業を欠席すると、プログラム修了が認められなくなりますので注意してください。やむをえない理由での欠席の場合、欠席前、または欠席後1週間以内に、「欠席届」をCJLC事務室まで届け出なければなりません。その際、欠席理由を証明する書類を添付しなければなりません。「欠席届」の用紙はCJLC事務室にあります。

## 2. 試験・成績

### (1) 試験

試験は、筆記試験、口頭試験、レポート、論文、実技等の方法によって行われます。出席回数、定期試験外に行われる試験の成績などが加味されることもあります。また、平常の成績をもって試験の成績に代える場合もあります。各授業がどのような評価方法を用いるかは、後掲「授業案内」を参照してください。

### ● 試験に関する注意事項

- ① 試験に関する通知は掲示により行います。ただし、定期試験以外の試験については、授業担当講師から口頭で通知されます。なお、発表後も変更になる場合がありますので、掲示に注意してください。
- ② 定期試験を実施する授業科目名は、原則として試験期間の2週間前に通知します。試験の日程や内容に関する通知は、試験期間の1週間前に行います。
- ③ 試験開始時間から30分以上遅れて来た場合は、試験を受けられませんので、遅れないように注意してください。試験開始後45分以降は、試験会場から退室することができます。
- ④ 試験中にカンニングなどの不正行為が発覚した場合は、即時受験を停止し、当該科目の無効を命じられます。不正行為を行った場合、学則により懲戒処分を受けます。
- ⑤ やむをえない理由で試験が受けられない場合は、「欠席届」によりCJLC事務室に届け出てください。「欠席届」の用紙はCJLC事務室にあります。
- ⑥ 履修登録をしていない科目を受験しても無効です。

(2) 成績の評価

履修した授業科目の成績は、次表のとおり「S・A・B・C・F」のランクで評価されます。

判定	割合				不合格
評価	S	A	B	C	F
成績 (100点満点)	100 - 90点	89 - 80点	79 - 70点	69 - 60点	59 - 0点

(3) 成績の通知

履修した授業科目の成績は、当該学期の修了式以降に「成績通知表」として各自に配布します。

3. 修了認定

(1) 修了要件

プログラムにおいて所定の授業科目を修得することが必要です。具体的な授業科目名、科目数、必修・選択科目などの内訳は、後掲のプログラム案内を参照してください。

修了の可否は、8月に掲示によって発表します。

(2) 修了証書

プログラムの所定の修了要件を、定められた履修方法によって修めた者には、「修了証書」が授与されます。

## 4. 授業科目の履修

### (1) プレースメント ― 日本語レベルの判定

本センターで開講されている授業科目を履修するためには、日本語レベルの判定を受けなければなりません。日本語レベルの判定は、プレースメントアンケートとプレースメントテストによって行われます。プレースメントテストの日程や実施場所については、CJLC 事務室前の掲示板で確認してください。

#### ① プレースメントアンケート

大学での専攻や外国語(日本語を含む)学習歴などを尋ねるアンケートです。全員必ずアンケートに回答し、CJLC 事務室に提出してください。

#### ② プレースメントテスト(文法、漢字、作文、面接)

日本語を勉強したことがある人は、必ず学期毎にプレースメントテストを受験してください。

### (2) 履修説明会(プログラム別履修オリエンテーション)

学期開始時に授業科目の履修方法に関する説明会を行います。指定クラスの必修科目の教材なども配布されますので、全員必ず出席してください。プログラム別履修オリエンテーションの日時や実施場所については、CJLC 事務室前の掲示板で確認してください。

### (3) 履修登録

学期毎に履修登録を行います。履修登録は「履修届」によって行ってください。「履修届」はこの冊子の末尾にあります。

履修登録をしていない科目は、授業に出席していても修得したとは認められず、成績を受け取ることはできません。履修登録ミスがあっても、履修登録期間以降の訂正は認められませんので、くれぐれも登録ミスがないよう細心の注意を払って手続きをしてください。

履修登録期間は、授業開始から約2週間です。提出期限を過ぎての「履修届」提出は認められませんので、必ず履修登録期間中に CJLC 事務室窓口で登録を完了するようにしてください。(郵送、電送での提出は受け付けません。)

### ● 履修登録に関する注意事項

- ① 指定された授業科目以外の科目を履修登録することはできません。
- ② 指定されたクラスの授業以外に登録できない授業科目があります。上記(2)のプログラム別履修オリエンテーションでの「履修上の注意」に留意し、その指示に従って履修してください。
- ③ 履修登録締切後、「履修登録確認表」を CJLC 事務室で受け取り、誤りがないかどうかチェックし、誤りの有無にかかわらず、署名のうえ必ず CJLC 事務室に提出してください。

## 5. CJLC事務室の事務取扱

### (1) 事務取扱時間

CJLC事務室の事務取扱は次のとおりです。

場所	日本語日本文化教育センター棟1階	
窓口事務取扱時間	午前	10:00 - 11:15
	午後	0:15 - 4:30

(注) 臨時の休業や窓口取扱時間を変更する場合は、掲示で通知します。

### (2) 教務関係事項の通知方法

授業や試験に関する連絡など教務関係の通知は、すべて掲示で行います。CJLC事務室前の掲示板を、授業前に必ず確認してください。

### (3) 電話による照会

休講、行事予定、その他授業や試験に関する連絡は、すべて掲示によって行っています。電話等で照会しても一切受け付けません。講師の住所や電話番号の問い合わせにも応じません。

### (4) 証明書

教務関係の証明書類は、CJLC事務室窓口で「証明書交付願」により申請してください。原則として、申請日から7日後に受け取ることができます。ただし、年度末(3月)など混み合う時期は、10日程度の余裕を見ておいてください。

CJLC事務室窓口で発行される教務関係の証明書は以下のとおりです。

- ① 成績証明書
- ② 修了証明書
- ③ 日本語能力証明書

## 日本語能力証明書の発行について

次の要件を満たした場合には、＜会話＞＜読解＞＜文法・作文＞の項目について、日本語能力を証明します。この3項目に基づいて＜総合評価＞を判定します。

### ＜会話＞

#### 会話 Level 4

専門的なことについても研究発表や議論ができる。

要件：選択科目の「上級聴解」「上級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

#### 会話 Level 3

一般的なことについて議論ができる。講義を聞いて理解できる。

要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを合格しており、かつ、選択科目の「中級聴解」「中級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

#### 会話 Level 2

日常生活に不自由しない程度の会話ができる。自分の研究について簡単な質疑応答ができる。

要件：必修科目の「初中級文法」を合格しており、かつ、選択科目の「初中級聴解」「初中級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

#### 会話 Level 1

ごく簡単な日常会話ができる。自分の研究について簡単な説明ができる。

要件：必修科目の「初級文法」及び「初級聴解」を合格しており、かつ、選択科目の「初級聴解」「初級会話」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

### ＜読解＞

#### 読解 Level 4

高度な学術論文が理解できる。約2,000字の漢字、約8,000語の語彙を習得している。

要件：プレースメントテストで「文法」問題A・Bがともに70点以上、かつ、「漢字」問題B・Cがともに60点以上の成績の場合、または、選択科目の「上級文法」「漢字研究」「上級読解」「上級漢字」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

どっかい  
読解 Level 3

せんもんようご ぶく こうど ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく  
専門用語を含むやや高度な文章が理解できる。約1,000字の漢字、約5,000語の語彙を習得し  
ている。

ようけん ひっしゅうかも ちゅうきゅうぶんぼう りしゅう もの ごうかく せんたくかもく ちゅう  
要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを合格しており、かつ、選択科目の「中  
きゅうぶんぼう ちゅうきゅうかんじ ちゅうきゅうどっかい すく かもく てんいじょう ごうかく  
級文法」「中級漢字」「中級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格していること。

どっかい  
読解 Level 2

せんもんようご ぶく いっぱんてき ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく  
専門用語を含まない一般的な文章が理解できる。約500字の漢字、約3,000語の語彙を習得し  
ている。

ようけん ひっしゅうかも しょちゅうきゅうぶんぼう およ しょちゅうきゅうどっかい かんじ ごうかく せんたくか  
要件：必修科目の「初中級文法」及び「初中級読解・漢字」を合格しており、かつ、選択科  
もく しょちゅうきゅうぶんぼう しょちゅうきゅうかんじ しょちゅうきゅうどっかい すく かもく てんいじょう ごうかく  
目の「初中級文法」「初中級漢字」「初中級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格  
していること。

どっかい  
読解 Level 1

やさい ぶんしょう りかい やく じ かんじ やく ご ごい しゅうとく  
ごく易しい文章が理解できる。約300字の漢字、約1,800語の語彙を習得している。

ようけん ひっしゅうかも しょきゅうぶんぼう およ しょきゅうどっかい かんじ ごうかく せんたくかもく  
要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」を合格しており、かつ、選択科目の  
しょきゅうぶんぼう しょきゅうかんじ しょきゅうどっかい すく かもく てんいじょう ごうかく  
「初級文法」「初級漢字」「初級読解」のうち少なくとも1科目を70点以上で合格しているこ  
と。

ぶんぼう さくぶん  
<文法・作文>

ぶんぼう さくぶん  
文法・作文 Level 4

せんれん にほんご けんきゅうろんぶん さくせい  
洗練された日本語で研究論文を作成することができる。

ようけん ぶんぼう もんだい てんいじょう かんじ もんだい  
要件：プレースメントテストで、「文法」問題A・Bがともに70点以上、かつ、「漢字」問題  
B・Cがともに60点以上の成績の場合。または、選択科目の「上級作文」「上級文法」の少  
なくとも1科目（「上級作文」の方が望ましい）を70点以上で合格していること。

ぶんぼう さくぶん  
文法・作文 Level 3

きほんてき ぶんけい じゆう つか せいかく にほんご さくせい  
基本的な文型（約250）を自由に使ってほぼ正確な日本語でレポートを作成することができ  
る。

ようけん ひっしゅうかも ちゅうきゅうぶんぼう りしゅう もの てんいじょう ごうかく せんたく  
要件：必修科目の「中級文法」を履修した者はそれを70点以上で合格しており、かつ、選択  
かもく ちゅうきゅうさくぶん ちゅうきゅうぶんぼう すく かもく ちゅうきゅうさくぶん ほう のぞ てん  
科目の「中級作文」「中級文法」の少なくとも1科目（「中級作文」の方が望ましい）を70点  
いじょう ごうかく  
以上で合格していること。

ぶんぼう さくぶん  
文法・作文 Level 2

きほんてき ぶんけい やく つか かんたん さくせい  
基本的な文型 (約200) を使って簡単なレポートを作成することができる。

ようけん ひっしゅうかも しよちゅうきゅうぶんぼう およ しよちゅうきゅうどっかい かんじ てんいじょう ごうかく  
要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」をどちらも70点以上で合格して  
おり、かつ、せんたくかもく しよちゅうきゅうさくぶん しよちゅうきゅうぶんぼう すく かもく しよちゅうきゅうさくぶん  
選択科目の「初級作文」「初級文法」の少なくとも1科目（「初級作文」  
ほう のぞ  
の方が望ましい）を70点以上で合格していること。

ぶんぼう さくぶん  
文法・作文 Level 1

しよきゅう きほんてき ぶんけい やく つか みじか ぶん つく  
初級レベルの基本的な文型 (約150) を使って短い文を作ることができる。

ようけん ひっしゅうかも しよきゅうぶんぼう およ しよきゅうどっかい かんじ てんいじょう ごうかく  
要件：必修科目の「初級文法」及び「初級読解・漢字」をどちらも70点以上で合格して  
おり、かつ、せんたくかもく しよきゅうさくぶん しよきゅうぶんぼう すく かもく しよきゅうさくぶん ほう のぞ  
選択科目の「初級作文」「初級文法」の少なくとも1科目（「初級作文」の  
てんいじょう ごうかく  
の方が望ましい）を70点以上で合格していること。

様 式

大阪大学 日本語国際文化教育センター  
日本語能力証明書  
CERTIFICATE OF JAPANESE LANGUAGE PROFICIENCY  
CENTER FOR JAPANESE LANGUAGE AND CULTURE, OSAKA UNIVERSITY

氏名  
Name

生年吉日  
Date of Birth

国 籍  
Nationality

性 別  
Sex

プログラム  
Program

登録期間  
Period of Enrollment

From Year/Quarter To Year/Quarter

上記の者は下記レベルの日本語能力に到達したことを証明します。  
This is to certify that the above named person has achieved the following level of Japanese language ability.

総合評価  
General Ability

聴 解  
Listening/Speaking

読 解  
Reading Comprehension

文法・語彙  
Grammar/Vocabulary

発行単位  
Date of Issue

大阪大学 日本語国際文化教育センター  
Director, Center for Japanese Language and Culture  
奥西 敏介  
Osamu Otsuki

Official Seal

しゅようこうつうきかんうんきゅうおよ ぼうふうけいほうはつれいじ ば あい  
**主要交通機関運休及び暴風警報発令時の場合の**  
 じゅぎょう とりあつかい しょう  
**授業の取扱いについて（抄）**

へいせい ねん がつ かきょうじゅがいかいけつてい  
 平成22年9月9日教授会決定

こうつうきかんうんきゅう ば あい と あつかい  
**1. 交通機関運休の場合の取り扱い**

ストライキ、災害等により、阪急電鉄（梅田－北千里間）、地下鉄・北大阪急行電鉄（梅田－千里中央間）、阪急バス（千里中央－間谷住宅・阪大外国語学部前）のいずれかが運休となった場合は、全日授業休講とする。ただし、運休が解除された場合は、次のとおり取り扱う。

うんきゅうかいじよじこく 運休解除時刻	じゅぎょう と あつかい 授業の取り扱い
ご ぜん じ い ぜん かいじよ ば あい 午前6時以前に解除された場合	ぜんじつじゅぎょうじっし 全日授業実施
ご ぜん じ い ぜん かいじよ ば あい 午前9時以前に解除された場合	だい じ げん だい じ げんじゅぎょうじっし 第3時限～第5時限授業実施

ぼうふうけいほうはつれいじ と あつかい  
**2. 暴風警報発令時の取り扱い**

おおさか ふ とよなかし すいたし みのおし また し ふく ちいき ぼうふうけいほう はつれい  
 大阪府豊中市・吹田市・箕面市のいずれか又はこれらの市を含む地域に「暴風警報」が発令された場合は、全日授業休講とする。ただし、警報が解除された場合は、次のとおり取り扱う。

けいほうかいじよじこく 警報解除時刻	じゅぎょう と あつかい 授業の取り扱い
ご ぜん じ い ぜん かいじよ ば あい 午前6時以前に解除された場合	ぜんじつじゅぎょうじっし 全日授業実施
ご ぜん じ い ぜん かいじよ ば あい 午前9時以前に解除された場合	だい じ げん だい じ げんじゅぎょうじっし 第3時限～第5時限授業実施

ちゅうい かいじよ かくにん など ほうどう  
 （注意）解除の確認は、ラジオ、テレビ等の報道によるものとする。

ほ そく じゅぎょうじかんたいちゅう ぼうふうけいほう はつれい ば あい どうがいじゅぎょうしゅうりょうご すみ きたく  
 （補足）授業時間中に暴風警報が発令された場合は、当該授業終了後、速やかに帰宅すること。

ふ き  
**附記**

と あつかい へいせい ねん がつついたち じっし  
 この取扱いは、平成22年10月1日から実施する。

2011-2012 メイプル・プログラム案内

2011-2012 Maple Program Guide

# 2011-2012 メイプル・プログラム案内

メイプル・プログラム (大阪大学短期留学日本語日本文化特別プログラム) は、文部科学省および日本学生支援機構 (JASSO) が推進する、大阪大学短期留学特別プログラムの一つで、日本語日本文化教育センターが教育デザインした日本語日本文化特別プログラムです。このプログラムは、学生がそれぞれの自分の目標に合わせて、日本語能力を高めること、日本の文化や社会についての知識を得ること、自国の言語・文化・社会と比較対照させながら、日本をいろいろな角度から理解できる人材を養成することを目標としています。

## 1. カリキュラム

メイプル・プログラムは1年間のプログラムで、秋学期 (9月から3月まで) と春学期 (4月から8月まで) があります。

修了するためには1年間で30単位以上取得しなければなりません。

日本語日本文化専門演習、日本研究科目、自主研究科目、日本語実習科目の4つのカテゴリがあります。

a) 日本語日本文化専門演習科目では総合的に日本語・日本文化を学ぶことができます。この授業では文化の新旧を問わずさまざまなテーマについて議論したり、映像を取り入れたりしたさまざまな教室活動や調査活動、日本の衣食住に関わる近隣の施設への実地見学 (社会・文化体験学習)、日本人のチューター (学部生および大学院生) との異文化理解活動を通して、総合的に日本の言語・文化・社会を自国のそれと比較対照させながら、さまざまな視点から分析できる能力を養うことを目指しています。この授業は必修です。

b) 日本研究科目には、英語で教授される講義科目の他に日本語で教授される講義科目が開講されます。英語で教授される講義では、日本人の学部生も参加しますので、比較対照的な環境で、講師が学生各自の文化基盤に留意しながら、日本に関する断片的な知識が統合できるように、日本の言語、歴史、社会、政治に関して比較対照的な視座から授業が行われます。日本語で教授される講義では、日本の言語、歴史、社会、政治の諸現象について議論ができ、さらに自立的に情報収集できる能力の涵養を目指しています。この科目は選択科目です。

c) 自主研究科目は在籍大学で研究課題に従事していた学生のための科目です。専門の担当教員の指導のもとで、日本で一次資料を蒐集したり、それを購読したりして、調査研究を継続できます。一年後にはその成果を研究レポートにまとめていきます。

d) 日本語実習科目は、参加学生の日本語技能の習熟度にあわせて幅広く選択履修できるように多くの授業が開講されています。日本語能力試験3級合格（およびそれに準じる）以上の学生が短期間に技能別能力別に学べるよう授業が構成されています。中級コースと上級コースが開講されています。中級コースでは一週間に日本語の表現を学習する必修日本語の授業を1授業90分の6つの授業で学びます。

種別	授業科目	単位数	修了要件
必修	日本語日本文化専門演習	MDR	3年 通年 30単位 以上
選択	日本語研究科目	MR/R	
	自主研究科目	MIS	
必修/選択	日本語実習科目	各1単位	

## 2. 履修指導

このプログラムの全ての学生に対して、日本語日本文化教育センターの指導教員が、履修指導などの学習指導を行います。

## 3. プレースメント（日本語レベルの判定）

日本語科目の授業は、中級・上級の2つのレベルに分かれています。全ての学生は、日本語能力に応じたレベル分けを行うため、各学期の初めにプレースメントテストを受けなければなりません。

#### 4. コース

メイプル・プログラムは中級コースと上級コースを開講します。

##### 4.1 中級コース[MM]

開講科目は次のとおりです。

種別		授業科目		単位数	
必修	演習	日本語日本文化専門演習	MDR	各2単位	
選択	講義/演習	日本研究科目	MR/R		
	演習	自主研究科目	MIS		
必修 <sup>*A</sup>	実習	現代日本語3A: 中級文法 a	MSPa	4単位	6単位
		現代日本語3A: 中級文法 b	MSPb	2単位	
選択 <sup>*B</sup>	実習	日本語実習3A: 中級文法	SP	各1単位	
		日本語実習3B: 中級漢字	K		
		日本語実習3C: 中級読解	RDG		
		日本語実習3D: 中級作文	COMP		
		日本語実習3E: 中級聴解	LIS		
		日本語実習3F: 中級会話	CONV		
		日本語実習3G: 中級CAI	CAI		

\* A 必修科目は、指導教員の許可があれば、選択科目に代えることができます。

\* B 選択科目は、プレースメント試験（科目別試験）結果に基づき、中級レベル科目以外に、上級レベル選択科目から履修することができます。詳しくは指導教員から履修指導を受けてください。

授業内容については「授業案内」を見てください。

## 4.2 上級コース[MA]

開講科目は次のとおりです。

種別		授業科目		単位数
必修	演習	日本語日本文化専門演習	MDR	各2単位
選択	講義/演習	日本研究科目	MR/R	
	演習	自主研究科目	MIS	
選択 *A	実習	日本語実習 4 A: 上級文法	SP	各1単位
		日本語実習 4 B: 上級漢字	K	
		日本語実習 4 C: 上級読解	RDG	
		日本語実習 4 D: 上級作文	COMP	
		日本語実習 4 E: 上級聴解	LIS	
		日本語実習 4 F: 上級会話	CONV	
		日本語実習 4 G: 上級CAI	CAI	

\* A 選択科目は、プレースメント試験（科目別試験）結果に基づき、上級レベル科目以外に、中級レベル選択科目から履修することができます。詳しくは指導教員から履修指導を受けてください。

授業内容については「授業案内」を見てください。

じゅ ぎょう あん ない  
授 業 案 内

Course Descriptions

Code		Subject	Level	Type	種別	授業科目名		Instructor(s)	教員	ページ
日本語日本文化専門演習 (MDR)										
JPN309.82	Tue. 3	MDR	MM1	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		SHIMAMOTO	嶋本隆光	34
JPN309.84	Tue. 3	MDR	MM2	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		KATO.H	加藤 均	35
JPN409.82	Tue. 3	MDR	MA1	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		NAKATA	中田一志	36
JPN409.84	Tue. 3	MDR	MA2	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		MIZUTA	水田明男	37
JPN409.86	Tue. 3	MDR	MA3	Sem.	演習	日本語日本文化専門演習		KISHIDA	岸田泰浩	38
日本研究科目 (MR / R)										
CUL355.02	Mon. 3	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本宗教研究 I	日本宗教研究	TONGU	頓宮 勝	39
CUL350.02	Mon. 5	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本文化研究 I	日本文化研究	FUKUMITSU	福光敬子	40
CUL352.04	Fri. 4	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本文化研究Ⅱ	日本文化研究	TAMAS	タマシ・カルメン	41
SOC362.02	Mon. 4	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本政治思想研究 I	日本政治思想研究	CARMONA	カルモナ・ダニエル	42
SOC364.04	Tue. 2	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本社会研究 I	日本社会研究	WATANABE	渡邊親文	43
SOC364.06	Tue. 1	MR	MM/MA	Lec./Sem.	講義/演習	日本社会研究Ⅲ	日本社会研究	INUJI	乾 由紀子	44
LIN331.02	Mon. 4	R	J/MM	Lec.	講義	日本語学講義 I	日本語学入門	KISHIDA	岸田泰浩	45
LIN332.02	Fri. 5	R	J/MM	Sem.	演習	日本語学研究Ⅴ	国語学研究	TSUTA	薦 清行	46
LIN333.02	Wed. 5	R	J/MM	Lec.	講義	日本語学講義Ⅴ	日本語教育学入門	YAMAMOTO.S	山本 進	47
LIT341.02	Mon. 4	R	J/MM	Lec.	講義	日本文学講義 I	日本近現代文学	GONOJI	五之治昌比呂	48
LIT344.02	Fri. 4	R	J/MM	Sem.	演習	日本文学演習Ⅴ	日本の伝統芸能	SHIBATA	柴田芳成	49
CUL351.02	Tue. 2	R	J/MM	Sem.	演習	日本文化研究Ⅲ	地域文化研究	SHIMAMOTO	嶋本隆光	50
CUL352.02	Mon. 1	R	J/MM	Lec.	講義	日本文化講義 I	日本文化入門	MOTOBAYASHI	本林靖久	51
CUL353.02	Mon. 4	R	J/MM	Lec.	講義	日本文化講義Ⅴ	日本史入門	SANO	佐野方郁	52
SOC360.02	Wed. 2	R	J/MM	Lec.	講義	日本政治経済研究Ⅲ	日本経済研究	ITO.TOSHI	伊藤敏雄	53
SOC361.02	Wed. 4	R	J/MM	Sem.	演習	日本政治経済演習Ⅲ	経営学	INOUE.S	井上千一	54
SOC364.02	Mon. 5	R	J/MM	Sem.	演習	日本社会演習Ⅲ	社会学演習	NUKITA	貴田優子	55
自主研究科目 (MIS)										
DR219.82	Tue. 4	MIS	M	Sem.	演習	自主研究	自主研究	KATO.H	加藤 均	56
DR219.84	Tue. 4	MIS	M	Sem.	演習	自主研究	自主研究	NAKATA	中田一志	57
DR219.86	Tue. 4	MIS	M	Sem.	演習	自主研究	自主研究	MIZUTA	水田明男	58
MM 必修科目 (MSP)										
JPN300.02	Mon. 2	MSPA	MM1	Rec.	実習	現代日本語3A-1A	中級文法 α	HARADA	原田佳代子	59
JPN300.02	Tue. 1							FURUKAWA	古川由理子	
JPN300.02	Wed. 2							KATSUKI	香月裕介	
JPN300.02	Thu. 2							FURUE	古江尚美	
JPN300.12	Wed. 1	MSPB	MM1	Rec.	実習	現代日本語3A-1B	中級文法 β	YAMAMOTO.S	山本 進	60
JPN300.12	Fri. 2							TANAKA.K	田中恵子	
JPN300.04	Mon. 2	MSPA	MM2	Rec.	実習	現代日本語3A-2A	中級文法 α	MIHARA	三原千佳	61
JPN300.04	Tue. 1							KOBAYASHI	小林可奈子	
JPN300.04	Wed. 2							NONAKA	野中 篤	
JPN300.04	Thu. 2							YAMAZAWA	山澤園子	
JPN300.14	Wed. 1	MSPB	MM2	Rec.	実習	現代日本語3A-2B	中級文法 β	HIBI	日比伊奈穂	62
JPN300.14	Fri. 2							IMAI	今井忍	

Code		Subject	Level	Type	種別	授業科目名		Instructor(s)	教員	ページ
MM 選択日本語実習科目										
JPN310.02	Mon. 3	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3A	中級文法	ISHIBASHI	石橋玲央	63
JPN310.04	Wed. 1	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3A	中級文法	NONAKA	野中 篤	64
JPN310.06	Wed. 4	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3A	中級文法	YOSHIKANE	吉兼奈津子	65
JPN310.08	Thu. 4	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3A	中級文法	ATSUTA	熱田万美	66
JPN310.10	Fri. 1	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3A	中級文法	MATSUMOTO.T	松本朋子	67
JPN310.12	Fri. 3	SP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3A	中級文法	SYUTO	首藤美香	68
JPN313.04	Tue. 2	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3B	中級漢字	KITAGAWA	北川美香	69
JPN313.06	Wed. 3	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3B	中級漢字	KUNIKATA	國方栄二	70
JPN313.08	Wed. 5	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3B	中級漢字	HIROKAWA	廣川直幸	71
JPN313.10	Thu. 3	K	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3B	中級漢字	FURUE	古江尚美	72
JPN314.02	Tue. 2	RDG	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3C	中級読解	FURUKAWA	古川由理子	73
JPN314.04	Wed. 4	RDG	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3C	中級読解	HIROKAWA	廣川直幸	74
JPN314.06	Thu. 3	RDG	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3C	中級読解	MASHITA	真下恭子	75
JPN314.08	Fri. 1	RDG	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3C	中級読解	TANAKA.K	田中恵子	76
JPN315.02	Mon. 5	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3D	中級作文	IDEGUCHI	出口雅也	77
JPN315.04	Tue. 2	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3D	中級作文	LEE	李 裕旋	78
JPN315.06	Wed. 2	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3D	中級作文	KOMINAMI	小南淳子	79
JPN315.08	Wed. 4	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3D	中級作文	NIHONMATSU	二本松泰子	80
JPN315.10	Thu. 1	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3D	中級作文	HATANO	波多野吉徳	81
JPN315.12	Fri. 3	COMP	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3D	中級作文	FUJIE	藤家智子	82
JPN316.02	Mon. 3	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3E	中級聴解	MIHARA	三原千佳	83
JPN316.04	Tue. 2	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3E	中級聴解	SOGAWA	十川理絵	84
JPN316.06	Wed. 3	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3E	中級聴解	NISHIMURA	西村多恵	85
JPN316.08	Thu. 1	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3E	中級聴解	MASHITA	真下恭子	86
JPN316.10	Fri. 1	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3E	中級聴解	KOMORI	小森万里	87
JPN316.12	Mon. 5	LIS	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3E	中級聴解	KATSUKI	香月裕介	88
JPN317.02	Mon. 1	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3F	中級会話	MIHARA	三原千佳	89
JPN317.04	Tue. 2	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3F	中級会話	ITO.H	伊藤 創	90
JPN317.06	Wed. 2	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3F	中級会話	HIBI	日比伊奈穂	91
JPN317.08	Wed. 3	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3F	中級会話	KOMINAMI	小南淳子	92
JPN317.10	Thu. 1	CONV	J/MM	Rec.	実習	日本語実習3F	中級会話	FURUE	古江尚美	93
104MA 選択日本語実習科目										
JPN410.02	Mon. 1	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	HARADA	原田佳代子	94
JPN410.04	Mon. 3	SP	J/MA	Sem.	演習	日本語実習4A	上級文法	YAMAKAWA	山川 太	95
JPN410.06	Tue. 2	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	KOBAYASHI	小林可奈子	96
JPN410.08	Mon. 4	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	KATSUKI	香月裕介	97
JPN410.10	Wed. 5	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	SHOJI	莊司育子	98
JPN410.12	Thu. 1	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	YAMAZAWA	山澤園子	99
JPN410.14	Thu. 2	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	MASHITA	真下恭子	100
JPN410.16	Thu. 3	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	MITO	三登由利子	101
JPN410.18	Fri. 2	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	KOMORI	小森万里	102
JPN410.20	Fri. 4	SP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4A	上級文法	ATSUTA	熱田万美	103
JPN413.02	Mon. 1	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	KUBOTA	久保田ゆかり	104
JPN413.04	Mon. 3	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	SHINOHARA	篠原みゆき	105

Code		Subject	Level	Type	種別	授業科目名		Instructor(s)	教員	ページ
MA 選択日本語実習科目										
JPN413.08	Tue. 1	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	上級漢字	LEE	李 裕旋	106
JPN413.10	Wed. 1	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	KUNIKATA	國方栄二	107
JPN413.12	Wed. 4	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	NISHIMURA	西村多恵	108
JPN413.14	Thu. 1	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	漢字研究	YAMANAKA	山中延之	109
JPN413.16	Fri. 2	K	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4B	上級漢字	ITO.TOMO	伊藤智博	110
JPN414.02	Mon. 2	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	KUBOTA	久保田ゆかり	111
JPN414.04	Mon. 3	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	KISHIDA	岸田泰浩	112
JPN414.06	Mon. 4	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	YAMAZAKI	山崎深雪	113
JPN414.08	Mon. 5	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	YAMAKAGE	山蔭昭子	114
JPN414.10	Tue. 1	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	KITAGAWA	北川美香	115
JPN414.12	Wed. 1	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	KATSUKI	香月裕介	116
JPN414.14	Wed. 2	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	NIHONMATSU	二本松泰子	117
JPN414.16	Wed. 3	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	YOSHIKANE	吉兼奈津子	118
JPN414.18	Thu. 1	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	FUJIWARA	藤原敬介	119
JPN414.20	Thu. 4	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	INOMO	井面 舞	120
JPN414.22	Fri. 3	RDG	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4C	上級読解	TAMAS	タマシ・カルメン	121
JPN415.02	Mon. 2	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	SAKATA	坂田達紀	122
JPN415.04	Mon. 4	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	IMAI	今井 忍	123
JPN415.06	Tue. 1	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	KASAMATSU	笠松瑞子	124
JPN415.10	Wed. 3	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	IWAI	岩井康雄	125
JPN415.12	Thu. 2	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	FUJIWARA	藤原敬介	126
JPN415.14	Thu. 3	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	YAMAMOTO.K	山本一也	127
JPN415.16	Fri. 1	COMP	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4D	上級作文	ITO.TOMO	伊藤智博	128
JPN416.02	Mon. 2	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	KAWABUCHI	川淵節子	129
JPN416.04	Mon. 4	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	IDEGUCHI	出口雅也	130
JPN416.06	Tue. 1	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	ITO.H	伊藤 創	131
JPN416.08	Wed. 1	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	TAKATSUKI	高月喜美	132
JPN416.10	Wed. 4	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	IWAI	岩井康雄	133
JPN416.12	Thu. 5	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	OOSAKI	大崎紀子	134
JPN416.14	Fri. 3	LIS	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4E	上級聴解	ATSUTA	熱田万美	135
JPN417.02	Mon. 2	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	OGURA.Y	小倉慶郎	136
JPN417.04	Mon. 3	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	OGURA.Y	小倉慶郎	137
JPN417.06	Mon. 3	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	FUKUI	福居誠二	138
JPN417.08	Tue. 1	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	YUASA	湯浅章子	139
JPN417.10	Wed. 1	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	TAKAI	高井美穂	140
JPN417.12	Wed. 4	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	KAKUDO	角道正佳	141
JPN417.14	Thu. 2	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	HATANO	波多野吉徳	142
JPN417.16	Thu. 4	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	OOSAKI	大崎紀子	143
JPN417.18	Thu. 5	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	ATSUTA	熱田万美	144
JPN417.20	Fri. 2	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	MATSUMOTO.T	松本朋子	145
JPN417.22	Thu. 3	CONV	J/MA	Rec.	実習	日本語実習4F	上級会話	OOSAKI	大崎紀子	146

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	嶋本 隆光	SHIMAMOTO			
Course No.	演習	MM1	日本語日本文化専門演習		
JPN309.82	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture		
目標 Objective	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな支店から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives		
授業内容 Description	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな支店から分析できる能力を養う。		Through various class activities, fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students (tutors), students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%), essays (40%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	加藤 均	KATO.H			
Course No.	演習	MM2	日本語日本文化専門演習		
JPN309.84	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture		
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな支店から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
Objective	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな支店から分析できる能力を養う。		Through various class activities, fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students (tutors), students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加（60%）、レポート（40%） Class participation (60%), essays (40%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	中田 一志	NAKATA			
Course No.	演習	MA1	日本語日本文化専門演習		
JPN409.82	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture		
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな支店から分析する。			To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.	
Objective	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな支店から分析できる能力を養う。			Through various class activities, fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students (tutors), students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.	
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加（60%）、レポート（40%） Class participation (60%), essays (40%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	水田 明男	MIZUTA			
Course No.	演習	MA2	日本語日本文化専門演習		
JPN409.84	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture		
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな支店から分析する。		To understand Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
Objective	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな支店から分析できる能力を養う。		Through various class activities, fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students (tutors), students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.		
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加（60%）、レポート（40%） Class participation (60%), essays (40%)	

授業題目	日本語日本文化専門演習			Directed Research in Japanese Language and Culture	
担当講師名	岸田 泰浩	KISHIDA			
Course No.	演習	MA3	日本語日本文化専門演習		
JPN409.86	Sem.	MDR	Directed Research in Japanese Language and Culture		
目標	日本の言語、文化や社会を知りさまざまな支店から分析する。			Japanese language,culture and society and analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.	
Objective	さまざまな教室活動、調査活動、実地見学、日本人学生（チューター）との学習を通じて、日本の言語・文化・社会を自国の文化・社会と比較対照させながら、さまざまな支店から分析できる能力を養う。			Through various class activities, fieldwork and study tours as well as collaboration with Japanese students (tutors), students can compare Japanese language/culture/society with that of their home countries, and develop the ability to analyze verbal/social/cultural aspects from various perspectives.	
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
詳細は担当教員より通知。 To be announced.		詳細は担当教員より通知。 To be announced.		授業参加（60%）、レポート（40%） Class participation (60%), essays (40%)	

授業題目	日本人の宗教観			Japanese View on Religion	
担当講師名	Instructor (s)	頓宮 勝 TONGU			
Course No.	Mon. 3	講義 / 演習 Lec./Sem.	MM/ MA MR	日本宗教研究 I Topics in Japanese Religion I : Topics in Japanese Religion	日本宗教研究
目 標	日本人にとって宗教とは何かを明確にするために、 (1) 日本列島の自然に育まれた宗教観を概観し、 (2) 神道と仏教に代表される日本人の習合的な傾向に見られる特質について考える。				
Objective	日本人の宗教について考える場合、神社や寺など現代日本に見られる個別的な要素の理解だけでは不十分で、背景となる歴史的な自然観の理解が不可欠である。そこで、この授業では以下のような形で日本人の宗教観について考察する。 (1) 明暗二分法と名付ける山岳・海洋信仰の背景 (縄文時代) (2) 稲作文化導入と山岳・海洋信仰との習合的関わり (弥生時代) (3) 仏教の本質とそのアジア的展開 (4) 漢字・仏教の導入と社信仰の形成 (5) 「道」と「教」の違いとしての神道と仏教 (6) 都市仏教から山岳仏教への移行と神仏習合				
授業内容	When we think of Japanese religion, we need to have a deep insight into the historical nature-views against the religion apart from the understanding of individual elements in modern Japan, like shrines, temples and so on. So you will study the Japanese concepts on religion in this class as follows; (1) About the background of belief in forested mountains and the ocean termed dichotomy by the idea of darkness and brightness (Jomon period) (2) Introduction of rice-culture and its syncretic relation to item number (1) (Yayoi period) (3) The essence of Buddhism and its expansion into other Asian areas (4) Introduction of Kanji and Buddhism, plus the formation of 'Shrinitism' (5) Difference between the way and teaching in "Shinto" and "Bukkyo" (6) Syncretism of Shinto and Buddhism from a viewpoint of cities and mountains				
Description	When we think of Japanese religion, we need to have a deep insight into the historical nature-views against the religion apart from the understanding of individual elements in modern Japan, like shrines, temples and so on. So you will study the Japanese concepts on religion in this class as follows; (1) About the background of belief in forested mountains and the ocean termed dichotomy by the idea of darkness and brightness (Jomon period) (2) Introduction of rice-culture and its syncretic relation to item number (1) (Yayoi period) (3) The essence of Buddhism and its expansion into other Asian areas (4) Introduction of Kanji and Buddhism, plus the formation of 'Shrinitism' (5) Difference between the way and teaching in "Shinto" and "Bukkyo" (6) Syncretism of Shinto and Buddhism from a viewpoint of cities and mountains				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
1. 授業用に作成した手作り資料 2. 『日本タテヨコ』 学研 (1997) 3. 『神道と仏教』 ひろさちや 新潮選書 (1999) 1. Self-made Handouts 2. Japan As It Is, Gakken, 1997 3. Bukkyo to Shinto (Buddhism and Shinto), Hiro Sachiya, Shincho, 1999	『日本人の信仰』 梶村昇 中公新書 (1988) Nihonjin no Shinko (Belief of Japanese People), Kajimura Noboru, Chukoshinsho, 1988	授業参加 (40%) 平常点: 授業内質疑応答 (30%) 学期末レポート (40%) Grade will be based on class participation (40%), class activities (20%) and final essay (40%)			

授業題目	書道 SHODO-Japanese Calligraphy	
担当講師名	福光 敬子	FUKUMITSU
Course No.	講義 / 演習	MM/ MA
CUL350.02	Lec./Sem.	MR
目標 Objective	この授業の目標は、日本における書道を実習し、また書道の古典作品、現代作品を鑑賞することによって、日本の文化に多面的に接し、理解を深めることにある。	日本文化研究 I 日本文化研究 Topics in Japanese Culture I : Topics in Japanese Culture
授業内容 Description	<p>(1) 第1～3週 … 漢字の書体(篆書、隸書、楷書、行書、草書)の変遷をたどる。また、日本でのひらがな、カタカナの誕生を理解する。ひらがな、カタカナの美しく正しい形を理解する。</p> <p>(2) 第4～5週 … 書道の用具の説明。小筆で仮名を実習。変体仮名の起源の解説を聞き、読み方を練習する。またそれらの使用例を臨書する。</p> <p>(3) 第6～9週 … 漢字が持つ意味の深さ、それを筆で表現する意味、書体の変遷だけでなく、書風の変遷を知り、実作しながら、書表現を考える。</p> <p>(4) 第10～14週 … 書の古典作品を紹介し、実作における内容を充実させる。</p> <p>(5) 第15週 … 最終作品を展示し、各自が書道と作品について発表を行う。</p> <p>中国と日本の書道の歴史、漢字の起源、書体の変遷、仮名の成立過程、書道教育、について概説を行いつつ、日本の伝統文化にどのようにかかわってきたかを考える。すべての書体と仮名、変体仮名の読み方、覚え方、書き方を学習することにより、書道の古典作品の鑑賞につなげる。</p> <p>受講学生は20名を限度とする。</p>	<p>Japanese calligraphy is not only deeply concerned with primary school, high school education, and our daily lives, but it is also a figurative art in itself that uses both Kanji and Kana. The aim of this class is to help students understand Japanese calligraphy and take great interest in it.</p> <p>(1) Week 1~3 ... understanding the birth of Hiragana and Katakana, following the transition of five styles of Kanji and practice of them in beautiful and proper figure with pen or pencil</p> <p>(2) Week 4~5 ... explanation of Shodo tools, practice of Kana with a small brush, practice how to read and write Kana and Hentaigana with the explanation of its origin.</p> <p>(3) Week 6~9 ... practice Kanji or Kana on Hanshi paper with a brush, and make a work on special paper</p> <p>(4) Week 10~14 ... practice and make a scroll work</p> <p>(5) Week 15 ... presentation with own work</p> <p>Lecture about the history of Shodo in China and Japan, the origin of Kanji, the transition of the five styles of Kanji and Kana, and the education, practicing them in beautiful and proper figure.</p> <p>Learning how to read, remember and write cursive style or Hentaigana</p> <p>Appreciation of Shodo written by the students, also classic works</p> <p>Attendance, maximum 20</p>
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography
<p>CJLC 教材叢書『留学生のための書道(入門編)』を配布。</p> <p>書道用具セット(硯、下敷き、文鎮、ケース、バッグ)は4週目に貸し出しし、最終日に返却する。</p> <p>消耗品(大筆、かな筆、すみ、半紙)は4週目に購入する。(おおよそ2050円)その後連絡に応じて半紙、小画仙紙、色紙、仮巻などを購入する。(おおよそ1000円)</p> <p>You can get "Japanese calligraphy for foreign students -basic guide-" written by Fukumitsu Keiko published by CJLC.</p> <p>You can borrow Shodo tool set, ink stone, mat, paper weight, and return at the final class.</p> <p>You should buy the consumption articles, big brush, small brush for Kana, Sumi ink stick, Hanshi paper (about \2050)</p> <p>You will buy more Hanshi paper, special paper, scroll accordingly (about\1000)</p>	<p>「書法之美」「日本書道史」「中国書道史」「新書道字典」(いづれも二玄社)、</p> <p>「書道I」「書道II」「書道III」(東京書籍)、ほか古典法帖 多数</p> <p>Bibliography:</p> <p>"Shoho no Bi" "Nihon Shodoshi" "Chugoku Shodoshi"</p> <p>"Shin Shodo Jiten" (Nigensha)</p> <p>"Shodo I II III" (Tokyohoseki)</p> <p>Various kinds of books of classical masterpieces</p>	<p>評価方法 Manner of Assessment</p> <p>授業参加 50%</p> <p>提出課題 50%</p> <p>Be based on class participation 50%</p> <p>Assignments + final work 50%</p>

授業題目	日本神話入門			An Introduction to Japanese Mythology	
担当講師名	タマシ・カルメン TAMAS				
Course No. CUL352.04	講義/演習 Lec./Sem.	MM/ MA MR	日本文化研究Ⅸ Topics in Japanese Culture Ⅸ	日本文化研究 Topics in Japanese Culture Ⅸ	日本文化研究 Topics in Japanese Culture Ⅸ
目標 Objective	この授業は日本神話を紹介し、比較的なアプローチを使って分析することを目指す。		The aim of this course is to introduce and discuss Japanese myths from a comparative perspective.		
授業内容 Description	この授業では、日本神話の重要なテーマ、つまり他界への旅、シヤーマニズム、イニシエーションの技術や英雄の誕生などへの旅、兄弟結婚、神の業、最初の英雄、太陽崇拜とシヤーマニズムを集中する。比較分析をしながら、日本神話における普遍的なモチーフと思想のパターンを明らかにする。		This course will discuss relevant themes from Japanese mythology, such as the voyage to the underworld, shamanism, initiation practices, or the birth of the hero. Japanese myths will be analyzed from a comparative perspective in an attempt to identify the universal motifs and patterns of thought.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
授業の時にハンドアウトを配布する。 Materials will be provided by the instructor.		1.『古事記』校注・訳者—山口佳紀・神野志隆光 小学館 2003 2.『日本書紀』①校注・訳者—小島憲之・直木孝次郎・西宮一民・蔵中進・毛利正守 小学館 2006 1. The Kojiki—Records of Ancient Matters, translated by B.H. Chamberlain, Charles E. Tuttle Company, Tokyo 1981 2. Nihongi—Chronicles of Japan from the Earliest Times to A.D. 697, translated by W.G. Aston, Charles E. Tuttle Company, Tokyo 1998	1.『古事記』校注・訳者—山口佳紀・神野志隆光 小学館 2003 2.『日本書紀』①校注・訳者—小島憲之・直木孝次郎・西宮一民・蔵中進・毛利正守 小学館 2006 1. The Kojiki—Records of Ancient Matters, translated by B.H. Chamberlain, Charles E. Tuttle Company, Tokyo 1981 2. Nihongi—Chronicles of Japan from the Earliest Times to A.D. 697, translated by W.G. Aston, Charles E. Tuttle Company, Tokyo 1998	授業参加 (40%) 課題 (60%) Participation 40%, assignments 60%	

授業題目	日本政治思想入門 Introduction to Japanese Politics		
担当講師名	カルモナ ダニエル ウィリアム	CARMONA	
Course No.	講義 / 演習	MM/ MA	日本政治思想研究 I 日本政治思想研究
SOC362.02	Lec./Sem.	MR	Topics in Japanese Political Thought I : Topics in Japanese Political Thought
目標 Objective	この授業の目的は日本政治についての理解を深めることである。 The purpose of this class is to better understand Japanese politics.		
授業内容 Description	この授業は、日本語能力は入門程度であるが、日本政治について学ぼうとする学習者向けの授業である。日本語のテキストを通じて、日本政治に関する話題を理解するための用語を習得し、英語での議論を通じて、学習者は様々な時事問題について遠慮なく意見を述べることができる。 This course is designed for students who have an introductory level of Japanese, but who wish to study Japanese politics. Through reading text in Japanese, we will acquire technical terms that will help the student understand news topics; through discussions in English, the student can feel free to express his opinion on various current events.		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
参考書に基づきプリントやコピーを配布する。 Handouts and copies from the reference list will be provided.	『留学生のための入門日本政治』 大阪外国語大学 留学生日本語教育センター (2001) Introducing Japanese Politics for Foreign Students, Center for Japanese Language, Osaka University of Foreign Studies (2001)	授業参加 (30%) 学期末試験 (70%) Class participation 30% and final examination 70%	

授業題目	Title 現代日本社会の分析 Analysis of Contemporary Japanese Society		
担当講師名	Instructor (s) 渡邊 親文 WATANABE		
Course No. SOC364.04	Tue. 2 講義 / 演習 Lec./Sem. MM/ MA MR	日本社会研究 I Topics in Japanese Society I : Topics in Japanese Society	
目標 Objective	このコースの目的は、時事問題等の考察を通して、日本の文化・思想・歴史・宗教などに対する理解を深めることである。 The objective of this course is to deepen the students' understanding of Japanese culture, thought, history, Religion, etc., through considerations of the current topics on Japan.		
授業内容 Description	<p>授業で扱う項目は以下の通りである：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政治</li> <li>経済</li> <li>文化</li> <li>教育</li> <li>宗教</li> <li>国際関係など</li> </ul> <p>Topics covered in this course are as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Politics</li> <li>Economics</li> <li>Culture</li> <li>Education</li> <li>Religion</li> <li>International Relations, etc.</li> </ul>		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
朝日新聞論説委員会、『天声人語』, 講談社インターナショナル Asahi Shimbun Editorial Board, Vox Populi, Vox Dei, Kodansha International		『ジャパントイムズ社説集』, ジャパントイムズ The Japan Times, EDITORIALS, the Japan Times	授業参加 (40%), 発表 (40%), レポート (20%) の 総合評価 Grade will be based on class participation (40%), oral presentation (40%), and term paper (20%).

授業題目	Title			現代日本の社会と文化における諸問題		Social and Cultural Issues in Contemporary Japan	
担当講師名	Instructor (s)		乾 由紀子		INUJI		
Course No.	Thu. 1	講義 / 演習	MM/ MA	MR	日本社会研究Ⅲ	日本社会研究	
SOC364.06		Lec./Sem.			Topics in Japanese SocietyⅢ : Topics in Japanese Society		
目標	Objective			現代日本の社会と文化における諸問題についての洞察力を養う。		The aim of this course is to build the foundation of insights into various social and cultural problems in contemporary Japan.	
授業内容	Description			英語と日本語で書かれた新聞記事や社説にある現代日本の社会と文化における諸現象、諸問題への洞察を読み、自国の社会や文化との比較等を通して様々な視点から分析する。		In this course, we will read newspaper articles and editorials both in English and Japanese to understand insights into various social phenomena and cultural issues in contemporary Japan. In discussions, students are expected to give their opinions by comparing with those of their own countries and analysing from various perspectives.	
テキスト	Textbook (s)		参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment
教材配布	Handouts and copies		朝日新聞論説委員室編『天声人語』2011年夏、vol.165、原書房 ジャパントائمズ編『ジャパントائمズ社説集』2011年上半期 The Japan Times ほか Asahi Shimbun Editorial Board (2011) Vox Populi, Vox Dei, vol.165, Harashobo The Japan Times (2011) Japan Times Editorials, The Japan Times	授業参加 (50%) 最終レポート (50%) Class participation 50%, Final essay 50%			

授業題目	Introduction to Japanese Linguistics		
担当講師名	日本語学入門 岸田 泰浩	KISHIDA	
Course No. LIN331.02	講義 Lec.	J/MM R	日本語学講義 I 日本語学入門 Lecture Course on Japanese Linguistics I : Introduction to Japanese Linguistics
目標 Objective	<p>日本語学の入門書等を読みながら、日本語の文法や言語学の基礎的な知識を習得する。</p> <p>The purpose of this course is to read introductory articles on the Japanese linguistics and familiarize oneself with some fundamental aspects of Japanese grammar as well as general linguistics.</p>		
授業内容 Description	<p>この授業では、日本語の入門書等を講読しながら、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 言語学の論文を読む能力を養い、</li> <li>(2) 日本語学の主要なトピックについて習熟し、</li> <li>(3) 日本語のみならず、受講生の母語等についても言語学的観点から説明や議論ができるようになることを目指す。</li> </ol> <p>This course is designed to help students improve their skills in</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) reading papers on linguistics,</li> <li>(2) talking about frequently-discussed topics in Japanese grammar, and</li> <li>(3) explaining the characteristics of Japanese and their native language (s) linguistically.</li> </ol>		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
庵功雄他『やさしい日本語のしくみ』くろしお出版、2003. Iori, I. et al. "Yasashii nihongo-no shikumi", Kuroshio Pub., 2003.	井口厚夫・井口裕子『日本語文法整理読本一解説と演習』ハベルプレス、1994. 加藤重広『日本語文法ハンドブック』研究社、2006. 近藤安月子『日本語教師を目指す人のための日本語学入門』研究社、2008. 益岡隆志・田窪行則『基礎日本語文法（改訂版）』くろしお出版、1992. Iguchi, A. & Y. Iguchi "Nihongo-bunpo seiri-dokuhon", Babel Press, 1994. Kato, S. "Nihongo-bunpo Handbook", Kenkyusha, 2006. Kondoh, A. "(Nihongo-kyoshi-o mezasu hito-no tame-no) Nihongo-gaku nyumon", Kenkyusha, 2008. Masuoka, T. & Y. Takubo "Kiso nihongo-bunpo" (revised ed.), Kuroshio, 1992.	井口厚夫・井口裕子『日本語文法整理読本一解説と演習』ハベルプレス、1994。 加藤重広『日本語文法ハンドブック』研究社、2006。 近藤安月子『日本語教師を目指す人のための日本語学入門』研究社、2008。 益岡隆志・田窪行則『基礎日本語文法（改訂版）』くろしお出版、1992。 Iguchi, A. & Y. Iguchi "Nihongo-bunpo seiri-dokuhon", Babel Press, 1994。 Kato, S. "Nihongo-bunpo Handbook", Kenkyusha, 2006。 Kondoh, A. "(Nihongo-kyoshi-o mezasu hito-no tame-no) Nihongo-gaku nyumon", Kenkyusha, 2008。 Masuoka, T. & Y. Takubo "Kiso nihongo-bunpo" (revised ed.), Kuroshio, 1992。	授業参加 (70%)、課題提出 (30%) Class attendance (70%) and assignments (30%)

授業題目	Introduction to Kokugogaku		
担当講師名	国語学研究 葛 清行	TSUTA	
Course No. LIN332.02	Fri. 5 演習 Sem.	J/MM R	日本語学研究 V 国語学研究 Research on Japanese Linguistics V : Japanese Linguistics
目 標 Objective	この授業では、国語学についての、基礎的な知識を身につけることを目標とします。		
授業内容 Description	<p>国語学とは、日本語について研究する学問です。特に、何らかの文献を読むことによって、その文献が書かれた時代の日本語の性質を明らかにしようとします。もちろん、現代の言葉も研究の対象ですが、その現代語を扱うときにも、歴史的な背景を重視するところに特徴があります。</p> <p>授業では、日本語の歴史の中で特に特徴的なできごとについて、お話ししていきます。より専門的な問題については、授業中に挙げる参考書などを参照していただきたいと思います。</p>		
	To get basic knowledge about Kokugogaku (Japanese Linguistics).		
	Kokugogaku revolves around an investigation of the Japanese language, especially of old Japanese. Our main method in Kokugogaku is to investigate any given piece of classic Japanese literature. Natural, modern or contemporary Japanese language is also a subject of analysis, while it is also important to grasp the historical background behind such modern or contemporary useage. During this course, we will learn old Japanese language, characteristic historical matters in particular. This course is only an introduction to Kokugogaku, so the students should refer to the references which will be recommended in the class, to solve more specialized problem.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト Handouts		渡辺実『日本語史要説』岩波書店 渡辺実『日本語概説』岩波書店	授業参加・試験 Participation and Final Exam
			評価方法 Manner of Assessment

授業題目	Title			外国人教師のための日本語教授法		Japanese pedagogy for non-native teachers	
担当講師名	Instructor (s)	山本 進	YAMAMOTO.S				
Course No.	Wed. 5	講義 Lec.	J/MM R	日本語学講義 V	日本語教育学入門 Lecture Course on Japanese Linguistics V : Introduction to Japanese Pedagogy		
目標 Objective	日本語教授法の基礎を学ぶ。 The aim of this subject is to get the basic knowledge of Japanese language pedagogy.						
授業内容 Description	<p>授業ですることは次の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 誰に教えるか</li> <li>2. 何を教えるか</li> <li>3. どのように教えるか</li> <li>4. 教えたことをどう計るか。</li> </ol> <p>Topics covered in this subject are follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Whom to teach</li> <li>2. What to teach</li> <li>3. How to teach</li> <li>4. How to evaluate</li> </ol>						
テキスト	Textbook (s)	国際交流基金編『外国人教師のための日本語教授法』国際交流基金 Japan Foundation” GaikokuzinKyoosi no tame no Nihongo KyoozyuHoo”			参考書	Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
		授業参加 (50%)、提出課題 (50%)。出席を重視する。 Grade will be based on class participation (50%) and assignments (50%). Regular attendance is essential.					

授業題目	日本近現代文学史			History of Modern Japanese Literature	
担当講師名	Instructor (s)	五之治 昌比呂	GONOJI		
Course No. LIT341.02	Mon. 4	講義 Lec.	J/MM R	日本文学講義 I 日本近現代文学 Lecture Course on Japanese Literature I : Japanese Modern Literature	
目標 Objective	<p>1) 明治以降の文学史の知識を身につける 2) 代表的な小説の一部を精読する</p>				
授業内容 Description	<p>1. 明治時代以降に書かれた有名な小説のあらすじを、易しい日本語で読みます。あらすじを読む予定の作品は、夏目漱石『坊っちゃん』『こころ』森鷗外『舞姫』川端康成『伊豆の踊子』などです。 2. 小説の一部を原文で読みます。 3. 文学史、文学用語の知識を学びます。 4. 作品に基づき映画の一部を見ます。</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
教科書は使いません。 no textbook		Thomas Rimer, A reader's guide to Japanese literature, Kodansha International, 1991		出席 : 60% 試験 : 40% participation (60%) tests (40%)	

授業題目	Title Introduction to Traditional performing arts of Japan		
担当講師名	Instructor (s) SHIBATA 柴田 芳成		
Course No. LIT344.02	Fri. 4	J/MM R	演習 Sem. 日本文学演習 V 日本の伝統芸能 Seminar Course on Japanese Literature V : Classical Theaters of Japan
目標 Objective	日本の伝統芸能を理解するために必要な基礎知識を身につける。 The purpose of this class is to learn the basic knowledge of various traditional performing arts of Japan.		
授業内容 Description	能、狂言、歌舞伎、文楽などを中心に、日本の伝統芸能について学ぶ。それぞれの芸能をビデオで鑑賞するとともに、作品本文を読解することによって、理解を深めることをめざす。また、劇場などに行く機会をもうけて、実演を鑑賞する（平日の夕方以降、土曜日、日曜日など）。 The aim of this class is to learn about traditional performing arts of Japan, for example Noh, Kyogen, Kabuki, Bunraku. We will learn about each performing arts through appreciating video and reading the scripts. We will go to watch the actual performances at the theater once or twice (on after school or weekend).		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
決まったテキストは使用しない。 There is no textbook. Handouts.		授業中に示す。	授業参加 (80%)、課題 (20%) participation (80%), assignments (20%)

授業題目	Title			大阪の勉強しようか		Why don't you study Osaka?
担当講師名	Instructor (s)			SHIMAMOTO		
Course No. CUL351.02	Tue. 2	Sem.	J/MM R	演習	日本文化研究Ⅲ	地域文化研究 Research on Japanese Culture III : Studies in Japanese Local Culture
目標 Objective	<p>新しく CJLC で学ぶことになった新入生が「選んだ」大阪の町について、広く浅く、いろいろと学びます。そして、大阪の町が「おもしろい」町であることを室きっかけになればよいと考えられています。</p> <p>大阪の町の歴史、面白い行事、おいしい食べ物など、大阪の町についてさまざまな角度から勉強します。そして、セメスターの間に2回、大阪の町を歩いて、授業で学んだことを確認します。</p>			<p>To get to know Osaka, where the new students have chosen for their working place. You are expected to study Osaka not necessarily with an academic objective in mind but with a broad interest in the city.</p> <p>Every week we study Osaka through reading the text, Ryuugakusei no tame no Osaka Tokuhon, A Reader for Osaka for Foreign Students, then twice a semester, we will go out into the city so that you can confirm with your own feet, eyes and tongue what you have studied in the classroom.</p>		
授業内容 Description						
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
『留学生のための 大阪読本』 Ryuugakusei no tame no Osaka Tokuhon		必要に応じて授業中配布します。 To be distributed if necessary		授業出席 ドワーク	50%、討議への参加 20%、リポート	20%、ファイル 10% Class attendance 50%, participation in discussion 20%, field work 20%, final report 10%

授業題目	日本人の人生儀礼と年中行事			Traditional Life Ceremony & Annual function	
担当講師名	本林 靖久	MOTOBAYASHI			
Course No.	講義	J/MM	日本文化講義 I	日本文化入門	
CUL352.02	Lec.	R	Lecture Course on Japanese Culture I : Introduction to Japanese Culture		
目標	授業では日本の伝統的な人生儀礼や年中行事の映像を見ながら、解説し、日本文化に対する幅広く柔軟な見方を養うことを目的としている。		In this class, it sees the image of the Japanese culture and it is explained. This class takes an expansive view of Japanese culture, and aims at developing a flexible point of view.		
Objective	日本人の伝統的な人生儀礼（出産、産育、成人、結婚、厄年・年祝い、葬送儀礼）と年中行事を学びながらも、一方で、現代社会の中で、このような儀礼がどのように変化しているのかを考えてみたい。		These lectures teach about Japanese traditional life ceremony (e.g. Childbirth, Coming-of age ceremony, Marriage, Funeral, and Age celebration,) & annual function. They also look at how their traditional ceremonies have changed due to modern society.		
授業内容					
Description					
テキスト	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
講師作成のテキスト	Manuscripts composed by the lecturer				試験 (80%)・平常点 (20%) examination (80%) and participation (20%)



授業題目	戦後の日本経済		Postwar Japanese Economy	
担当講師名	伊藤 敏雄	ITO.TOSHI		
Course No.	講義	J/MM	日本政治経済研究Ⅲ 日本経済研究	
SOC360.02	Lec.	R	Lecture Course on Japanese Politics and Economy Ⅲ : Introduction to Japanese Economy	
目標	この授業の目的は、戦後日本経済の基本的な知識と専門用語を習得することである。		The objective of this class is to acquire the basic knowledge and technical terms concerning postwar Japanese economy.	
授業内容	この授業では、第二次世界大戦から現在までの日本経済の歩みについて学習する。また、日本の産業と企業にも焦点を当てる。		In this class, we will study the course of the Japanese economy from the Second World War to the present day. In addition, we will focus on its industries and enterprises.	
Description	(1) 国民所得 (2) 復興 (3) 高度成長のメカニズム (4) 石油ショックと安定成長 (5) バブル経済の崩壊 (6) 産業構造 (7) 雇用 (8) 国際経済 (9) 現在の経済問題		Topics covered in this class are as follows: (1) National Income (2) Reconstruction (3) Mechanism of the Rapid growth (4) Oil crisis and Stable growth (5) Collapse of the economic bubble (6) Industrial Structure (7) Employment (8) International Economy (9) Present economic subject	
テキスト	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
CJLC / 『留学生のための入門日本経済』 / CJLC Foreign Students / CJLC			中村隆英『日本経済 その成長と構造』 東京大学出版会、1993年。 岡崎哲二『工業化の軌跡 経済大前史』 読売新聞社、読売新聞社、1997年。 吉川洋『高度成長 日本を変えた6000日』 読売新聞社、1999年。 Nakamura Takafusa. Nihonkeizai: Sono seiyō to kōzō, To kyōdaigakusyūppankai, 1993. Okazaki Tetsuji. Kōgyōka no kiseki: Keizaitaikokuzenshi. Yomiurishinbunsha, 1997. Yoshikawa Hiroshi. Kōdōseiyō: Nippon wo kaeta 6000nic hi. Yomiurishinbunsha, 1999.	授業参加 (60%)、課題 (10%)、小テスト (30%) Participation (60%), assignments (10%), quizzes (30%)
			評価方法	Manner of Assessment

授業題目	日本の企業経営入門 (1) Introduction of Japanese Business Administration (1)		
担当講師名	井上 千一	INOUE.S	
Course No.	Wed. 4	J/MM	経営学
SOC361.02	演習	R	日本政治経済演習Ⅲ Seminar Course on Japanese Politics and Economy Ⅲ : Japanese Business Administration
目標	日本の企業経営について基本的かつ全般的な理解、特に労働と雇用および生活に関する問題点の理解を目標とする。		
Objective	The objective of this class is to acquire a fundamental and general understanding of business administration in Japan, especially of the labor, employment management systems and the condition of life in Japan.		
授業内容	<p>この授業では、はじめに映像を見ることによって、第二次世界大戦の日本経済の発展過程 (1945年～1990年) を全般的に理解します。</p> <p>第2に、日本経済の発展過程と日本企業の成長過程を、授業中のスライドと配布プリントによって詳しく理解する。</p> <p>第3に、この過程で日本企業の経営システムの特質および経営手法について理解する。</p> <p>第4に、日本企業の労働の現場で何が起きているかをみることで、日本経済と日本企業の問題点を明らかにします。</p> <p>この授業により、今までの異なる日本企業の側面を理解できるようにになります。</p>		
Description	<p>First, we understand the development process of the Japanese economy after World War II (1945-1990) by the video.</p> <p>Second, we understand deeply the development process of Japanese economy and the growth process of Japanese enterprises by the slides and handouts.</p> <p>Third, we understand it about the way of the management system of the Japanese enterprise and the management technique in this process.</p> <p>Finally, we explain the problems of Japanese economy and enterprises by examining what happens in the conditions of labor in the Japanese enterprises.</p> <p>We learn to understand the aspects of Japanese enterprises which are different from the present by attending this class.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
資料・レジュメは毎回配布する。Handouts.	・林直道『強奪の資本主義ー戦後日本資本主義の軌跡』新日本出版、2007年。 ・黒田兼一・守屋貴司・今村寛治編著『人間らしい「働き方」・「働かせ方」』ミネルヴァ書房、2009年。 ・労務理論学会編『経営労務事典』晃洋書房、2011年。	・林直道『強奪の資本主義ー戦後日本資本主義の軌跡』新日本出版、2007年。 ・黒田兼一・守屋貴司・今村寛治編著『人間らしい「働き方」・「働かせ方」』ミネルヴァ書房、2009年。 ・労務理論学会編『経営労務事典』晃洋書房、2011年。	<p>評価方法</p> <p>Manner of Assessment</p> <p>平常点・小レポート (50%) と期末レポート (50%) Class participation and mini report 50%, Final report 50%</p>

授業題目	Title			現代の日本社会と若者		Contemporary Japanese society and youth	
担当講師名	Instructor (s)		貫田 優子		NUKITA		
Course No.	Mon. 5	演習	J/MM	日本社会演習Ⅲ	社会学演習	Seminar Course on Japanese Society III : Seminar Course on Sociology	
SOC364.02	Sem.		R				
目標	日本の若者の生活やコミュニケーションの実態について知り、社会学会的視点から考察する力を養う。						
Objective	To get knowledge about social lives and communication of young Japanese and learn how to analyze them from sociological perspective.						
授業内容	この授業では、学校、就労、家族、友人関係、メディア利用など、現代の日本の若者に関するトピックを順次取り上げ、議論する。それぞれのトピックについて、関連する社会学の基礎概念や各種統計データを紹介し、解説する。						
Description	In this class, we will discuss topics about young Japanese social lives such as schooling, working, family, friendship and media use. Statistical data and basic concepts of sociology concerning each topic will be given and explained.						
テキスト	Textbook (s)	友枝敏雄・山田真茂留編『Do! ソシオロジー — 現代日本を社会学で診る』(有斐閣アルマ、2007年)		参考書	Bibliography		
評価方法	Manner of Assessment		授業参加 70%、最終レポート 30% Class Participation 70%, Final report 30%				

授業題目	Title	Independent Study		
担当講師名	Instructor (s)	加藤 均	KATO.H	
Course No.	Tue. 4	演習	M	Independent Study
DR219.82	Sem.	Sem.	MIS	Independent Study
目標	Objective	日本語・日本文化の分野で自主的な調査研究を行う。		
授業内容	Description	日本語・日本文化の分野で、具体的な研究計画を提出し、面接を受けた学生が指導担当教員のもとで調査研究を行い、その成果を研究レポートとして提出する。		
		Students will conduct an independent study/research activity in the study field of Japanese Language and culture.		
		Students who have proposed a study topic in the field of Japanese Language and Culture will be interviewed and assigned to a supervising professor. Under the supervision of the professor, they will conduct a research activity on the particular theme and complete the course by submitting an essay.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
詳細は指導教員より通知。 To be announced.		詳細は指導教員より通知。 To be announced.		授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%), essays (40%)

授業題目	Title	Independent Study		
担当講師名	Instructor (s)	中田 一志	NAKATA	
Course No.	Tue. 4	演習	M	Independent Study
DR219.84	Sem.	Sem.	MIS	Independent Study
目標	Objective	日本語・日本文化の分野で自主的な調査研究を行う。		
授業内容	Description	日本語・日本文化の分野で、具体的な研究計画を提出し、面接を受けた学生が指導担当教員のもとで調査研究を行い、その成果を研究レポートとして提出する。		
		Students will conduct an independent study/research activity in the study field of Japanese Language and culture.		
		Students who have proposed a study topic in the field of Japanese Language and Culture will be interviewed and assigned to a supervising professor. Under the supervision of the professor, they will conduct a research activity on the particular theme and complete the course by submitting an essay		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
詳細は指導教員より通知。 To be announced.		詳細は指導教員より通知。 To be announced.		授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%), essays (40%)

授業題目	Title	Independent Study		
担当講師名	Instructor (s)	水田 明男	MIZUTA	
Course No.	Tue. 4	演習	M	自主研究 Independent Study
DR219.86		Sem.	MIS	Independent Study
目標	Objective	日本語・日本文化の分野で自主的な調査研究を行う。		
授業内容	Description	日本語・日本文化の分野で、具体的な研究計画を提出し、面接を受けた学生が指導担当教員のもとで調査研究を行い、その成果を研究レポートとして提出する。		
		Students will conduct an independent study/research activity in the study field of Japanese Language and culture.		
		Students who have proposed a study topic in the field of Japanese Language and Culture will be interviewed and assigned to a supervising professor. Under the supervision of the professor, they will conduct a research activity on the particular theme and complete the course by submitting an essay.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
詳細は指導教員より通知。 To be announced.		詳細は指導教員より通知。 To be announced.		授業参加 (60%)、レポート (40%) Class participation (60%), essays (40%)

授業題目	現代日本語中級文法				
担当講師名	原田佳代子, 古川由理子, 香月裕介, 古江尚美 HARADA,FURUKAWA,KATSUKI,FURUE				
Course No.	Mon.2, Tue.1, Wed.2, Thu.2	実習 Rec.	MM1 MSPA	現代日本語 3A - 1A 中級文法 <i>a</i> Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns <i>a</i>	
目標 Objective					
授業内容 Description	<p>日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型 (約 250) や語彙 (約 5,000 語) の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。特に「話す」「聞く」能力の向上に重点をおいた練習を行う。毎週、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。</p> <p>Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalent as determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Drills emphasizing speaking and listening skills. Small tests of grammar and vocabulary will be given every week.</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
『留学生のための日本語文法 中級 I』				出席、試験 Attendance and Examination (s)	

授業題目	現代日本語中級文法		
担当講師名	Instructor (s)	山本進, 田中恵子 YAMAMOTO, S, TANAKA, K	
Course No.	Wed. 1, Fri. 2	MM1	現代日本語 3A - 1B 中級文法 β
JPN300.12	実習 Rec.	MSPB	Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns β
目標 Objective			
授業内容 Description	<p>日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型 (約 250) や語彙 (約 5,000 語) の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。特に「読む」「書く」「能力の向上に重点をおいた練習を行う。教育漢字の習得を目指し、1,000 字程度の漢字を学ぶ。授業で焦点をあてる文型や語彙は、受講生の専攻分野や日本語能力に合わせ、学期毎に異なる。</p> <p>Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalent as determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Drills emphasizing speaking and listening skills. Small tests of grammar and vocabulary will be given every week.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
未定			
		評価方法	Manner of Assessment
		出席、試験	Attendance and Examination (s)

授業題目	現代日本語中級文法		
担当講師名	Instructor (s)	MIHARA,KOBAYASHI,NONAKA,YAMAZAWA	
Course No. JPN300.04	Mon.2,Tue.1, Wed.2,Thu.2	実習	現代日本語 3A - 2A 中級文法 <i>a</i>
	Rec.	MM2 MSPA	Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns <i>a</i>
目標 Objective			
授業内容 Description	<p>日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型（約250）や語彙（約5,000語）の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。特に「話す」「聞く」能力の向上に重点をおいた練習を行う。毎週、授業で学んだ語彙・表現などを問う小テストを行う。</p> <p>Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalent as determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Drills emphasizing speaking and listening skills. Small tests of grammar and vocabulary will be given every week.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
			評価方法
			Manner of Assessment
			出席、試験 Attendance and Examination (s)

授業題目	現代日本語中級文法		
担当講師名	Instructor (s)	日比伊奈穂, 今井忍 HIBI, IMAI	
Course No. JPN300.14	Wed. 1, Fri. 2	MM2 MSPB	現代日本語 3A - 2B 中級文法 β Modern Japanese 3A : Intermediate Japanese: Sentence Patterns β
目標 Objective			
授業内容 Description	<p>日本語の初級レベルを修了していることが履修の条件となっている。現代日本語の基本文型 (約 250) や語彙 (約 5,000 語) の意味、機能、使い分けなどを学び、高い運用能力を身につけることを目指す。特に「読む」「書く」「能力の向上に重点をおいた練習を行う。教育漢字の習得を目指し、1,000 字程度の漢字を学ぶ。授業で焦点をあてる文型や語彙は、受講生の専攻分野や日本語能力に合わせ、学期毎に異なる。</p> <p>Prerequisite: elementary modern Japanese course or equivalent as determined by the placement test. Designed to develop sophisticated skills in modern Japanese through study of the meanings, functions and usage of about 250 basic sentence patterns and 5,000 essential words. Drills emphasizing speaking and listening skills. Small tests of grammar and vocabulary will be given every week.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
未定			評価方法 Manner of Assessment 出席、試験 Attendance and Examination (s)

授業題目	Intermediate Japanese Grammar		
担当講師名	中級文法 石橋 玲央	ISHIBASHI	
Course No. JPN310.02	実習 Rec.	J/MM SP	日本語実習 3A 中級文法 Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar
目標 Objective	日本語能力試験 N2 レベルの機能語や文法項目を学ぶ		
授業内容 Description	<p>形や使い方が似ている機能語を中心にさまざまな文型を学習する。学習したことを確認するために、短文作成練習や練習問題も行う予定である。</p> <p>You will learn sentence patterns focusing on functional phrases similar in form and usage. To confirm what you have learned, you will practice composition and do exercises.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
佐々木仁子・松本紀子 / 『日本語能力試験』対策 日本語総まとめ N2 文法 / アスク Sasaki, Hitoko and Noriko Matsumoto / Japanese Language Proficiency Test Level N2 Grammar Practice (Nihongo Sou Matome) / Asuku	グループ・ジャマシイ / 『教師と学習者のための日本語文型辞典』 / くろしお出版 Group Jamashi / A Dictionary of Japanese Sentence Grammar for Teachers and Students (Kyooshi to gakushuusha no tame no Nihongo Bunkei Jiten) / Kuroshio Shuppan	平常点 (50%)、試験 (50%) Class participation (50%), Examination (50%)	

授業題目	Title			Intermediate Japanese Grammar		
担当講師名	Instructor (s)			NONAKA		
Course No.	Wed. 1	実習	J/MM	日本語実習 3A	中級文法	
JPN310.04	Rec.	SP		Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar		
目標	Objective			This course is designed for those students who improve Japanese grammar skills.		
授業内容	Description			<p>この授業では、日本語の文法能力を高めることを目標とする。</p> <p>この授業では、「いろいろな働きをする助詞」「名詞修飾」「否定の言い方」「決まった使い方の副詞」「接続の言葉」「ていねいな言い方」などの日本語文法について学ぶ。</p> <p>また、テキストを使って文法の練習問題をおこなう。</p> <p>Students will study following Japanese grammar.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) Particles with various functions</li> <li>2) Noun modification</li> <li>3) Expressions to deny something</li> <li>4) Adverbs that are used like idioms</li> <li>5) Conjunctions</li> <li>6) Polite expressions etc. In addition students will do their exercises in grammar by using the textbook.</li> </ol>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
友松悦子・和栗雅子『中級日本語文法要点整理ポイント20』スリーエーネットワーク(2007)		Etsuko Tomomatsu, Masako Waguri "Intermediate Japanese Grammar Point 20" Three A Network (2007)		授業参加 (50%)、学年末試験 (50%) Participation (50%), Final Examination (50%)		

授業題目	日本語能力試験 N2 中級文法			JLPT-N2 Grammar	
担当講師名	吉兼 奈津子	YOSHIKANE			
Course No.	Wed. 4	実習	J/MM	日本語実習 3A	中級文法
JPN310.06	Rec.	SP	Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar		
目標 Objective	N2 の機能語を中心とした文法を学習する。				
授業内容 Description	<p>授業内容は下記の通りである。</p> <p>(1) N2 の機能語を中心とした文法を学習する。</p> <p>(2) 慣用句や接続詞なども学習する。(コース後半)</p> <p>授業では、短文作成や問題練習も行う。</p> <p>毎週復習テストを実施する。</p>				
目 標	To learn grammar focusing on functional phrases of JLPT-N2 level.				
授業内容	<p>Class Content</p> <p>(1) To learn grammar focusing on functional phrases of JLPT-N2 level</p> <p>(2) To learn idioms and how to use conjunctions, too (the second half of this course)</p> <p>In the class you will write sentences and work on grammar exercises to understand more.</p> <p>A review quiz will be given in each class.</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト Handouts		グループ・ジャマシイ編『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版		出席 (50%) 期末試験 (50%) Participation (50%) Final examination (50%)	

授業題目	Title	豊かな表現のための動詞			Verbs for expression-rich Japanese
担当講師名	Instructor (s)	熱田 万美	ATSUTA		
Course No.	Thu. 4	実習	J/MM	日本語実習 3A	中級文法
JPN310.08	Rec.	SP	Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar		
目標	Objective	<p>既に日常的に使っている動詞を、形・意味・機能という点から整理・確認し、それらの表現の定着をはかる</p>			
授業内容	Description	<p>① よく知っている動詞にどんな表現や連語があるのか、辞書を使って主体的に学ぶ</p> <p>② 「する・した・している」の使い分けができているか、受身、使役動詞が含まれる表現をうまく使って覚えていくか取り上げて、効果的に使えるように練習する</p>			
		<p>To review the verbs already used on a daily basis and have a fresh look at their form, meaning and function. These verbs will be studied by practicing how to use them. Students will also familiarize themselves with expressions and phrases in which they are used.</p> <p>1) Expressions and phrases containing well-known verbs will be actively investigated by means of a dictionary.</p> <p>2) Participants will improve their proficiency in.e.g.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- the correct usage of the grammatical aspect of verbs</li> <li>- effectively employing expressions containing the passive and causative form of verbs</li> </ul>			
テキスト	Textbook (s)	<p>参考書 Bibliography</p> <p>庵功雄、清水佳子『時間を表す表現－テンス・アスペクト－』スリーエーネットワーク (2003)</p> <p>秋元美晴・有賀千賀子『ペアで覚えるいろいろなことば 初・中級学習者のための連語の整理』武蔵野書院 (1996)</p>			
		<p>評価方法 Manner of Assessment</p> <p>授業参加 (40%)、課題 (60%) Participation (40%), Assignments (60%)</p>			

授業題目	日本語中級文法			Japanese Grammar for Intermediate Level	
担当講師名	松本 朋子	MATSUMOTO.T			
Course No.	実習	J/MM	日本語実習 3A	中級文法	
JPN310.10	Rec.	SP	Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar		
目 標	1. 文法の知識を深める。 2. ささまざまな表現を、場面に応じて使い分けられるようになる。		1. To expand knowledge about Japanese grammar. 2. To learn to choose proper expressions in various circumstances.		
Objective	日本語には、様々な表現があり、公的な場面と私的な場面など、場面によってそれらを使い分けなければいけないことがあります。この授業では、実際の会話、メール、新聞記事といった、様々な文体の資料を読みます。その中でどのような言い方が慣用的に用いられ、使い分けられているのかについて、学んでいきます。さらに、この講義を通じて、日本語特有の表現や、考え方についても学んでいきましょう。		You have to choose proper expressions according to circumstances (such as public or private). In this class, we read various kinds of materials (dialogues, E-mails, newspaper articles, etc). And we study Japanese expressions used in these materials. I hope you will be interested in Japanese ways of thinking through studying Japanese language.		
授業内容					
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		評価方法
ハンドアウト Handouts		グループ・ジヤマシイ 編著『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版 (1998)			出席状況 (50%) 試験 (50%) Participation (50%), examination (50%)
					Manner of Assessment

授業題目	Title			Functional Japanese, Intermediate	
担当講師名	Instructor (s)		SYUTO		
Course No.	Fri. 3		J/MM	中級文法	
JPN310.12	実習	Rec.	SP	Japanese 3A : Intermediate Japanese: Grammar	
目標	Objective		<p>To learn function words and grammatical items focusing on the N2 level of the Japanese language proficiency Test (JLPT N2).</p> <p>To learn function words and grammatical items focusing on the N2 level of the Japanese language proficiency Test (JLPT N2).</p>		
授業内容	Description		<p>このクラスでは日本語能力試験 N2 レベルを中心とした形や使い方が似ている機能語を中心に、どのようなルールがあるのか、学生と共に考えながら学習する。短文作成や練習問題も行う。</p> <p>Through class discussions, to learn grammatical rules for how to use similar function words of JLPT N2 level. Composition of short sentences as well as practice exercises will follow.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウトを配布 Handouts		友松悦子他著『新完全マスター文法 日本語能力試験 N2』スリーエーネットワークグループ・ジャマシイ『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版		平常点 (50%)、課題 (50%) Grade will be based upon class participation (50%), and assignments (50%).	

授業題目	Title			Advanced Level Kanji for Japanese Proficiency Test Level 1		
担当講師名	Instructor (s)			KITAGAWA		
Course No.	Tue. 2	実習	J/MM	日本語実習 3B	中級漢字	
JPN313.04	Rec.		K	Japanese 3B	Intermediate Japanese: Kanji	
目標	Objective			The aim of this class is to prepare for Japanese Language Proficiency Test Level 1 through mastering the usage of kanji.		
授業内容	Description			Every week we will learn writings and usage of the advanced level kanji, studying chiefly difficult homonyms. A review quiz will be given at the beginning of every class. To master the reading of kanji, we will read some articles of newspapers.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
日本経済新聞：日経 Plus 1 Nikkei Plus1		アルク日本語出版編集部 [編]『日本語能力試験漢字ハンドブック』アルク (2005) Kanji Handbook, Arc (2005)		出席点 (30%)、小テスト (30%)、期末テスト (40%) Participation (30%), short quizzes (30%), final examination (40%)		

授業題目	Title	常用漢字	JOYO KANJI
担当講師名	Instructor (s)	國方 栄二	KUNIKATA
Course No. JPN313.06	Wed. 3	実習 Rec.	J/MM K
目標 Objective	<p>この講義は常用漢字（およそ1000）を習得し、日本語の読解および作文能力を育成することを目標とします。</p> <p>This lecture has an aim to master 1000 Joyo-Kanji and more and to extend your ability of reading or writing Kanji.</p>		
授業内容 Description	<p>◎毎回40個の漢字を学習します。 ◎毎回前回学習分の小テストがあります。</p> <p>Every week you learn 40 Kanji and some quizzes are given in order to check your mastery.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
『漢字の実践練習』（第一学習社） KANJI NO JISSEN RENSU (DAIICHI GAKSYUSHA)		『日本語能力試験1・2級試験問題と正解』（凡人社） Japanese language proficiency test. Level 1 and 2 Questions and correct answers (Bonjinsha)	
		評価方法	Manner of Assessment
			定期試験（50%）・平常点（50%） examination（50%）& participation（50%）

授業題目	Title			日本語能力試験 2 級レベルの漢字 (1024 字)			1024 Kanji for Japanese Language Proficiency Test Level 2		
担当講師名	Instructor (s)			廣川 直幸			HIROKAWA		
Course No.	Wed. 5			実習			J/MM		
JPN313.08	Rec.			日本語実習 3B			中級漢字		
目標	Objective			日本語能力検定試験 2 級に必要な漢字 1024 字の習得。			The aim of this course is to master 1024 Kanji required for Japanese Language Proficiency Test Level 2.		
授業内容	Description			この授業では毎週およそ 40 字の漢字を学習します。学習に応用できるように、漢字や熟語のなりたちを説明します。よりよく覚えるために、書く練習を宿題にします。毎回授業のはじめに小テストをして、どれだけ身についたかを確認します。			In this course about 40 Kanji will be learned every week. The basic structures of Kanji and Kanji compounds will be explained in order that the students may apply them to their learning. To fix Kanji firmly in mind, Kanji writing practice will be assigned as homework. To check the mastery, a quiz will be given at the beginning of every class.		
テキスト	Textbook (s)			参考書			Bibliography		
かたくり日本語教師会『完全マスター漢字 日本語能力試験 2 級レベル』スリーエーネットワーク (2002)。	アルク日本語出版編集部編『日本語能力試験漢字ハンドブック』アルク (1994)。			評価方法			Manner of Assessment		
				平常点 : 70% と試験 : 30% Participation: 70% & Examination: 30%					

授業題目	Title	日常生活で役立つ漢字 Kanji for Everyday Life		
担当講師名	Instructor (s)	古江 尚美	FURUE	
Course No.	Thu. 3	実習 Rec.	J/MM K	日本語実習 3B 中級漢字 Japanese 3B : Intermediate Japanese: Kanji
目標 Objective	日常よく見かける漢字を習得し、日本語能力試験 N2 にも対応できる漢字力を育成する。	To learn useful kanjis for everyday life. And to master kanji for Japanese Language Proficiency Test Level N2.		
授業内容 Description	身の回りの表示などに使われている漢字と漢字語彙を学ぶ。毎回、前週の復習テストを行う。	You will learn kanjis and words composed of kanjis through being exposed to many common signs and sentences. Every week a review quiz will be given.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
プリントを配布。 Handouts		佐々木仁子、松本紀子『日本語総まとめ N2 漢字』アスク出版 (2010)		出席点 20%、小テスト 30%、学期末試験 50% Attendance and Participation 20%, Quizzes 30%, Final Examination 50%

授業題目	Title			Speed Reading for Intermediate ((Advanced) level)		
担当講師名	Instructor (s)			FURUKAWA		
Course No.	Tue. 2			J/MM	中級読解	
JPN314.02	Rec.			RDG	Japanese 3C : Intermediate Japanese: Reading	
目標	この授業では次の3点を目標にします。					
Objective	<p>①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る</p> <p>②まとまった内容の文章の大意を把握する</p> <p>③できるだけ速く①と②をできるようにする</p> <p>中級文型を習得している方が望ましいが、中級文型学習中でもかまいません。</p> <p>上級学習者の場合、特に速読が苦手な者に受講を勧めます。</p>					
授業内容	この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行います。テキストを一字一句、正確に読んでいねいに読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。					
Description	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. キーワード・キーセンテンスを探す</li> <li>2. 接続詞に注意する</li> <li>3. テキストの流れに注意する</li> <li>4. 予測して読む</li> </ol> <p>できるだけいろいろなジャンルから、文章を選んで速読してもらいます。</p> <p>* 能力試験対策を希望する受講者が多い場合は授業内容を変更することがあります。</p>					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
以下のテキストなどから毎回プリントにして配布する。 藤家智子・古川由理子 (2009) 『留学生のための速読の日本語 (試用版)』 大阪大学日本語日本文化教育センター 岡まゆみ・三浦 昭 (1998) 『中・上級のための速読の日本語』 The Japan Times 日本語多読研究会 (2006) 『レベル別日本語多読ライブラリー レベル 3 vol.1.2』 アスク Japan Times This course is recommended for students who have learned intermediate sentence patterns but those who are not sure whether they have learned these. This course is recommended also for advanced level students who are not good at speed reading.	藤家智子・古川由理子 (2009) 『留学生のための速読の日本語 (試用版)』 大阪大学日本語日本文化教育センター 岡まゆみ・三浦 昭 (1998) 『中・上級のための速読の日本語』 The Japan Times 日本語多読研究会 (2006) 『レベル別日本語多読ライブラリー レベル 3 vol.1.2』 アスク Japan Times This course is recommended for students who have learned intermediate sentence patterns but those who are not sure whether they have learned these. This course is recommended also for advanced level students who are not good at speed reading.	出席・授業態度 + 50% 期末テスト = 100% 50%	出席を重視します。できるだけ休まないように授業に参加してください。 Final Examination (50%), attendance and participation (50%) Your attendance is important.			

授業題目	Title			Intermediate Reading: Rapid and Close	
担当講師名	Instructor (s)	HIROKAWA			
Course No.	Wed. 4	実習	J/MM	日本語実習 3C	中級読解
JPN314.04	Rec.	RDG	Japanese 3C : Intermediate Japanese: Reading		
目標	<p>中級レベルの学生が、さまざまなテキストの速読・精読を通じて、柔軟な読解力を獲得することを目指します。</p>				
Objective	<p>The aim of this course is for intermediate students to acquire flexible reading skills through reading various kinds of texts.</p>				
授業内容	<p>この授業は二つの部分で構成されます。すなわち、速読と精読です。速読では、初見のテキストを読み、問題を解いて理解度を確認します。精読では、あらかじめ与えられたテキストについて発表や討論を行います。テキストには、刺激的な哲学エッセイを用いる予定です。</p>				
Description	<p>This class consists of 2 sections: rapid reading and close reading. In the rapid reading section, students will read unseen texts and solve questions about them to check their understanding. In the close reading section, presentation and discussion will be done about the texts which will be given beforehand. Stimulating philosophical essays will be used as our texts.</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
『日本語中級読解』アルク。ISBN: 978-4872347005 池田晶子『14歳からの哲学』トランスビュー。 ISBN: 978-4901510141				平常点：70%と試験：30% Participation: 70% & Examination: 30%	

<p>授業題目</p> <p>Title</p>	<p>中級読解－様々な「読み」を学ぶ－</p> <p>Intermediate Japanese Reading -skills for various types of reading-</p>				
<p>担当講師名</p> <p>Instructor (s)</p>	<p>真下 恭子</p> <p>MASHITA</p>				
<p>Course No.</p> <p>JPN314.06</p>	<p>実習</p> <p>Rec.</p>	<p>J/MM</p> <p>RDG</p>	<p>日本語実習 3C 中級読解</p> <p>Japanese 3C : Intermediate Japanese: Reading</p>		
<p>目 標</p> <p>Objective</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中級レベルの様々な分野の文章を表現や構成に注意し正確に読む力をつける。</li> <li>・ 限られた時間で必要な情報をとったり、文章の大意をつかむ技術を学ぶ。</li> </ul>				
<p>授業内容</p> <p>Description</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 説明文やエッセイなど様々な分野の文章をとりあげ、文章全体の流れや表現などにも注目し、正確に読む力をつける。精読で扱うものは、日本語能力試験N2レベルのものを中心にする予定である。</li> <li>・ 速読用の教材や生教材を用いて、段階的にスキミングやスキミングの技術を習得する。</li> </ul>				
<p>テキスト</p> <p>Textbook (s)</p>	<p>・ ハンドアウト配布 (以下のテキストや生教材参照)</p> <p>・ 三浦昭・岡まゆみ「中・上級者のための『速読の日本語』ジャパンタイムズ(1998)</p> <p>・ 松本節子・佐久間良子・野呂ケイ・浜畑祐子・菅野章子『実力アップ！日本語能力試験2級読解編』ユニコム (2008)</p> <p>・ 小林ひとみ・桑原里奈・本林理恵『N2読解スピードマスター』Jリサーチ出版 (2011)</p> <p>Handouts will be provided (including the following textbooks and raw materials)</p> <p>・ Oka Mayumi "Rapid Reading Japanese-Improving Reading Skills of Intermediate and Advanced Students" The Japan Times (1998)</p> <p>・ Matsumoto Setsuko, Sakuma Yoshiko, Noro Kei, Hamahata Yuuko, Kanno Shoko</p> <p>"The Preparatory Course for The Japanese Language Proficiency Test N2,Reading" Unicom Inc.(2006)</p> <p>・ Hitomi Kobayashi,Rina Kuwahara,Rie Kibayashi"Quick Mastery of N2 Reading", J-research (2011)</p>	<p>参考書</p> <p>Bibliography</p>	<p>・ 内田安伊子・内田紀子『構成・特徴・分野から学ぶ 新聞の読解』スリーエーネットワーク (2008)</p> <p>・ 『大学・大学院 留学生の日本語1 読解編』アカデミックジャパンニーズ研究会、アルク(2001)</p> <p>・ Uchida Akiko, Uchida Noriko "Kosei Tokucho Bunya kara Manabu Shinbun no Dokkai (Reading skills for News Papers-learning various structures,features and fields)" 3A net co.(2006)</p> <p>・ "Japanese for Internatinal College/Graduate Students vol.1 Reading Comprehension" Academic Japanese ,ALC (2001)</p>	<p>評価方法</p> <p>Manner of Assessment</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席と授業参加 50%</li> <li>・ 期末テスト 50%</li> <li>・ Attendance and Participation 50%</li> <li>・ Final test 50%</li> </ul>

授業題目	上級を旨ざす読解 Intermediate Japanese Reading		
担当講師名	田中 恵子	TANAKA.K	
Course No.	実習	J/MM	日本語実習 3C 中級読解
JPN314.08	Rec.	RDG	Japanese 3C : Intermediate Japanese: Reading
目 標	さまざまタイプの文章を読み、上級に進むための読解力をつけることを旨ざします。		
Objective	To read different types of texts to acquire advanced reading comprehension skills.		
授業内容	ストーリー性のあるものから、やや学術的で論理的客観的な内容のものまで、ジャンルの異なる文章を読みます。目標を持って読むと同時に自らの理解の状態をチェックしながら読み進めます。そして、実際の読みの体験を通して、読み方のストラテジーやスキルが身につけられるようにします。		
Description	Students will be introduced to different types of texts ranging such as stories and informational texts. You will learn to read with purpose and to check your understanding of the text as you read. These practices will allow you to acquire the strategies and skills needed for effective reading.		
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法
Textbook (s)	参考書	Bibliography	Manner of Assessment
ハンドアウト Handouts	堤良一・長谷川哲子(2009)『「大学生」になるための日本語1』ひつじ書房 堤良一・長谷川哲子(2010)『「大学生」になるための日本語2』ひつじ書房 産能短期大学日本語教育研究室編(1991)『日本語を楽しく読む本・中級』凡人社 産能短期大学日本語教育研究室編(1993)『日本語を楽しく読む本・中上級』凡人社	堤良一・長谷川哲子(2009)『「大学生」になるための日本語1』ひつじ書房 堤良一・長谷川哲子(2010)『「大学生」になるための日本語2』ひつじ書房 産能短期大学日本語教育研究室編(1991)『日本語を楽しく読む本・中級』凡人社 産能短期大学日本語教育研究室編(1993)『日本語を楽しく読む本・中上級』凡人社	・出席と授業参加 60% ・期末テスト 40% ・ Attendance and Participation 60% ・ Final Examination 40%

授業題目	Title			アカデミック・ライティング Academic Writing		
担当講師名	Instructor (s)			出口 雅也 IDEGUCHI		
Course No.	Mon. 5	実習	J/MM	日本語実習 3D	中級作文	
JPN315.02	Rec.	COMP	COMP	Japanese 3D	Intermediate Japanese: Composition	
目標	Objective			To improve knowledge and skills of Japanese essay writing.		
授業内容	Description			To improve knowledge and skills of Japanese essay writing.		
				You learn basic knowledge and skills needed for writing essays in Japanese, such as how to use writing paper, how to organize a paragraph, brainstorming, expressions frequently used in essays.		
テキスト	Textbook (s)			参考書	Bibliography	評価方法
ハンドアウト配布 Handouts.				友松 (2008).『小論文への 12 のステップ』、東京、スリーエーネットワーク。 Tomomatu (2008). Syooronbun e no 12 no suteppu, Tokyo: 3A Network.		平常点 (40%)、課題 (60%) Class participation (40%), Assignments (60%).

授業題目	Intermediate Japanese Writing		
中級作文	LEE		
担当講師名	李 裕旋	J/MM	日本語実習 3D 中級作文
Course No.	Tue. 2	COMP	Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition
目標	日本語で小論文が書けるように、表現や文の構成能力を身につける。		
Objective	To write the essay in Japanese,the composition ability of the sentence and the expression are acquired.		
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 句読点や記号の使い方</li> <li>・ 話し言葉と書き言葉の違い</li> <li>・ 小論文に合う文体、文型、語彙</li> <li>・ 文章の構成</li> <li>・ 段落の構成</li> <li>・ 意見と事実を分ける</li> <li>・ 文章の要約</li> </ul>		
Description	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Basic Rule in Writing a Composition</li> <li>・ The difference between Spoken and Written Japanese</li> <li>・ For writing essays in Japanese Sentence Style,Sentence Patten a Vocabulary</li> <li>・ Construction of a Composition</li> <li>・ Paragraph Structure</li> <li>・ Description of Opinions and a Fact</li> <li>・ To summarizing</li> </ul>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
授業中に配布する。Handouts		友松悦子(2008)『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク アカデミック・ジャパニーズ研究会(2001)『大学・大学院留学生の日本語②作文編』アルク Tomomatu Etuko (2008) "Syouronbun e no 12 no suteppu"3A Network Academic Japanese Kenkyukai (2001) "Daigaku Daigakuin Ryugakusei no Nihongo ② Sakubun Hen" Aruku	評価方法
			Manner of Assessment
			平常点 (40%) + 課題 (60%) Participation (40%) + Assignments (60%)

授業題目	レポートを書く人の作文コース—中級学習者のための— Japanese Academic Writing —for intermediate level learners—		
担当講師名	小南 淳子	KOMINAMI	
Course No.	J/MM COMP	日本語実習 3D	中級作文
JPN315.06	Wed. 2	Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition	
目 標	レポート・小論文を書くために		
Objective	<p>(1) それぞれのテーマに必要な語彙を学ぶ。</p> <p>(2) レポートに適した文章表現と段落の組み立て方を学ぶ。</p> <p>(3) 資料や文献を引用する場合に必要な要約のしかたを学ぶ。</p>		
授業内容	<p>授業は次の内容で行う。</p> <p>(1) いろいろなテーマについて必要な資料を集めたり、アンケートやインタビューを行う。</p> <p>(2) 他の人の考えを知るためにクラスディスカッションをする。</p> <p>(3) 新聞記事、博物館や美術館のリーフレット、和菓子や伝統工芸についてのパンフレットなど実際に使われているものを用いて、要約の練習をする。</p> <p>(4) レポートに適する文章表現と段落の組み立て方を学び、作文を書く。</p> <p>(5) クラスメートの作文と一緒に読んで、文章を訂正する。</p> <p>添削は、個人指導を多く行う。</p> <p>毎週、作文や要約の自習課題がある。</p> <p>* 授業での積極的な活動と課題提出が重要である。</p>		
Description	<p>The aim of this course is to develop your writing ability for academic papers.</p> <p>(1) You will increase your vocabulary on various topics.</p> <p>(2) You will learn how to make coherent papers with proper structure.</p> <p>(3) You will learn how to summarize in limited words.</p> <p>The activities in this class are</p> <p>(1) to gather materials on self-interested topics, and send out questionnaires</p> <p>(2) to discuss various topics and listen to other classmates</p> <p>(3) to summarize real leaflets and brochures</p> <p>(4) to learn how to make proper structure for an academic paper</p> <p>(5) to read and analyze papers written by others or yourselves.</p> <p>Your composition will be corrected by one to one tutoring.</p> <p>Weekly writing and summarizing assignments will be given.</p> <p>* Positive attitude is very important.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
倉八順子『日本語表現の教室中級—語彙と表現と作文』古今書院 (2005)	Junko Kurahachi. Nihongo hyougen no Kyoushitsu, Kokosyoin, 2005	木下是雄 ちくま学芸文庫『レポートの組み立て方』筑摩書房 (1994)	Koreo Kinoshita. Report no kumitatekata, Chikumasyobo, 1994
			<p>評価方法</p> <p>Manner of Assessment</p> <p>学期末試験：25%</p> <p>平常点：75% (授業参加と課題提出)</p> <p>Term examination (25%)</p> <p>Participation (75%) : Class attendance, Exercises and Assignments</p>

授業題目	日本の小説を要約する。 Summarizing a Japanese novel.		
担当講師名	二本松 泰子 NIHONMATSU		
Course No.	実習	J/MM	日本語実習 3D 中級作文
JPN315.08	Wed. 4	COMP	Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition
目標	日本語の文章の読み方とまとめ方を学び、より高度な作文能力を身に付ける。		
Objective	To learn how to summarize Japanese sentences and to be better at compositions.		
授業内容	この授業では、日本で人気のある作家が書いた小説をテキストとして、要旨をまとめる練習をします。その練習を通して、段落の分け方や言葉の使い方などを学び、さらには、要点（論旨）の捉え方などの文章読解の方法についても理解してもらいます。また、具体的な授業の流れは、		
Description	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを読む (30分)</li> <li>2. 解説 (30分)</li> <li>3. 400 字程度に要約する (30分)</li> </ol> となり、作成した作文は毎回提出してもらい、個別に添削指導して次の授業で返却します。その作業を繰り返すことによって、最終的には受講生各自が日本語の文章を作成するために必要な表現力を身につけてもらいます。また、そのときどきに応じて、ビデオやDVDなどの視聴覚教材を併用して、より実感をともなった日本語の表現を学ぶことも予定しています。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Read A short story. (30min.)</li> <li>2. Explanation. (30min.)</li> <li>3. To summarize it around 400 characters. (30min.)</li> </ol> The assignments of compositions submitted will be corrected individually and be returned to each student in the next class. By repeating this, each student will learn the ability to express herself or himself in making sentences in Japanese by the end of the course. Videos or DVDs will be used in case needed as audio-visual aids, so an impression of reality will be given in class.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
東野圭吾『容疑者 X の献身』(文芸春秋、2005 年 8 月)、東野圭吾『手紙』(文芸春秋、2006 年 10 月)。必要な箇所をコピーして配布します。Keigo Higashino, "Yougisha X no Kenshin", Bungeishunju, 2005. 8. Keigo Higashino, "Tegami", Bungeishunju, 2006.10. Hand out of a copy of a necessary part.	参	適宜配布する。handout.	提出物 (60%)、授業への積極的な参加 (40%) Report presentation. (60%) Positive class participation. (40%)
			評価方法 Manner of Assessment

授業題目	Title			書くことと読むことと Writing and Reading	
担当講師名	Instructor (s)		HATANO		
Course No.	Thu. 1	実習 Rec.	J/MM COMP	日本語実習 3D Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition	中級作文
目標 Objective	この授業を受ける前より日本語らしい文を書けるようになることです。		The aim of this class is to write compositions in better JAPANESE.		
授業内容 Description	目的の達成にはまず、日本語で書かれた文章を読んで、日本語的な文章の書き進め方や言葉づかいはどういものかを学ぶことが必要です。 そのうえで、みなさん自身の興味のあるテーマについて2000字程度でまとめる練習をします。 中級のクラスなので、最初に日本語を書くときの基本的なルールも話します。練習を通じて身につけましょう。		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Reading text in JAPANESE to learn the knowledge of writing pattern and expressions.</li> <li>2. Writing your ideas about a theme that you pick out, in 2000 characters.</li> <li>3. Learning the basic rules in writing compositions in JAPANESE.</li> </ol>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
必要なものはコピーして配布します。 Handouts		菅原克也『英語と日本語のあいだ』		授業参加 60% 試験 40% Participation (positive) 60% Examination 40%	

授業題目	日本語作文 (中級後期)			Japanese Writing (Intermediate: advanced)	
担当講師名	藤家 智子	FUJIE			
Course No.	実習	J/MM	日本語実習 3D	中級作文	
JPN315.12	Rec.	COMP	Japanese 3D : Intermediate Japanese: Composition		
目標	<p>① 社会現象、文化的なテーマなどについて800字程度で説明できるようになる。</p> <p>② 事実となる客観的根拠を示して800字程度の意見を書くことができるようになる。</p>				
Objective	<p>1. Social phenomena and cultural topics will be used as themes for compositions of about 800 characters</p> <p>2. Description of facts, objective evidence and expressing one's opinion on a subject will be practiced</p>				
授業内容	<p>中級後期の日本語学習者を対象に、モデル文を見ながら論理的な文の展開の仕方を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的な仕組み、現象、問題を取り上げて説明文や意見文を書く。</li> <li>授業では、以下のようなテーマについて書くための活動を数回に分けて行う。</li> </ul>				
Description	<p>・ Targeted at students of intermediate advanced level. Model sentences will be used as a point of reference for writing logically structured papers</p> <p>・ Social phenomena and various topics will be discussed and written on</p> <p>The following topics will be covered in this course:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Learning how to write in a logical order (with the help of model texts)</li> <li>2. Providing explanations on social systems and frameworks, social phenomena; practicing citing and summarizing</li> </ol>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』石黒圭・筒井千絵著 (スリーエーネットワーク)	『大学・大学院留学生の日本語②作文編』アカデミック・ジャパニーズ研究会編著 (アルク)	『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 二通信子 他著 (東京大学出版会)	<p>評価方法</p> <p>評価は出席率、課題、授業中の参加状況などを基準にする。</p> <p>Grading will be based upon regular attendance, active participation, homework and tests.</p>		

授業題目	Title	Listening comprehension: news		
担当講師名	Instructor (s)	MIHARA		
Course No.	Mon. 3	実習	J/MM	中級聴解
JPN316.02	Rec.	Japanese	3E	Japanese 3E : Intermediate Japanese: Listening Comprehension
目標	Objective	身近な内容のニュースを日本語で理解できるようになる	The purpose of this course is to improve your listening skills, especially for listening to news topics which you are familiar with.	
授業内容	Description	CDでニュースを聞き、キーワードやポイントを把握・ニュース全体を理解する練習をする。ニュースの基本的な構成、よく使われる表現や語彙も学ぶ。また、録画されたニュース番組を見て、内容について話し合う・理解を深めるためにペアワークを行うなどの活動も取り入れる。	By listening to the textbook CD, you will learn expressions and vocabulary that are often used in news, grasp keywords and keypoints, and understand the main topic of the news. You will also watch real TV news programs in Japanese. Not only will you listening to textbook CD or watch real TV programs, you will have discussions on the news topics and do pair work activities for deeper understanding.	
ハンドアウト配布 Handouts	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
		瀬川由美・紙谷幸子・北村貞幸 (2010) 『ニュースの日本語 聴解 50』 スリーエーネットワーク		出席・授業態度 60%、期末試験 40% attendance, participation 60%, final examination 40%

授業題目	Title			視覚情報と聴解	LISTENING LINKED WITH THE INFORMATION BY SIGHT
担当講師名	Instructor (s)			十川 理絵	SOGAWA
Course No.	Tue. 2	実習	J/MM	日本語実習 3E	中級聴解
JPN316.04	Rec.	Rec.	LIS	Japanese 3E	Intermediate Japanese: Listening Comprehension
目標	To develop ability to understand while reading or listening.				
Objective	<p>必要な情報を探しながら、「聞いて読む」あるいは「読んで聞く」能力を養う。</p> <p>Student will do listening exercises of "Japanese Sound" to be able to understand "Daily Japanese Conversation" correctly and will also do listening exercises to apply to the listening test with pictures for JLPT/N1.N2 without difficulty.</p> <p>On the other hand, students will do rapid reading exercises to be able to extract important information from the reading materials. They will also practice to respond correctly in various situations, using skills of prediction and anticipation.</p>				
授業内容	<p>日常会話の聴きとりが正確にできるように「日本語の音声」に関する聴解練習を行うと同時に、日本語能力試験N1・N2の「絵のある問題」に簡単に対応できるように聴解練習も行う。</p> <p>一方、必要な情報を早く得るための読解練習と、聴解力アップに不可欠である内容を予測する力や推測する力を身につけるための練習も行う。</p>				
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
「スコアアップ問題集 聴読解」「日本語能力試験 N1・N2 予想問題集 聴解問題」などより、必要なものをプリントで配布する。	Handouts from the following text books			成績評価 出席 (50%) と学期末試験 (50%)	Attendance (50%) and Final examination (50%)

授業題目	Title			Listening Comprehension for intermediate Japanese learners.	
担当講師名	Instructor (s)		NISHIMURA		
Course No.	Wed. 3	実習	J/MM	日本語実習 3E	中級聴解
JPN316.06	Rec.	Japanese 3E	Intermediate Japanese: Listening Comprehension		
目標	Objective		The aim of this class is helping intermediate Japanese learners to improve Japanese listening comprehension.		
授業内容	Description		We will practice listening Japanese using the following materials; 1. CDs for listening exercise 2. TV programs (e.g. news, documentary, anime) 3. movies		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
ハンドアウト handouts		松本節子・佐久間良子・野呂ケイ・浜畑祐子・矢島清美『実力アップ 日本語能力試験2級 聴解問題』ユニコム (2009) 宮城幸恵・太田淑子・柴田正子・牧野恵子・三井昭子『新毎日の聞き取り 50日 上・下』凡人社(2007)	授業参加 50%, 課題 50% Class participation (50%), assignments (50%)		

授業題目	Title 音声で理解する情報と場面 - 説明文と会話の聞き取り - Listening skills for Lectures and Dairy Conversation		
担当講師名	Instructor (s) 真下 恭子 MASHITA		
Course No. JPN316.08	実習 Rec.	J/MM LIS	日本語実習 3E 中級聴解 Japanese 3E : Intermediate Japanese: Listening Comprehension
目標 Objective	<p>中級レベルの聴解に必要な語彙力を幅広いトピックにわたり高め、様々な言語表現と場面を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまった長さの説明を聞いて必要な情報をつかむ。上級で講義を聴く力へとつなげる。</li> <li>・多様な場面の中での会話を聞き取り、場面に応じた適切な表現を学ぶ。</li> <li>・ビデオ教材などを用い、日本の文化や社会問題などへの理解も深める。</li> </ul>		
授業内容 Description	<p>To improve listening proficiency for different types of Japanese materials by building vocabulary for various topics, and by acquiring appropriate Japanese usage in different social contexts</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ To catch the outline and required information by listening to explanatory monologues on various topics.</li> <li>・ To learn appropriate expression in a given social situation by listening to daily conversations.</li> <li>・ To better understand Japanese culture and social problems using audio-visual materials</li> </ul>		
テキスト	Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハンドアウト配布 (以下のテキストなど参照)</li> <li>・ 筒井由美子、大村礼子、喜多民子『新基準対応 日本語能力試験1級・2級 試験に出る聴解』桐原書店 (2005)</li> <li>・ 愛知国際学院 日本留学試験研究会編『日本語聴解トレーニング』凡人社 (2006)</li> <li>・ ボイックマン 総子、宮谷敦美、小室リー『日本語生中継 初中級編1』くろしお出版 (2006)</li> <li>・ テレビ番組などの生教材</li> <li>・ Tsutsui Yumiko, Omura Reiko, Kita Tamiko, "Shiken-ni-deru Chokai (for Japanese proficiency test level 1&amp;2)", Kiriharashoten (2005)</li> <li>・ Aichi International Academy, "Nihongo Chokai (listening) Training", Bonjinsha (2006)</li> <li>・ Beuckmann Fusako, Miyatani Atsumi, Komuro-Lee Ikuko, "Speaking Skills Learned through Listening Japanese Live" vol.1 (2006)</li> <li>・ TV programs</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮城幸枝、三井昭子、牧野恵子、柴田正子、太田淑子『毎日の聞きとり plus40』(上巻、下巻) 凡人社 (2003)</li> <li>・ 松本節子、佐久間良子、野呂ケイ、浜畑祐子、矢島清美『実力アップ 日本語能力試験 2級 聴解問題』ユニコム (2005)</li> <li>・ Miyagi Sachie, Mitsui Akiko, Makino Keiko, Shibata Masako, Ota Yoshiko, "Mainichi no Kikitori plus40" vol.1 vol.2, Bonjinsha (2003)</li> <li>・ Matsumoto Setsuko, Sakuma Yoshiko, Noro Kei, Hamahata Yuko, Yajima Kiyomi, "The preparatory Course for The Japanese Language Proficiency Test level 2" UNICOM (2005)</li> </ul>	<p>平常点 (出席、課題など) 50% 50% Attendance and Participation 50% Final test 50%</p> <p>期末試験</p>	

授業題目	Intermediate Listening Comprehension		
担当講師名	中級聴解 小森 万里	KOMORI	
Course No.	実習 Rec.	J/MM LIS	日本語実習 3E 中級聴解 Japanese 3E : Intermediate Japanese: Listening Comprehension
目標 Objective	Fri. 1 さまざまな会話を聞きとる力を伸ばすとともに、語彙力・表現力をつけ、日本語での発信力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>To improve listening proficiency</li> <li>To increase vocabulary</li> <li>To develop speaking proficiency</li> </ul>	
授業内容 Description	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな場面での会話やインタビュー、モノローグを聞く練習をする。</li> <li>聞いたたピックに関する語彙を増やし、学んだ語彙を使って自分の意見を述べる練習をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>You will listen to various conversations, interviews, and monologues.</li> <li>You will enrich your vocabulary and discuss with classmates concerning the topic you listened.</li> </ul>	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト配布 (学習者のレベルに応じてハンドアウトを作り、配布します) Materials prepared by the instructor		日本語教育研究所編『聴解が弱いあなたへ』(2002) 凡人社 文化外国語専門学校編『楽しく聞こうⅡ』(1992) 凡人社 宮城幸枝・太田淑子・柴田正子・牧野恵子・三井昭子『新毎日の聞きとり 50日 上・下』(2010) (2008) 凡人社 永田由利子『VOICES FROM JAPAN ありのままの日本を知る・語る』(2009) くらしお出版 NPO Research Institute for Japanese Language Education (2002) "Chokai ga Yowai Anata e" Bonjinsha Bunka Institute of Language (1992) "Tanoshiku Kiko 2" Bonjinsha Miyagi Sachie, Ota Yoshiko, Shibata Masako, Makino Keiko, Mitsui Akiko (2010)(2008) "Shin Mainichi no Kikitori 50 nich" Bonjinsha Nagata Yuriko (2009) "VOICES FROM JAPAN" Kuroshio	<p>評価方法</p> <p>授業参加 50% 期末試験 50% Class Participation 50% Final Test 50%</p>
		評価方法	Manner of Assessment

授業題目	Title			ニュースの聴き方 Listening to news		
担当講師名	Instructor (s)	KATSUKI				
Course No.	Mon. 5	実習	J/MM	日本語実習 3E	中級聴解	
JPN316.12	Rec.	LIS		Japanese 3E	Intermediate Japanese: Listening Comprehension	
目標 Objective	日本語でニュースが聴けるようになる。			To learn how to understand news in Japanese.		
授業内容 Description	この授業では、日本語でニュースを聴く力をつけるために、 ①ニュースの構成 ②特徴的なニュース表現 について勉強します。 また、受講者のレベル・関心を見ながら、実際のニュースを聞いて内容をわかむという活動も入れていく予定です。			In this class, students learn 1) the structure of news, and 2) the characteristic expressions of news to be able to understand news in Japanese. We have tasks to listen to TV news as to students' proficiency and interests.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography			
ハンドアウト配布 Handouts		瀬川由美、北村貞幸、紙谷幸子 (2010) 『ニュースの日本語聴解 50』 スリーエーネットワーク Yumi Segawa, Sadayuki Kitamura, Sachiko Kamiya(2010) "News no Nihongo chokukai 50", 3A.	評価方法	Manner of Assessment		
			出席 (50%)、小テスト (20%)、試験 (30%) Participation (50%), Quizzes (20%), Examination (30%)			

授業題目	Intermediate Japanese Conversation		
担当講師名	中級会話 三原 千佳	MIHARA	
Course No. JPN317.02	実習 Rec.	J/MM CONV	日本語実習 3F 中級会話 Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation
目標 Objective	<p>発表の基礎的な知識と技術を身につける</p> <p>The purpose of this class is to learn the skills, and the basic knowledge of presentations.</p>		
授業内容 Description	<p>授業内容は以下の通りである</p> <p>(1) 発表の流れと基本的な表現を学ぶ</p> <p>(2) 発表時に注意しなければならない点・話し方・態度を学び、練習する</p> <p>(3) 与えられた課題の発表を行うグループ発表と個人発表を行う予定である</p> <p>The class contains the activities below:</p> <p>(1) To learn the order and the basic expressions that are used in presentations</p> <p>(2) To practice the technique and manner of speaking that are used during presentations.</p> <p>(3) To make a presentation on the theme that you will be given in the class. It is planned that you will have a group presentation and an individual presentation.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト配布 Handouts		三浦香苗他(2006)『アカデミックプレゼンテーション入門』ひつじ書房	出席・授業態度 (60%)、発表 (40%) Class participation (60%), Presentation (40%)
			評価方法 Manner of Assessment

授業題目	Intermediate Conversation		
担当講師名	中級会話 伊藤 創	ITO.H	
Course No. JPN317.04	実習 Rec.	J/MM CONV	日本語実習 3F 中級会話 Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation
目 標 Objective	事態の描写から意見の表出まで、伝えたい事を伝える伝達能力の習得		The aim of this course is to acquire wide range of speaking Japanese skill from describing what you see or hear to expressing your own opinion and discussing with others.
授業内容 Description	聞いたこと、見たことをそれを見えていない人にできるだけ正確に伝えるタスク、また特定の課題に関する議論を通じて、具体的な事態から少し抽象的な意見まで、伝えたいことを全て伝える事を目指す。その過程で、より効果的な表現とその使用法についても学び語彙や表現の拡充も行う。		Through describing what you see such as drawings, pictures, videos or what you hear, and discussing on various given topics, students learn how to convey what is in their mind precisely and effectively. If there is better or more effective expressions, students learn them and practice.
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト handouts			出席 (60%) + 参加度 (40%) Attendance (60%) + Participation (40%)
			評価方法 Manner of Assessment

授業題目	Title			Intermediate Japanese Conversation		
担当講師名	Instructor (s)	日比 伊奈穂		HIBI		
Course No.	Wed. 2	実習	J/MM	日本語実習 3F	中級会話	
JPN317.06	Rec.	CONV		Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation		
目標	相手や場面に応じて適切な表現で話せるようになることを目的とする。			The aim of this class is to speak Japanese in appropriate expressions according to given situations.		
Objective	日常生活の中で遭遇するさまざまな場面で用いられる会話表現を学ぶ。そして、学んだ表現を使って会話の練習を行い、適切な表現で意思疎通できる技術を身につける。			In this class, you will learn various expressions which are used in daily life. You will acquire appropriate communication skills by practicing conversation.		
授業内容						
Description						
テキスト	Textbook (s)	参考書		Bibliography		
ボイクマン総子他 (2006)『聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級編 1』くろしお出版 ボイクマン総子他 (2006)『聞いて覚える話し方 日本語生中継 初中級編 2』くろしお出版		中居順子他 (2005)『会話に挑戦！中級前期からの日本語ロールプレイ』スリーエーネットワーク		評価方法		
		Manner of Assessment		平常点 (60%) + 学期末試験 (40%) Participation (60%) + Examination (40%)		

授業題目	Title			発表の技術を身につけるための日本語中級会話		Skill of Presentation
担当講師名	Instructor (s)		KOMINAMI			
Course No.	Wed. 3	実習	J/MM	日本語実習 3F	中級会話	
JPN317.08	Rec.	CONV	Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation			
目標	Objective		口頭発表を行うときに必要な能力を身につけるために (1) 語彙を増やし、論理的な表現を学ぶ。 (2) 聞き取りやすい日本語を練習する。 (3) 様々な話題を取り上げてディスカッションを行い、考察を深める。		The aim of this course is to develop your conversation ability. You will learn how to make coherent expression with proper structure.	
授業内容	Description		授業は次の内容で行う。 (1) 授業ごとにテーマを決めて、発表をおこなう。 (2) 資料・統計をもとに、自分の考えをまとめる。 (3) 新聞記事などから様々な話題を取り上げ、ディスカッションを行う。 (4) 自分やクラスメートの発表について、クラス討議を行う。 授業は発表演習が中心であるが、講義をすることもある。		The activities in this class are 1) presentation 2) to analyze materials and statistics 3) to discuss various topics 4) to exchange opinions on the presentations.	
テキスト	Textbook (s)		参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
東海大学留学生教育センター『日本語と討論の技術』 東海大学出版 (2002) Koutou happyou kyouzai kenkyukai (ed.), Nihongo Koutouhappyou to Touro no Gijutsu (Technique of oral presentation and discussion in Japanese), Tokai University Press, 2002	『日本語』 口頭発表		山下暁美『スキルアップ 日本語表現』 (2001) Akemi Yamashita. Skill up Nihongo Hyougen, Ouhu, 2001	山下暁美『スキルアップ 日本語表現』 おうふう (2001) Akemi Yamashita. Skill up Nihongo Hyougen, Ouhu, 2001	学期末試験：(30%) 平常点：(70%) 出席と積極的な活動	Term examination (30%) Participation (70%): Class attendance, Discussion & Presentation.

授業題目	日本語発音レッスン Japanese Pronunciation Exercises		
担当講師名	古江 尚美	FURUE	
Course No. JPN317.10	実習 Rec.	J/MM CONV	日本語実習 3F 中級会話 Japanese 3F : Intermediate Japanese: Conversation
目標 Objective	日本語の自然な発音を身につけて、コミュニケーション能力を高める。	To improve communicative skills in Japanese through pronunciation exercises.	
授業内容 Description	日本語の音韻について体系的に学び、自然な日本語が話せるように、実践的な練習をする。日本語の拍やアクセント、イントネーションについても学び、自分の考えや気持ちを的確に相手に伝えられるよう、練習する。	In this class you study systematically the sounds of the Japanese language and practice to speak Japanese naturally. Also you learn Japanese mora, accent and intonation, for communication.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウト配布。 Handouts.		戸田貴子『コミュニケーションのための日本語発音レッスン』スリーエーネットワーク (2005) 金田一春彦監修『新明解日本語アクセント辞典』三省堂	評価方法 Manner of Assessment 成績評価 平常点 50%、学期末試験 50% Participation 50%, Examination 50%

授業題目	話し言葉と書き言葉 Spoken Japanese and Written Japanese		
担当講師名	Instructor (s)	原田 佳代子 HARADA	
Course No.	Mon. 1	実習 Rec.	J/MA SP
		日本語実習 4A	上級文法
		Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar	
目標 Objective	<p>(1) 日本語文法の重要事項を整理、再確認する。                  (2) 話し言葉と書き言葉の違いを理解し、より高度な表現を習得する。</p>		
授業内容 Description	<p>まず、これまでに習得した日本語文法についての知識を確認しながら重要な文法事項を整理する。特に話し言葉と書き言葉の違いを理解し使い分ける能力を養う。                  主な学習項目は次の5つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 語彙</li> <li>2. 文体</li> <li>3. 省略のルール</li> <li>4. 助詞と助詞相当語</li> <li>5. 自動詞と他動詞</li> </ol>		
		<p>(1) To help student review and reconfirm the important points in Japanese grammar.                  (2) To help students learn advanced expressions in both spoken and written Japanese.</p>	
		<p>This course is designed to help students review and correct Japanese grammar knowledge which they already have, and help them master important Japanese grammar.                  Topics covered in this class are below.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Vocabulary</li> <li>2. Style</li> <li>3. Grammar of Omission</li> <li>4. Particles and Compound Particles</li> <li>5. Transitive Verbs and Intransitive Verbs</li> </ol>	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
ハンドアウトを配布 アカデミック・ジャパニーズ研究会『大学・大学院留学生の日本語④論文作成編』アルク、2001年 富阪谷子『なめらか日本語会話』アルク、2005年		成山重子『日本語の省略がわかる本』明治書院、2009年 吉田妙子『たのしい日本語作文教室 I 改訂版』大新書局（台北）、2008年 吉田妙子『たのしい日本語作文教室 II 改訂版』大新書局（台北）、2007年	<p>期末試験 (50%)、小テストおよび課題 (50%)                  Grade will be based on final examination (50%) and assignments (50%).</p>
		評価方法	Manner of Assessment

授業題目	実用的日本語文法 <b>Advanced Japanese Grammar for Practical Usage</b>		
担当講師名	山川 太	YAMAKAWA	
Course No.	Mon. 3	J/MA	日本語実習 4A 上級文法
JPN410.04	Sem.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar
目標 Objective	<p>日本語文法についての既習の知識を整理し、それらを「正しく」「正確に」使いこなせるようになるだけではなく、「自然な」表現へ繋がっていくような能力を養っていく。</p> <p>In this class, students will get the grammatical information so as to use Japanese "correctly" and also "naturally".</p>		
授業内容 Description	<p>日本語の文法について非常に高度な知識を持つ者が多いが、そのような人たちが書いたり、話したりする日本語には「不自然な」「すわりの悪い」ものも多い。このクラスでは、今まで習得してきた日本語文法の知識を整理することからスタートし、「自然な」日本語のためには、この既存の知識をどう活用するべきか、また、既存の知識に加えてどのような知識・情報が求められるのか、を考えていきたい。</p> <p>In most cases, students who have a lot of knowledge on Japanese grammar can use Japanese "correctly". But it is very difficult for them to use the language "naturally", so in this class we focus on how to use Japanese as naturally as if we were native speakers of the language.</p>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
配布します。 Materials will be provided in the class.		クラス内で指示します。 Information on bibliography will be given in the class.	
	評価方法	Manner of Assessment	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席</li> <li>・クラス内での発言</li> <li>・小テスト</li> <li>・テスト</li> <li>・attendance</li> <li>・participation</li> <li>・small quizzes</li> <li>・final exam</li> </ul>	

授業題目	Title			Grammar and vocabulary for advanced level - Aural-Oral-Oriented- 聴いて覚える日本語文法	
担当講師名	Instructor (s)			小林 可奈子 KOBAYASHI	
Course No.	Tue. 2	実習	J/MA	日本語実習 4A	上級文法
JPN410.06	Rec.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar		
目標	this course is designed				
Objective	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. to learn grammar for advanced level,</li> <li>2. to learn expressions and vocabulary for advanced level.</li> </ol>				
授業内容	As you go on to advanced level, classes for grammar tend to focus on to read and understand written texts. In this class, we will also listen to the spoken examples and say them out loud to achieve mastery of them. Students are expected to prepare with the handouts given in advance. The usage and meanings of the grammar, expressions and vocabulary will be covered in class.				
Description	<p>上級レベルの文法項目を学習していく。</p> <p>上級文法の授業では文字で書かれた例文理解を中心に進められるが、この授業では目読で理解した用例を、聴きとりをしたり、声に出したりすることによって、よりしっかりと定着をはかる。</p> <p>予め配布するプリントの語彙を各自予習してきて、授業で意味用法を確認する。</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
安藤 栄里子	今川 和	『耳から覚える日本語能力試験1級文法トレーニング』アルク (2007/07)	グループ・ジャマシイ (編著)	『教師と学習者のための日本語文型辞典』、くろしお出版 (1998) Nihongo Bunkei Jiten 1998 Kuroshio Press.	
評価方法	Manner of Assessment				
平常点 (40%)、小テスト (20%)、定期試験 (40%)	Participation (40%), quizzes (20%), Final Examination (40%)				

授業題目	日本語の接続表現を学ぶ			Learning Japanese Connective Expressions	
担当講師名	香月 裕介	KATSUKI			
Course No.	Mon. 4	実習	J/MA	日本語実習 4A	上級文法
JPN410.08	Rec.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar		
目標	日本語における接続表現のルールを正しく理解し、適切な複文を産出することができるようになる。		To learn rules of Japanese connective expressions and product appropriate complex sentence under the rules		
Objective	接続表現（条件、時間、原因・理由など）を用いて、ことからの関係を適切に述べる方法を学びます。教師の解説だけでなく適宜ディスカッションを取り入れ、例文をもとに自ら文法規則を導き出す練習を行います。		In this class, students learn how to express relationship among situations appropriately using connective expressions (condition, time, cause and reason etc.). They also have discussions and practice finding grammatical rules through inspecting usage expressions.		
授業内容					
Description					
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
ハンドアウト配布 Handouts	小川誉子美、三枝令子(2004)『日本語文法演習 ことからの関係を表す表現』スリーエーネットワーク		出席 (40%)、参加態度 (20%)、小テスト (20%)、試験 (20%)	Attendance (40%), Participation (20%), Quizzes (20%), Examination (20%)	

授業題目	Title			上級日本語－言葉から文化を学ぶ－			Advanced Japanese: Words and Phrases concerning Japanese Culture		
担当講師名	Instructor (s)			庄司 育子			SHOJI		
Course No.	Wed. 5			実習			J/MA		
JPN410.10	Rec.			日本語実習 4A			上級文法		
目標	Objective			<p>実際日本語で書かれた資料には、教科書で学んだ日本語の文法規則だけでは解釈できない表現が数多く見られることを知り、日本固有の文化的背景や知識が如何に言葉の中に深く根ざしているかを学ぶ。</p> <p>新聞、雑誌、広告など、日常的に目にする題材を使用して、そこに見られる珍しい表現や目新しい表現を取り上げて分析する。さらに応用が利く程度にまで理解を高めるとともに、さまざまな分野の知識や情報の獲得を目指す。主な習得項目は、およそ以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 語構成 (複合語、派生語)</li> <li>2. 擬声語、擬態語</li> <li>3. 慣用句、ことわざ、四字熟語</li> <li>4. 方言</li> <li>5. 文体</li> <li>6. 古典語</li> <li>7. 日本文化に関する語彙</li> </ol>			<p>To learn more useful words and expressions, which sometimes seem to be against grammatical rules. Students will get to know that Japanese cultural background and some other factors lie behind the utterances.</p> <p>We will pick up curious and unfamiliar expressions from Japanese newspapers, magazines, commercial catch phrases and so on. Students will recognize that such words and phrases are derived from some evidence and knowledge in a specific field. The key words which will be introduced in this class are given as under.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Word Formation (Compound Word, Derivative Word)</li> <li>2. Onomatopoeia</li> <li>3. Proverb</li> <li>4. Dialect</li> <li>5. Literary Style</li> <li>6. Classic Japanese</li> <li>7. Words and Phrases concerning Japanese Culture</li> </ol>		
授業内容	Description			<p>参考書</p> <p>授業中に指示する。</p>			Bibliography		
テキスト	Textbook (s)			<p>庄司育子 / 上級日本語－言葉から文化を学ぶ－</p> <p>CJLC 叢書 No.2 / 大阪大学日本語日本文化教育センター</p> <p>Ikuko SHOJI / JOKYU NIHONGO / CJLC</p> <p>Osaka University</p>			Manner of Assessment		
				<p>授業参加 (80% 以上) 及び学期末試験</p> <p>Class participation and a final examination</p>					

授業題目	字幕から学ぶ日本語			Learning Japanese through Film Subtitles	
担当講師名	山澤 園子	YAMAZAWA			
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4A	上級文法	
JPN410.12	Rec.	SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar		
目標	<p>The aims of this course are :</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>To improve students' skills in putting English texts into proper Japanese without impairing their original meanings and nuances.</li> <li>To enrich students' knowledge in colloquial expressions in Japanese.</li> </ol>				
Objective	<ol style="list-style-type: none"> <li>英語の文意を正確に、ニュアンスを損なうことなく日本語にどのように置き換えることができるか学ぶ。</li> <li>日本語の様々な口語表現についての知識を深める。</li> </ol>				
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>英語の台詞を、各人物が置かれている状況や人間関係（親子、恋人、上司と部下などの関係）に注意しながら日本語に訳してみる。</li> <li>字幕でどう訳されているか確認し、自分の訳と異なるのはどのような点か分析する。</li> <li>状況や人間関係に応じた様々な口語表現の使い分けを学ぶ。</li> </ol>				
Description	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 毎回の出席と積極的な授業参加が求められる。</li> <li>* 受講生は、上級レベルの日本語能力を有すること。</li> </ul> <p>In this course students will:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Try translating English lines into Japanese with careful consideration of the context which each character is placed in.</li> <li>Compare their translations with the expressions in subtitles, and then analyze and discuss the differences, if any.</li> <li>Learn how to use colloquial expressions appropriate for the given context.</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>* Regular attendance and active participation will be essential.</li> <li>* Students attending this class are required to have an advanced level of competence in Japanese.</li> </ul>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト配布	『ラブ・アクチュアリー』（台本からの抜粋）	戸田奈津子著『字幕の中に人生』（白水社、1997）			
Handouts	“Love Actually” —excerpts				授業参加（50%）、課題提出（50%） Class Participation（50%）、Assignments（50%）

授業題目		Title		上級レベル文法機能語を学ぶ		Building up Grammatical vocabulary for Advanced level	
担当講師名		Instructor (s)		真下 恭子		MASHITA	
Course No.	JPN410.14	実習	Rec.	J/MA	SP	日本語実習 4A	上級文法
目 標		Objective		<ul style="list-style-type: none"> <li>上級レベルの文法的な機能語を中心に、様々な表現の文や文章の中での理解、類義語との比較を通し正しい用法を身につける</li> <li>授業では文法的な機能語の習得を中心に、扱う表現は日本語能力試験 N1 レベルのものを中心に、適宜 N2 レベルのものも補う。各回毎に、機能別にいくつかの表現を取り上げ、それぞれの接続や用法の確認をする。適切な場面で運用する力をつけるために、クラス内で短文作成などを含む課題を通し、定着を図る。</li> </ul>		<p>To learn appropriate usage of grammatical expressions of advanced level in a given context and situation.</p> <p>This class aims to master the grammatical expressions. (mainly N1 level of Japanese proficiency test) You will learn the forms and meanings of various terms of the similar function, and understand in which type of context or situation they can be used. To better understand the usage, you will do some tasks including making example sentences.</p>	
授業内容		Description		<p>テキスト</p> <p>ハンドアウト配布 (以下の教材などより抜粋)  <ul style="list-style-type: none"> <li>友松悦子 (2011) 『新完全マスター文法 日本語能力試験 N1』 スリーエーネットワーク</li> <li>友松悦子 (2011) 『新完全マスター文法 日本語能力試験 N2』 スリーエーネットワーク</li> <li>筒井由美子、大村礼子、喜多民子 (2010) 『日本語能力試験 N1・N2 試験に出る文法と表現』 桐原書店</li> </ul>                     Handouts will be distributed (excerpts from the following text books)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>Tomomatsu Etsuko, Fukushima Sachi, and Nakamura Kaori" New perfect master Grammar level N1" 3Anet (2011)</li> <li>Tomomatsu Etsuko, Fukushima Sachi, and Nakamura Kaori" New perfect master Grammar level N2" 3Anet (2011)</li> <li>Tsui Yumiko,Omura Reiko,Kita Tamiko "Grammar and Expressions for Japanese prosciency test level N1 and N2" Kirihara (2010)</li> </ul> </p>		<p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友松悦子他 (1996) 『どんなときどう使う日本語表現文型 500 中・上級』 アルク</li> <li>グループ・ジャマシイ (1998) 『日本語文型辞典』 くろしお出版</li> <li>Tomomatsu Etsuko "Donnatoki dotukau Nihongo Hyogenbunkei500 intermediate and advanced level" Arc (1996)</li> <li>Group Gamacy "Nihongo Hyogenbunkei" kuroshio (1998)</li> </ul>	
評価方法		Manner of Assessment		<ul style="list-style-type: none"> <li>出席 + 課題 50%</li> <li>期末試験 50%</li> <li>Attendance and tasks 50%</li> <li>Final Test 50%</li> </ul>			

授業題目	Title			もっと自由に自己表現！ Make your Japanese more colorful!		
担当講師名	Instructor (s)			三登 由利子 MITO		
Course No.	Thu. 3	実習	J/MA	日本語実習 4A	上級文法	
JPN410.16	Rec.	SP		Japanese 4A	Advanced Japanese: Grammar	
目標	使える表現や語彙の幅を広げること 話したり書いたりする上での文法的な正確さを高めること			In this course, students will be able to : Broaden lexical repertoire including idiomatic expressions and colloquialisms Acquire a high degree of grammatical accuracy in both speaking and writing.		
Objective						
授業内容	この授業では、今の日本社会のさまざまな話題を取り上げたテレビ番組を視聴し、それに関する本や新聞記事あるいは番組のスクリーンショットなどを読み取ります。そして、それらで使われている表現や語彙を学びます。さらに、番組の内容について意見を言ったり、書いたりすることで、学習した表現や語彙を正確に使えるようになることを目指します。			The activities in class will include watching TV programs portraying current Japanese society, reading related materials, discussion and writing. Useful expressions and vocabulary from the TV clips will be introduced, then students will have a chance to practice them in a discussion and/or by writing short comments on the topics raised in the TV programs.		
Description						
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
ハンドアウト配布 Handouts		野矢茂樹『新版 論理トレーニング』（産業図書、2006） テレビ東京報道局『ガイアの夜明け ニッポンを救え』（日経ビジネス人文庫） （日本経済新聞出版社、2009） 村上龍、テレビ東京報道局『カンブリア宮殿 村上龍×経済人 社長の金言』（日経ビジネス人文庫） （日本経済新聞出版社、2009）		平常点 (30%)、中間試験 + 学期末試験 (70%) Class participation (30%) Midterm examination + Final examination (70%)		

授業題目	Title			レポートや論文を書くための日本語文法		Japanese Grammar for Academic Writing	
担当講師名	Instructor (s)			小森 万里 KOMORI			
Course No.	Fri. 2			実習	J/MA	日本語実習 4A	上級文法
JPN410.18	Rec.			SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar		
目標	Objective			日本語でレポートや論文を書くための日本語文法を学ぶ			
授業内容	Description			<p>日本語でレポートや論文を書く際に、どんな文法をどのように使えばよいかを学ぶ。</p> <p>「は」と「が」、「こと」と「の」、名詞化、自動詞と他動詞(受身形と使役形)、テンス、アスペクト、指示詞、接続詞、複文、のだ文、意見を述べる文末表現、など</p> <p>日本語でレポートや論文を書くために、どんな文法をどのように使えばよいかを学ぶ。</p> <p>"Wa and Ga", "Koto" and "No", Nominalization, Intransitive verb and Transitive verb (the Passive and the Causative), The Tense and the Aspect, Demonstrative, Conjunction, Complex sentence, "Noda", Expressions of the end of the sentence</p>			
テキスト	Textbook (s)			参考書	Bibliography		
ハンドアウトを配布 Handouts				石黒圭・筒井千恵(2009)『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』スリーエーネットワーク Ishiguro Kei, Tsutsui Chie (2009) "Ryugakusei no Tame no Koko ga Taisetsu Bunsho Hyogen no Ruru" 3A Corporation			
				評価方法	Manner of Assessment		
				授業参加 50% ハンドアウト 20% 期末試験 30% Class Participation 50% Quizzes 20% Final Examination 30%			

授業題目	Title			Verbs for expression-rich Japanese		
担当講師名	Instructor (s)			ATSUTA		
Course No.	Fri. 4		J/MA	日本語実習 4A 上級文法		
JPN410.20	Rec.		SP	Japanese 4A : Advanced Japanese: Grammar		
目標	Objective			To review the verbs already used on a daily basis regarding their form, function and meaning and to acquire an even broader set of skills for expression-rich usage.		
授業内容	Description			<p>より豊かな表現力を身につけるために、既に日常的に使っている動詞を、形・意味・機能という点から整理し、使い方の幅を広げる</p> <p>① このクラスでは主に次の文法項目を学習する。          ・自動詞・他動詞          ・受身          ・使役          どんなルールがあるのかいっしょに考えながら、効果的に使えるように練習する</p> <p>② よく知っている動詞にどんな表現や連語があるのか、また、形や意味の似ている動詞の使い分けと使い方を、辞書を使って主体的に学ぶ。</p>		
				<p>1) This class mainly focuses on the following three grammatical topics:          - transitive and intransitive verbs          - passive form of verbs          - causative form of verbs          Class participants will discuss together which grammatical rules apply and practice how to effectively use these verbs.</p> <p>2) Using a dictionary, students will actively investigate expressions and phrases containing well-known verbs as well as the different usage of verbs similar in form or meaning.</p>		
テキスト	Textbook (s)		参考書	Bibliography		
安藤節子・小川譽子美 / 『自動詞・他動詞・使役、受身 - ボイスター』 / スリーエーネットワーク				<p>評価方法</p> <p>Manner of Assessment</p> <p>授業参加 (40%)、課題 (60%)          Participation (40%), Assignments (60%)</p>		

授業題目	Practice in Compound Words of Kanji (Jukugo)		
担当講師名	久保田 ゆかり	KUBOTA	
Course No.	J/MA	漢字研究	
JPN413.02	Rec.	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji	
目標 Objective	<p>すでに中級程度の漢字能力があり、さらに上級を目指すクラスである。この授業の目的は、熟語を体系的に学習することによって、熟語の運用能力を高めるとともに、日本語の漢字の特徴について理解を深めることにある。これにより、漢字語彙力を鍛え日本語能力試験1級の合格を目指したい。</p> <p>This course is intended for those who already have the intermediate level of Kanji-ability and aim to attain a higher level of it. The main purpose of this course is, through systematically learning Jukugo, to cultivate students' ability in practical use of Jukugo and to acquire a deeper understanding of the characteristics of Japanese Kanji. This will help students enrich their Kanji-vocabulary necessary for the 1st grade in Japanese Language Proficiency Test.</p>		
授業内容 Description	<p>授業のスケジュールと学習項目は次の通り。</p> <p>第1～3週 音読熟語（形声文字の音符）</p> <p>第4～6週 音読熟語（熟語の構成と意味）</p> <p>第7～8週 訓読熟語（熟語の構成と意味）</p> <p>第9～10週 混種語、慣用的な読みみの熟語</p> <p>第11～13週 対義語、類義語、同音異義語</p> <p>第14～15週 学期末テストおよび返却・解説</p> <p>*毎回、授業の始めに復習の小テストを行う。</p> <p>The schedule of this course is as follows:</p> <p>Week 1-3 Chinese reading of Jukugo: Phonetic symbols</p> <p>Week 4-6 Chinese reading of Jukugo: Structure and Meaning</p> <p>Week 7-8 Japanese reading of Jukugo: Structure and Meaning</p> <p>Week 9-10 Mixed reading of Jukugo, Idiomatic reading of Jukugo</p> <p>Week 11-13 Antonym, Synonym, Homophone</p> <p>Week 14-15 Term examination and comments</p> <p>*A review quiz will be given at the beginning of every class.</p>		
テキスト	参考書	Bibliography	評価方法
テキスト	Textbook (s)	参考書 宮下久夫他『漢字がたのしくなる本』 太郎次郎社 (1991年)。 日本漢字教育振興協会『漢検分野別問題集』 財団法人日本漢字能力検定協会 (2000年)。 松本節子他『日本語能力試験漢字単語ドリル1級』 ユニコム (2005年)。	評価方法 授業への出席と参加度 (20%)、小テスト (30%)、学期末試験 (50%)。 Grade will be based on class participation (20%), quizzes (30%), and term examination (50%)。
コピーを配付。 Handouts			

授業題目	Title	上級漢字	Kanji for Advanced Level		
担当講師名	Instructor (s)	篠原 みゆき	SHINOHARA		
Course No. JPN413.04	Mon. 3	実習 Rec.	J/MA K	日本語実習 4B 漢字研究 Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji	
目標 Objective	上級レベルの漢字の読み方・使い方を習得する。	The aim of this class is to learn how to read and how to use kanji for advanced level			
授業内容 Description	日本語能力試験 N1 レベル程度の漢字とその関連表現について学ぶ。 毎回、前回学習分の復習テストを行う。	This course is designed to learn kanji and expressions for the Japanese Language Proficiency Test Level N1. A review quiz will be given in every class.			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
プリントを配布する Handouts		石井玲子ほか(2010)『新完全マスター漢字 語能力試験 N1』スリーエーネットワーク	日本	出席・授業態度 (40%)、小テスト (20%)、試験 (40%) Participation (40%), Quiz (20%), Examination (40%)	

授業題目	Title	上級漢字	Kanji for Advanced Level	
担当講師名	Instructor (s)	李 裕旋	LEE	
Course No.	Tue. 1	実習	J/MA	日本語実習 4B 上級漢字
JPN413.08		Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji
目標	Objective	この授業では上級レベルの漢字の使い方を学習し、日本語能力試験 N1 に備える。		
授業内容	Description	日本語能力試験 N1 レベルの漢字とその関連表現について学ぶ。また、日常生活で接する身近なものから漢字の実践的な使われ方を確認する。 書く練習を宿題にする。 毎回、前回学習分の復習テストを行う。		
		The aim of this class is to prepare for the first grade in Japanese Language Proficiency Test through mastering the usage of Kanji.		
		This course is designed to learn Kanji and expressions for the Japanese Language Proficiency Test Level 1. The Kanji is practical from Japanese life style and confirm one. Kanji writing practice will be assigned as homework. A review quiz will be given at the beginning of every class.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
石井怜子他 (2010)『新完全マスター漢字 日本語能力試験 N1』スリーエーネットワーク	アルク日本語出版編集部〔編〕(2005)『日本語能力試験漢字ハンドブック』アルク			課題 (20%)、小テスト (30%)、期末試験 (50%) Assignments (20%), quizzes (30%), final examination (50%)

授業題目 Title	表外漢字 NON-JOYO-KANJI		
担当講師名 Instructor (s)	國方 栄二 KUNIKATA		
Course No. JPN413.10	実習 Rec.	J/MA K	日本語実習 4B 漢字研究 Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji
目 標 Objective	この講義は日常生活において使われる表外漢字（およそ 1000）を習得し、日本語文の読解および作文能力を育成することを目標とします。 The purpose of this course is to better understand NON-JOYO-KANJI used in everyday life (about 1000) and to extend your ability of reading or writing Kanji.		
授業内容 Description	◎毎回 40 個の漢字を学習します。 ◎毎回前回学習分の小テストがあります。 Every week you learn 40 Kanji and some quizzes are given in order to check your mastery.		
テキスト Textbook (s)	参考書 Bibliography	評価方法 Manner of Assessment	
ハンドアウト handouts	『中・上級学習者のための漢字と語彙』（ジャパントイムズ） A study system for intermediate & advanced learners kanji in context, The Japan Times	定期試験（50%）・平常点（50%） examination（50%）& participation（50%）	

授業題目	Title			上級漢字 (日本語能力検定 1 級レベル) Advanced Level Kanji for Japanese Proficiency Test Level 1		
担当講師名	Instructor (s)			西村 多恵 NISHIMURA		
Course No.	Wed. 4	実習	J/MA	日本語実習 4B	漢字研究	
JPN413.12	Rec.		K	Japanese 4B	Advanced Japanese: Kanji	
目標	Objective			The aim of this course is to master advanced level kanji (Japanese Proficiency Test Level 1).		
授業内容	Description			We will learn writings and usage of kanji, focussing on homonyms. A review quiz will be given every week.		
				日本語能力試験 1 級レベルの漢字を習得することを目標とします。		
				同音異義語を中心に漢字の意味や使い方を学習します。毎週復習テストを行います。		
				参考書 Bibliography		
	テキスト Textbook (s)			評価方法 Manner of Assessment		
ハンドアウト handouts				授業参加 20%, 小テスト 40%, 期末試験 40% Class Participation 20%, weekly quizzes 40%, final examination 40%		
				松本節子・星野恵子 『日本語能力試験まとめで覚える! 漢字単語ドリル 1 級』 ユニコム (2008)		

授業題目	Title	上級漢字	Kanji for Advanced Level	
担当講師名	Instructor (s)	山中 延之	YAMANAKA	
Course No.	Thu. 1	実習	J/MA	日本語実習 4B 漢字研究
JPN413.14		Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji
目標	Objective	日本語能力試験 N1 レベルの漢字を習得する。		
授業内容	Description	日本語能力試験 N1 レベルの漢字の字形・読み・意味、その他注意すべき用法について解説・問題練習を行う。 2 回目以降の授業では、前回の復習テストを行う。		
		The aim of this course is to learn Kanjis of The Japanese-Language Proficiency Test N1 level.		
		We learn mainly letterform, reading and meaning of kanjis of The Japanese-Language Proficiency Test N1 level. A review quiz will be given in every class.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
プリントを配布する。 Handouts		石井怜子・青柳方子 2011 『新完全マスター漢字日本語能力試験 N1』 スリーエーネットワーク 旺文社編 2011 『日本語能力試験ターゲット 1000』 等		授業参加 20%、復習テスト 40%、期末テスト 40% Participation 20%, Quiz 40%, Final Examination 40%

授業題目	Title			上級漢字	Advanced Kanji
担当講師名	Instructor (s)			伊藤 智博	ITO.TOMO
Course No.	Fri. 2	実習	J/MA	日本語実習 4B	上級漢字
JPN413.16	Rec.	Rec.	K	Japanese 4B : Advanced Japanese: Kanji	
目標	Objective			This course is designed to help students improve reading Kanji, writing Kanji.	
授業内容	Description			The purpose of this class is to extend your ability of reading, writing Kanji. And, you can acquire useful expressions, vocabularies in Kanji.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
加納 千恵子 (他) (2001) 『intermediate kanji book vol.2』 kano chieko (2001) 『Intermediate Kanji Book vol.2』			平常点 (50%)、試験 (50%) participation (50%), examination (50%)		

授業題目	日本文明の鍵を読み解く The Civilization of Japan		
担当講師名	久保田 ゆかり	KUBOTA	
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4C 上級読解
JPN414.02	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading
目 標 Objective	この授業では、日本文明に関するエッセイを講読する。これにより、高度の日本語読解能力を習得するとともに、現代日本社会への見識を深めることを目的とする。語彙力を鍛え、表現技法を学びながら、論理展開を効率よく把握する訓練を行う。日本の都市を通して、現代日本文明の諸相を歴史的な展望の中で考察する。		
授業内容 Description	授業で扱うトピックとスケジュールは次の通り。 第1週：群馬 第3週：奈良 第5週：自由都市 第7週：大坂 第9週：長崎 第11週：東京 第13週：広島 第2週：四季 第4週：京都 第6週：江戸 第8週：鎖国 第10週：旅行 第12週：札幌 第14-15週：学期末テストおよび返却・解説	Through reading essays on the civilization of Japan, this course is designed to help students not only acquire advanced their reading comprehension, but also broaden their knowledge about contemporary Japanese society. Enriching their vocabulary and acquiring useful expressions, students will try to effectively grasp logic and structure of Japanese texts. They will also examine various aspects of the civilization of Japan from the viewpoint of "Japanese cities" in the historical context.  The schedule of this course is as follows: Week 1: Japanese archipelago Week 2: Four seasons Week 3: Nara Week 4: Kyoto Week 5: Free city Week 6: Edo Week 7: Osaka Week 8: Isolation Week 9: Nagasaki Week 10: Travel Week 11: Tokyo Week 12: Sapporo Week 14-15: Term examination and Comments	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
コピーを配布 Handouts		梅棹忠夫編著『日本文明 77 の鍵』文春新書（2005年）。 宮原彬編『留学生のための時代を読み解く上級日本語』スリーエーネットワーク（2006年）。	授業への出席と参加度（40%）、学期末試験（60%）。 Grade will be based on class participation (40%), term examination (60%).

授業題目	Title			Advanced Readings in Linguistics		
担当講師名	Instructor (s)		岸田 泰浩	KISHIDA		
Course No.	Mon. 3	実習	J/MA	日本語実習 4C 上級読解		
JPN414.04	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading			
目標	Objective			Designed to help students to improve their skills in reading, especially, on the linguistic literature.		
授業内容	Description			In this class, we will read the texts on linguistics, the Japanese language, and foreign languages. The students will also acquire the basic knowledge of linguistic terms.		
テキスト	Textbook (s)		参考書		Bibliography	
担当教員が作成した教材を配布する To be prepared by the instructor			亀井孝, 千野栄一, 河野六郎編 『言語学大辞典 (第6巻) 術語編』三省堂, 1995 林巨樹, 池上秋彦, 安藤千鶴子 『日本語文法がわかる事典』東京堂出版, 2004 Crystal, D., Dictionary of Linguistics and Phonetics, Wiley-Blackwell, 2008		評価方法 授業参加 (70%) 及び課題 (30%) Class participation (70%) & Assignments (30%)	

授業題目	Title			Reading of Description texts	
担当講師名	Instructor (s)	YAMAZAKI			
Course No.	Mon. 4	J/MA	日本語実習 4C	上級読解	
JPN414.06		RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading		
目標	Objective		The object of this course will be to improve reading and analyzing skills of Japanese descriptive writing and opinion writing.		
授業内容	Description		In this class, we read description texts, and understand the sentence structure , objective description, and interpretation of the writer. The newspaper commentary, magazine articles, and academic Japanese essays will be used as the reading materials. You also have some homework and small tests.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
新聞記事、ハンドアウトなどを教室で配布する。 Newspapers, etc. handouts		『構成・特徴・分野から学ぶ 新聞の読解』 内田安伊子・内田紀子著 スリーエーネットワーク 『上級日本語教科書 文化へのまなざし』 東京大学 AIKOM 日本語プログラム 近藤安月子・丸山千歌編著 東京大学出版会 'Koosei Tokutyoo Bunya kara Manabu Sinbun no Dokkai' Uchida aiko・Uchida noriko 3A Corporaton 'For Advanced Learners of Japanese Facets of Culture' KONDOH Atsuko and NARUYAMA Chika, ABROAD IN KOMABA The University of Tokyo		平常点 (40%)・課題 (10%)・小テスト (20%)・期末テスト (30%) Participation (40%) Homework (10%) Quiz (20%) Final Examination (30%)	

授業題目	Title		Reading about Female Japanese Modern Writers	
担当講師名	山蔭 昭子	YAMAKAGE		日本の近現代女性作家についてのトピックスを読む
Course No.	Mon. 5	実習	J/MA	上級読解
JPN414.08	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading	
目標	To deepen the understanding of female Japanese literature by reading essays and articles about the lives and writings of modern writers and their works.			
Objective	This class aims to broaden the knowledge and understanding of modern Japanese female literature. For this purpose we will be reading essays and articles concerning the writer's life, activity and works. We will read selected works in order to grasp a general picture of Japanese female literature. The student will be expected to sufficiently prepare the readings in advance for each class activity.			
授業内容	この授業では日本の近現代女性作家についての知識と理解を深めるために、小説作品以外のエッセイや記事などを取り上げて読んでいく。代表的な個々の女性作家についてはもちろん、女性文学全体の流れについて把握できるようなものを選んで読んでいく。 映像等も活用していきたい。 受講生は指示されたテキストの範囲について十分な準備をして授業に臨むことが求められる。			
Description				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
プリントを配布する。 Handouts		・岩淵宏子、北田幸恵編著『はじめて学ぶ日本女性文学史 近現代編』ミネルヴァ書房 (2005) ・稲賀敬二他監修『新訂総合国語便覧』第一学習社 (2008)		平常点 (50%)、提出課題と期末レポート (50%) Participation (50%), Assignments & Final essay (50%)
				Manner of Assessment

授業題目	日本文学入門			An Introduction to Japanese Literature	
担当講師名	北川 美香	KITAGAWA			
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4C	上級読解	
JPN414.10	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading		
目標	この授業の目的は、既にながりの日本語読解能力を有する学生が、さまざまなジャンルの日本語の文章を精読しながら、その表現方法を考察することである。また、日本文学への理解を深める一助としたい。				
Objective	This course introduces students to the skills of reading Japanese literature, through reading intensively various materials.				
授業内容	<p>毎回、異なる筆者による完結した内容のテキストを読み、作者のレトリックや感性を分析する。場合によっては、執筆当時の社会状況にも目を向ける。テキストは明治時代から現代まで幅広く取り上げる。</p> <p>先学期に扱われたテキストの例 夏目漱石『火鉢』 村上春樹『風の歌を聴け』 角田光代『対岸の彼女』</p> <p>次週授業で取り上げるテキストを必ず予習しておくこと。 学生の短いプレゼンテーションも求められる。</p>				
Description	<p>In every lesson, we will closely read essays, short stories, poems etc. to analyse techniques of writing.</p> <p>In some cases, we will also learn about the political or social surroundings.</p> <p>Our texts will cover the Meiji era to the present day.</p> <p>Examples of texts read in the last semester.</p> <p>Souseki NATSUME, "Hibachi" Haruki MURAKAMI, "Kazenouta o kike" Mitsuyo KAKUTA, "Taigan no Kanojo"</p> <p>You must read texts in advance. Short presentations are required.</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
現代日本文学全集『夏目漱石集』筑摩書房 (1954) など。 Natsume Sousekishu, Chikuma Shobo (1954), etc.		谷山 茂『国語総覧』京都書房 (2004) Shigeru TANIYAMA, "Kokugo Souran", Kyoto Shobo (2004)		出席点 (30%)、プレゼンテーション (30%)、期末テスト (40%) Participation (30%), presentation (30%), final examination (40%)	



授業題目	Title			Literary works are read and comprehended.Literary works are read and comprehended.		
担当講師名	Instructor (s)			NIHONMATSU		
Course No.	Wed. 2	実習	J/MA	日本語実習 4C	上級読解	
JPN414.14	Rec.	RDG	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading		
目標	日本の文学作品（小説、エッセイなど）を読み、日本語を読解する能力を向上させる。			Literary works (a novel,essay,etc.) of Japan are read, and the capability to read and comprehend Japanese is raised.		
Objective	この授業では、主に日本の文学作品を取り上げて日本語を読む練習をします。授業では、担当者による読解の講義以外に、受講生がそれぞれ興味のある作品を取り上げてプレゼンテーションするという形式で読解の練習を進めます。プレゼンテーションされた文学作品に書かれている内容や表現をくわしく理解することに よって、より高度な日本語読解能力を身に付けてゆきます。受講生がプレゼンテーションする作品は、好きなものを自由に選ば ます。幅広い日本語能力を身に付けてください。			In this course,practice which mainly takes up a literary work of Japan and reads Japanese is carried.By lesson at each time,an attendance student advances practice of reading comprehension in form of taking up and carrying out the presentation of the work which is interested,respectively. More advanced Japanese reading comprehension capability is learned by understanding in detail the contents and expression which are written to the literary work by which the presentation was carried out. In this course,practice which mainly takes up a literary work of Japan and reads Japanese is carried.By lesson at each time,an attendance student advances practice of reading comprehension in form of taking up and carrying out the presentation of the work which is interested,respectively. More advanced Japanese reading comprehension capability is learned by understanding in detail the contents and expression which are written to the literary work by which the presentation was carried out. A theme of the presentation that a student chooses is free. Please learn a lot of Japanese.		
授業内容	Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	
アカデミック・ジャパニーズ研究会『大学・大学院留学生の日本語1 読解編』(アルク、2001年10月) 必要な箇所をコピーして配布します。 Academic Japanese kenkyuukai, "Daigaku/daigakuin ryuugakusei no nihongo 1 dokkaihen", aluk, 2001. 10. Handout of a copy of a necessary part.	松本清張『黒い画集』(新潮文庫、1971年10月)、田辺聖子『ジョゼと虎と魚たち』(角川書店、1987年1月)。必要な箇所をコピーして配布します。 Seicho Matsumoto, "Kuroi gashu", Shinchobunko, 1971. 10, Seiko Tanabe, "Joze to tora to sakanatachi", Kadokawashoten, 1987.1.Handout of a copy of a necessary part.			授業中のプレゼンテーション (60%)、授業への積極的な参加 (40%) Presentation in a class. (60%) Positive class participation. (40%)		

授業題目	日本語能力試験 N1 上級読解			JLPT-N1 Reading	
担当講師名	Instructor (s)		YOSHIKANE		
Course No.	Wed. 3	実習	J/MA	日本語実習 4C	上級読解
JPN414.16	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading		
目標	(コース前半) N1 のための読解力を身につける。 (コース後半) 新聞記事やエッセイなどの読解を通して読解力を身につける。				
Objective	(the first half of the course) To acquire reading skills required for JLPT N1 level (the second half of the course) To acquire reading skills through reading texts such as articles and essays				
授業内容	<p>授業内容は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コース前半           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) N1 のための読解練習を行う。</li> <li>(2) 必要に応じてテキストに出てきた文法事項、表現・語彙などを学習する。</li> </ol> </li> <li>● コース後半           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 新聞やエッセイなどを読む。</li> <li>(2) 文法事項、表現・語彙などを学習する。</li> <li>(3) 読んだ後、クラスやグループで批判したり、話し合ったりする。</li> </ol> </li> </ul> <p>※毎週復習テストを実施する。</p>				
Description	<p>Class Content</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● the first half of the course           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) To work on reading exercises on JLPT-N1 textbooks</li> <li>(2) To learn grammar, expressions and words of the texts, if necessary</li> </ol> </li> <li>● the second half of the course           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) To read texts such as articles and essays</li> <li>(2) To learn expressions and words, too</li> <li>(3) To criticize and discuss about the texts to understand more</li> </ol> </li> </ul> <p>※ A review quiz will be given in each class.</p>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
青山未来、武田聡子、徳島陽子著『日本語能力試験 N1 [読解・言語知識] 対策問題 & 要点整理』日本能率協会マネジメントセンター、ハンドアウト		グループ・ジャマシイ編『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版			
			評価方法	Manner of Assessment	
			出席 (50%) 期末試験 (50%) Participation (50%) Final examination (50%)		

授業題目	Title			Introduction to linguistics	
担当講師名	Instructor (s)	藤原 敬介	FUJIWARA		
Course No.	Thu. 1	実習 Rec.	J/MA RDG	日本語実習 4C 上級読解	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading
目標 Objective	この授業では、言語学の教科書をよむことをとおして、言語学の基礎的な知識を身につけ、日本語読解能力の向上をはかることを目標とします。		This course aims to provide students with a basic knowledge of linguistics.		
授業内容 Description	言語学とは、ことばについて研究する学問分野です。この授業では、言語学の基本的な考え方を、身近な日本語を題材に紹介します。配布資料をよみ、練習問題をとくことをとおして、日本語読解能力の向上をはかります。留学生のみさんの言語とも比較しながら、ことばの不思議を学びたいとおもいます。		Linguistics is the scientific study of language. In this course, you will learn basic ideas of linguistics through investigation of words and expressions commonly used in Japanese. Intensive reading of materials and practicing of exercises will improve your reading skills too. You are also encouraged to provide relevant examples found in your mother tongue.		
テキスト	Textbook (s)	参考書		Bibliography	評価方法
プリントを配布します。 Handouts		風間喜代三ほか・2004.『言語学第二版』東京大学出版会。 - KAZAMA Kiyozo et al. 2004. Gengogaku (second edition). University of Tokyo Press.			Manner of Assessment
					授業への参加度 (50%) および試験 (50%) により評価します。 Class participation (50%) and examination (50%).

授業題目	日本の芸術文化史を読む			Reading of Japanese art history	
担当講師名	井面 舞 INOMO				
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4C	上級読解	
JPN414.20	Rec.	RDG	Japanese 4C : Advanced Japanese: Reading		
目 標 Objective	日本美術史・マンガ論のテキストを読み、それを通じて日本の視覚芸術文化への理解を深めながら、日本語を読解する力を向上させる。		The purpose of this class is to improve the ability to comprehend Japanese, and to understand the visual arts culture of Japan through reading the text of Japanese art history and Manga.		
授業内容 Description	この授業では、彫刻・絵画からマンガまで、さまざまなジャンルの日本の芸術文化に関するテキストを読む。受講者はテキストを予習し、講読の後、内容について意見の交換を行う。		In this class, We read the text concerning a variety of Japanese arts like sculptures, paintings, Manga and etc. The student prepares the text, and after reading, exchanges opinions of the content.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
榊原悟 / 『日本絵画のあそび』 / 岩波書店 / 400-430574-8 夏目房之介 / 『マンガはなぜ面白いのか—その表現と方法』 / NHK 出版 / 4-14-084066-8 Sakakibara Satoru / "Nihonkaiga no Asobi" / Iwanamishoten / 4-00-430574-8 Natsume Fusanosuke / "Manga ha naze omoshiroioka : Sono hyougen to houhou" / NHK shuppan / 4-14-084066-8		辻惟雄、『奇想の図譜』、筑摩書房、2005 Tsuji Nobuo, "Kisou no Zufu", Chikumashobo, 2005		授業参加 (60%)、レポート (40%) Participation (60%), final report (40%)	

授業題目	日本の祭りを読む			Reading about the Japanese Festivals	
担当講師名	タマシ・カルメン		TAMAS		
Course No.	J/MA	日本語実習 4C	上級読解		
JPN414.22	RDG	Japanese 4C	Advanced Japanese: Reading		
目標 Objective	この授業では、日本の祭りについての論文とエッセイを読み、日本語の研究論文の独特な文体に慣れるようになる。同時に日本の代表的な祭りについて基本的な知識を得る。		This course aims to help students get accustomed to the academic style of research papers and at the same time to introduce them to the world of Japanese festivals.		
授業内容 Description	この授業の目標は読解であるが、日本の研究者の論文を読み、日本文化、特に日本の代表的な祭り、つまり雛祭り、葵祭、祇園や天神祭などを理解する。授業では文書の意味を強調し、比較的にデイスカッションする。その上、研究論文の独特な文法と語彙を分析する。		This is a reading comprehension course; however, we shall try to achieve a better understanding of Japanese culture, particularly its festivals, such as Hina Matsuri, Aoi Matsuri, Gion and Tenjin Matsuri, through the reading of studies written by Japanese scholars. In class we shall focus both on the meaning of the texts, discussing them from a comparative perspective, and on the special grammar patterns and vocabulary used.		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
授業の時にハンドアウトを配布する。		『祭礼行事』全47巻 おうふう 『日本民族大辞典』吉川弘文館 Ichiro Hori-- Folk Religion in Japan, The University of Chicago Press 1968		授業参加 (50%) 課題 (50%) Participation 50%, assignments 50%.	

授業題目	日本語表現の方法と実践			Method and practice of Japanese expression	
担当講師名	Instructor (s)	坂田 達紀	SAKATA		
Course No.	Mon. 2	実習 Rec.	J/MA COMP	日本語実習 4D 上級作文	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition
目標 Objective	(1) 日本語文法の重要事項を整理・再確認する。 (2) より高度な日本語の表現のしかたを習得する。 (3) できるだけ多く日本語の文章を書く練習をする。			(1) To help students review and reconfirm important points in Japanese grammar. (2) To help students learn advanced Japanese expressions. (3) To help students practice writing as many Japanese sentences as possible.	
授業内容 Description	まず、これまでに習得した日本語文法についての知識を確認しながら、重要な文法事項を整理する。ついで、句読点の打ち方やレトリック、文章構成法等、日本語表現に必要な知識とスキルを、テキストの例文を参照しながら説明する。さらに、そうしたより高度な日本語表現を用いて実際に文章を書く機会をできるだけ多くもうけたい。				
テキスト	Textbook (s)	参考書		Bibliography	評価方法
吉村 穉編著 『新訂 日本語と表現の工夫』 双文社 出版 (2005) Yoshimura, S. (ed.) Shintei Nihongo to Hyougen no Kufuu. Soubunshashuppan, (2005)		参考書は特に使用しない。 No bibliography will be used.			学期末試験 (50%)、平常点 (50%)、出席点を重視する。 Grades will be based on final examination (50%) and class participation (50%). Regular attendance is essential.

授業題目	日本語による小論文・レポートの作成			Academic Writing in Japanese	
担当講師名	今井 忍	IMAI			
Course No.	Mon. 4	J/MA COMP	日本語実習 4D	上級作文	
	実習 Rec.		Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition		
目標 Objective	この授業では、日本語による小論文・レポートの作成に必要な知識を学習する。論文・レポートがどのように構成されるべきか、他の種類の文章との対比によって把握し、200字程度の文章を構成する練習を繰り返すことで論文のスタイルの定着を図る。また、主張の根拠付けとなる資料の収集方法について、インターネットを通して検索及び図書館での実習を通して学習し、引用の仕方について概説する。学期の後半では、決められたテーマについて2000字程度のレポートを作成することを通して、論文の書き方を実践的に学ぶ。		This class aims to introduce the knowledge necessary to write a paper. Characterization of the structure of a paper or an academic essay will be introduced through the comparison with other types of writings. About 200 letters essay will be assigned in every class in order to develop the academic writing skill. Furthermore, practical lessons on information gathering from the Internet and the university library will be given. The latter half of the semester will be assigned to writing an academic essay of about 2000 letters using the skills acquired in the first half of the semester.		
授業内容 Description	<ul style="list-style-type: none"> <li>●論文・レポートは他のタイプの文章とどのように違うか？</li> <li>●論文の構成</li> <li>●自分の主張を根拠づける - 資料収集と引用の方法</li> <li>●実際にレポートを書いてみよう！</li> </ul> ※ 授業の中で、毎回 200 字程度の文章を書きます。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ what is the difference between academic writings and other writings?</li> <li>・ structure of academic paper</li> <li>・ how to provide a basis for one's claim - gathering information</li> <li>・ writing essay of 2000 letters</li> </ul>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
ハンドアウトを使用する Handouts		浜田麻里・平尾得子・由井紀久子／大学生と留学生のための論文ワークブック／くろしお出版／4874241271 他にも授業中に適宜紹介する Hamada, M., T. Hirao and K. Yui / Daigakusei to Ryuuugakusei no tame no Ronbun Waakubukku (Academic Writing Workbook for University Students and International Students) / Kuroshio Publishers / 4874241271 Others will be introduced in class.	出席・課題：50% 最終レポート：50% Attendance and assignments: 50% Final paper: 50%		

授業題目	レポート・論文のための日本語			Academic Writing in Japanese	
担当講師名	笠松 瑞子	KASAMATSU			
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4D	上級作文	
JPN415.06	Rec.	COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition		
目標	レポートや論文などのアカデミックな文章が書けるようになる。			The aim of this course is to develop your skills to write academic papers.	
Objective					
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. レポート・論文の基礎</li> <li>2. レポート・論文の文体</li> <li>3. レポート・論文の表現</li> <li>4. 首尾一貫した文</li> <li>5. 説明文・意見文・書類</li> </ol>			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Basic knowledge of academic papers</li> <li>2. Style for academic papers</li> <li>3. Expressions for academic papers</li> <li>4. Coherence of a discourse</li> <li>5. Writing for explanations, opinions, and documents</li> </ol>	
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト		アカデミック・ジャパニーズ研究会編著『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』アルク (2001) アカデミック・ジャパニーズ研究会編著『大学・大学院 留学生の日本語④論文作成編』アルク (2002) 二通信子・佐藤不二子『留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク (2000) 浜田麻里・平尾得子・由井紀久子『大学生と留学生のための論文ワークブック』くろしお出版 (1997) 佐々木瑞恵・細井和代・藤尾喜代子『大学で学ぶためのライティング』The Japan Times (2006) 友松悦子『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク (2008)	アカデミック・ジャパニーズ研究会編著『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』アルク (2001) アカデミック・ジャパニーズ研究会編著『大学・大学院 留学生の日本語④論文作成編』アルク (2002) 二通信子・佐藤不二子『留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク (2000) 浜田麻里・平尾得子・由井紀久子『大学生と留学生のための論文ワークブック』くろしお出版 (1997) 佐々木瑞恵・細井和代・藤尾喜代子『大学で学ぶためのライティング』The Japan Times (2006) 友松悦子『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク (2008)	平常点 (50%)・課題 (50%) Participation (50%)・Assignments (50%)	

授業題目	Title				コンピュータで論文を書く人のための上級作文コース	Academic Writing	
担当講師名	Instructor (s)				岩井 康雄	IWAI	
Course No.	Wed. 3		J/MA	日本語実習 4D	上級作文		
JPN415.10	Rec.		COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition			
目標	Objective				The purpose of this course is to develop academic writing skills using computer word processing.		
授業内容	Description				<p>Topics to be covered are</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・How to type Japanese (Hiragana, Katakana, Kanji)</li> <li>・How to use word processor for writing academic papers.</li> <li>・How to use electric dictionaries on a computer or on WWW</li> <li>・How to create your PowerPoint presentation</li> </ul>		
テキスト	Textbook (s)		参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment
授業の時にプリントを配布する。 Materials distributed in the class			浜田麻里・平尾徳子・由井紀久子『論文ワークブック』くろしお出版 (1997年)			出席と毎回の課題による participation (40%) and assignment (60%)	

授業題目	日本語でレポートや論文をかく			Academic Japanese
担当講師名	藤原 敬介	FUJIIWARA		
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4D 上級作文	
JPN415.12	Rec.	COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition	
目標	この授業では、大学のレポートや論文でもちいられる学術的な日本語表現を身につけることを目標とします。		This course aims to provide students with a practical knowledge of writing an academic paper in Japanese.	
Objective	書き言葉（文語体）の日本語は話し言葉の日本語（口語体）とかなりちがいます。		Literary Japanese is quite different from its colloquial counterpart. In this course, we will first focus on writing mistakes which foreign students tend to make and then, by correcting them, try to write Japanese in an academic style as much as possible.	
授業内容	この授業では、留学生がまちがえやすい日本語表現に留意しながら、学術的な場面でもちいられる日本語作文の練習をします。ほぼ毎回課題をだす予定です。			
Description				
テキスト	参考書	Bibliography		
Textbook (s)	石黒圭・筒井千絵. 2009. 『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク. 佐々木瑞枝ほか. 2001. 『大学で学ぶためのアカデミック・ジャパニーズ』ジャパネットタイムズ. - ISHIGURO Kei and TSUTSUI Chie. 2009. Ryugakuse no tame no koko ga taisetu bunshyo hyogen no rurū. 3A Corporation. - SASAKI Mizue et al. 2001. Academic Japanese for International Students. The Japan Times.	評価方法	Manner of Assessment	
プリントを配布します。 Handouts			授業への参加度 (50%) および課題提出 (50%) により評価します。 Class participation (50%) and writing assignments (50%).	

授業題目	映像を見て、文章を書く Watching Videos & Writing Compositions		
担当講師名	山本 一也	YAMAMOTO.K	
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4D 上級作文
JPN415.14	Rec.	COMP	Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition
目 標 Objective	<p>ドキュメンタリー、映画、アニメーションなど、様々な映像を見てもらった上で、それらを描写したり論じたりする、比較的高度な文章を書いてもらいます。</p> <p>それによって、日本語の表現力や作文の構成力を高めることを目指します。さらに、「話しことば」と「書きことば」の違いや、「書きことば」特有の表現をきちんと習得してもらうことも目標としています。また、ただ文章を書くだけでなく、各トピックスを切り口にして、日本語化の特質についても考えてみたいと思っています。</p>		
授業内容 Description	<p>授業で扱う人物・素材は次のようなものを予定しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 大植英次～奇蹟を起こす指揮者</li> <li>② 水谷修～“夜廻り先生”</li> <li>③ 陰陽座～“妖怪ヘヴィメタル・バンド”</li> <li>④ 山田風太郎(作家)～小説『甲賀忍法帖』を読み、アニメ『バジリスク』を見る</li> <li>⑤ 伊坂幸太郎(作家)～映画「アヒルと鴨のコインロッカー」を見る</li> <li>⑥ 岩井俊二(映画監督)～映画「打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？」を見る</li> <li>⑦ アニメ「もやしもん」～“癒し系”について考える</li> <li>⑧ 映画「リング」、ドラマ「怪談新耳袋」～“Jホラー”について考える</li> <li>⑨ アニメ「どろろ」(手塚治虫 原作)～差別表現の問題について考える</li> <li>⑩ 映画「バトル・ロワイアル」(深作欣二 監督)～暴力表現の問題について考える</li> <li>⑪ TV 番組「探偵ナイトスクープ」～関西人のユーモアについて考える</li> <li>⑫ アニメ「しばわんこの和のころろ」～日本の伝統文化を柴犬に習う</li> </ol>		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography
講師作成のテキスト Materials prepared by the instructor		『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』(アルク、2001年) “Japanese for International College/Graduate Students ② Composition” ALC (2001)	
		評価方法	Manner of Assessment
		出席 (60%) + レポート (40%) Participation (60%) + Reports (40%)	
		In this class, after watching a variety of videos—documentaries, movies, animations, and so on, you will write relatively advanced compositions to describe them or argue them. The aim is to improve your ability to describe properly what you saw, express yourself in Japanese and construct Japanese sentences. You will also aim to fully understand the difference of spoken language and written language and to master various expressions peculiar to written language. And through each subject which will be taken up in this class, you will also study the various aspects of Japanese culture.	
		These subjects will be taken up in this class. ① Eiji Oue, a passionate conductor performing miracles ② Osamu Mizutani, “Yomawari Sensei (Guardian Teacher)” ③ Onmyo-za, a Japanese “Yokai Heavy Metal” band ④ Futaro Yamada ~ “Kouga Nimpocho”, “Basilisk” ⑤ Kotaro Isaka ~ “The Foreign Duck, The Native Duck and God in a Coin Locker” ⑥ Syunji Iwai ~ “Fireworks, Should We See It from the Side or the Bottom?” ⑦ “Moyashimon-Tales of Agriculture” ~ thinking about the “healing” boom ⑧ “Ring”/“Kaidan Shin-minifikuro” ~ thinking about Japanese horror movies. ⑨ “Dororo”(written by Osamu Tezuka) ~ thinking about discriminative expressions ⑩ “Battle Royale”(directed by Kinji Fukasaku) ~ thinking about violent expressions ⑪ “Tantei Knight Scoop” ~ thinking about the humor of the Kansai district ⑫ “Shibawanko’s Spirit of Tradition” ~ A shiba dog introduces traditional Japanese cultures	

授業題目	Title	上級作文 Advanced composition		
担当講師名	Instructor (s)	伊藤 智博 ITO.TOMO		
Course No. JPN415.16	Fri. 1	実習 Rec.	J/MA COMP	日本語実習 4D 上級作文 Japanese 4D : Advanced Japanese: Composition
目標 Objective	この授業では、アカデミックな内容が書けることを目標とします。		This course is designed to help students improve their writing ability for academic papers.	
授業内容 Description	クラス内で、論文やレポートに適した文章構成を学び、課題として作文を作成します。		In this course, you will learn how to make proper structure for academic paper. And, you will compose academic paper for assignments.	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法 Manner of Assessment
アカデミック・ジャパニーズ研究会 (2001) 『大学・大学院 留学生の日本語④ 論文編』 アルク				平常点 (50%) 課題提出 (50%) participation (50%) assignments (50%)

授業題目	上級日本語の聴解			Advanced Listening		Comprehension
担当講師名	Instructor (s)	川渕 節子	KAWABUCHI			
Course No.	Mon. 2	実習	J/MA	日本語実習 4E	上級聴解	
JPN416.02	Rec.	Rec.	LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension		
目標	日本語の会話や講義を聞き、選択的聞き取りや大意聞き取り等の有効な聴解ストラテジーを身につける。			Develop the listening ability to follow natural Japanese and acquire listening strategy.		
授業内容	以下の教材を使用して聴解タスクに取り組みとともに、その内容について意見交換を行う。 ① ダイアローグやモノログ (中上級及び上級日本語教材より抜粋) ② テレビ番組 (「しばわんこ和のころ」「ことばおじさんのナック日本語塾」その他) 教材は、日本語・日本文化に関するものをはじめとし、時代のトピックなどを取り入れたものを扱う予定である。			You will work on some listening tasks and exchange views on the following texts. ① dialogue / monologue ② TV programs Texts are concerned with Japanese language, culture, current trends, and others.		
Description						
テキスト	Textbook (s)	参考書		Bibliography		評価方法
講師が作成したハンドアウトを使用		授業で扱うテーマごとに指示		Introduced in class depending on topics.		試験 70% 平常点 30% examination 70% participation 30%
Materials prepared by the instructor						

授業題目	Title			上級を目指す学習者のための聴解		Listening Comprehension for Intermediate to Advanced Learners	
担当講師名	Instructor (s)		出口 雅也				
Course No.	Mon. 4	実習	J/MA	日本語実習 4E		上級聴解	
JPN416.04	Rec.	LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension				
目標	Objective			日本語能力試験 1 級の聴解問題に必要な能力を高める。		To develop listening skills necessary for the Japanese Language Proficiency Test, Level 1.	
授業内容	Description			<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語能力試験 1 級用の聴解問題集に取り組む。</li> <li>日本映画を観て自然な会話を聞き取る訓練をする。また映画の内容について話し合う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>You do listening exercises for the Japanese Language Proficiency Test, Level 1.</li> <li>You watch Japanese movies to improve ability to comprehend natural conversation. You also talk about the content of the movie.</li> </ul>	
テキスト	Textbook (s)		参考書		Bibliography		
『実力アップ！日本語能力試験 1 級聴解問題』からコピーして配布する。	Handouts from "Zituryoku appu! Nihongo nooryoku siken 1 kyuu tyookai mondai."		松本他 (2004). 『実力アップ！日本語能力試験 1 級聴解問題』、東京、ユニコム。		Matumoto et al. (2004). Zituryoku appu! Nihongo nooryoku siken 1 kyuu tyookai mondai. Tokyo: Unicom.		
			評価方法		Manner of Assessment		
			平常点 (40%)、課題・小テスト (60%)		Class participation (40%), Assignments and quizzes (60%).		

授業題目	Title			Advanced Listening Comprehension		
担当講師名	Instructor (s)			ITO.H		
Course No.	Tue. 1	実習	J/MA	日本語実習 4E	上級聴解	
JPN416.06	Rec.		LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension		
目 標	Objective			The aim of this course is to enhance the ability of Japanese to get necessary information in various situations from dairy life to work and study.		
授業内容	Description			Through listening to various types of Japanese, Students learn how to get needed information and build up the vocabulary. Although this course aims to develop listening skill, students are required to convey what they hear to the others and discuss about the topics.		
ハンドアウト	handouts			出席 (60%) + 参加度 (40%) Attendance (60%) + Participation (40%)		
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment	

授業題目		上級学習者のための聴解		Listening Comprehension for Advanced Learners	
担当講師名		高月 喜美		TAKATSUKI	
Course No.		実習		日本語実習 4E 上級聴解	
JPN416.08		Wed. 1		Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>* この授業はすでに中級（おおむね日本語能力試験2級相当）と認められる能力があり、さらに上級（おおむね1級相当）へのステップアップをめざす学生を対象とする。</li> <li>* 日本語能力試験1級の聴解試験に必要な聴解力を高める。</li> <li>* 自然な速さの日本語を聞き、重要な情報が聞き取れるようになる。</li> </ul>				
Objective	<ul style="list-style-type: none"> <li>* This class is intended for the students who have already acquired intermediate Japanese ability, such as the Japanese language Proficiency Test, Level 2 or the equivalent and wish to improve that ability for the advanced Level, Level 1.</li> <li>* To develop the listening skills necessary for the Level 1 Listening Comprehension section of the Japanese Language Proficiency Test.</li> <li>* To learn to glean important information from Japanese spoken at a natural pace.</li> </ul>				
授業内容	<p>この授業では次のような活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 日本語能力試験1級の聴解練習の問題を聞き、質問に答える。</li> <li>* ニュース、ドキュメンタリー、バラエティ、対談などのテレビ番組や様々なラジオ番組の内容を理解する。</li> <li>* 番組の内容について簡単な話し合いを行う。</li> </ul>				
Description	<p>In this class, you will</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* practice listening to questions from the Japanese Language Proficiency Test, Level 1.</li> <li>* watch TV programs (e.g. news, some short documentary episodes, talk shows and variety shows) and listen to various radio programs for further comprehension practice.</li> <li>* engage in simple conversation based on those programs.</li> </ul>				
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法	Manner of Assessment
高月喜美・小南淳子『中・上級学習者のためのマスメディアの日本語聴解』大阪大学日本語日本文化教育センター(2010) 日本語能力試験の過去問等から必要なページをコピーして配布する。 Kimi Takatsuki, Atsuko Kominami "Chu jo kyu gakushusha no tame no mass media no nihongo chokai" CJLC, Osaka University (2010) *All necessary texts and reference materials will be provided by the instructor. *Practice exercises taken from the Japanese Language Proficiency Tests given in the past.	中村かおり 他『新完全マスター聴解日本語能力試験NI』スリーエーネットワーク(2011) 筒井由美子 他『日本語能力試験1級・2級 試験に出る聴解』桐原書店(2005) 日本語教育研究所 編『項目整理 1級問題集』凡人社(1995) 過去に行われた日本語能力試験の問題集 Kaori Nakamura et al. "Shin kanzen master chokai Nihongo noryoku shiken NI" 3A Corporation (2011) Yumiko Tsutsui et al. "Nihongo noryoku shiken Ikyu · 2kyu, Shiken ni deru chokai" Kiriharashoten (2005) Nihongo kyoiku kenkyusho "Komokuseiri Ikyu mondaishu" Bonjinsha (1995)	小テスト・課題・平常点 (50%)、出席 (50%) Comprehension quizzes given in class, assignments and active class participation (50%) ; Attendance (50%)			

授業題目	Title			Academic Listening	
担当講師名	Instructor (s)	岩井 康雄	IWAI		
Course No.	Wed. 4	実習	J/MA	日本語実習 4E	上級聴解
JPN416.10	Rec.		LIS	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension	
目 標	The purpose of this course is to improve listening comprehension and academic listening skills.				
Objective	<p>大学における講義形式の授業を聞き取るための技術を身につけることを目的とする。</p> <p>講義聴解技術を身につけるためにこの授業で学ぶことは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語音声の特徴</li> <li>・ 講義の構造についての理解</li> <li>・ 知らない単語の意味の推測</li> <li>・ ノートの取り方</li> </ul> <p>などである。</p> <p>この授業では、日本の社会、文化、時事問題などについて幅広いテーマを扱う。</p> <p>また、この授業は日常生活での聞き取りに問題のない学生を対象にする。</p>				
授業内容	<p>For academic listening skills, you can learn in this course</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Phonetic characteristics of the Japanese language</li> <li>・ How to recognize the structure of lectures</li> <li>・ How to guess the meaning of words</li> <li>・ How to take notes</li> </ul> <p>Topics about Japanese society, culture and current affairs will be presented.</p> <p>The course is aimed at students who do not have any difficulty listening to everyday language.</p>				
Description	テキスト		Textbook (s)	参考書	Bibliography
	『講義聴解問題集』 CJLC 2004 年				
	Academic Listening, CJLC Japanese language				
	Textbook Library II No. 3, Center for Japanese				
	Language and Culture				
				評価方法	Manner of Assessment
				出席と毎回の課題	Participation and assignment

授業題目	日本語聴解力の向上—上級から超級へ—			Comprehension of spoken Japanese: progressing from advanced to highly advanced level
担当講師名	大崎 紀子	OOSAKI		
Course No.	Thu. 5	J/MA LIS	日本語実習 4E 上級聴解	Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension
目標 Objective	<p>1. 大学の講義を聴き取るための技術を身につける。</p> <p>2. 討論の場など複数の人間が同時に話すような場面でも必要な情報を聴き取ることでできる高度な日本語聴解能力を習得する。</p>		<p>1. To develop your academic listening skills.</p> <p>2. To learn highly advanced listening skills enough to obtain necessary information even on occasions when several people talk at once.</p>	
授業内容 Description	<p>授業では次のような教材を用いて聴く力を養います。</p> <p>1. テレビの討論番組</p> <p>2. 『国境を越えて 改訂版』 山本富美子編著 新曜社 (2007)</p> <p>聞きながらノートを取り、その後で質問に答えて、自分の理解が正しかったかどうかを確認します。教材で用いられる語彙のリストをあらかじめ渡しますから、予習をして授業に臨んで下さい。</p>		<p>You will learn listening skills using the following materials:</p> <p>1. DVDs of television discussion programs</p> <p>2. 『国境を越えて 改訂版』 (2007)</p> <p>You will be encouraged to take notes, and then receive questions about the content of the materials to confirm if your understanding is correct.</p> <p>Vocabulary contained in the material will be provided in advance so that you can prepare for the class.</p>	
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
ハンドアウト配布 Handouts.		『国境を越えて 改訂版』 本文編、語彙・文法編、山本富美子編著 新曜社 (2007)		授業参加 (80%) 課題 (20%) Participation (80%) and assignment (20%)

授業題目	Advanced Listening Comprehension			
担当講師名	上級聴解 熱田 万美	ATSUTA		
Course No. JPN416.14	Fri. 3	実習 Rec.	J/MA LIS	日本語実習 4E 上級聴解 Japanese 4E : Advanced Japanese: Listening Comprehension
目標 Objective	<p>語彙や文法は既知のものであるのに内容が理解できないといったことに対し、何が理解を妨げているのかを一緒に考えて、聞き取りのこつをつかむ</p> <p>The course focuses on items of vocabulary and grammar which are known, but which for some reason remain difficult to understand. The class will reflect together on the nature of the difficulties.</p>			
授業内容 Description	<p>① あらかじめ語彙を確認した上で、録画されたテレビ番組を毎回視聴し、その中でインタビュー、ディスカッションを分析的に聞く。それは、新しい語彙や表現を学習することであるとともに、発話者の気持ちや意図を汲み取る練習である</p> <p>② 視聴した内容に関して、まとめを行う（内容確認問題、要約、意見文など）</p> <p>1) After confirming the relevant vocabulary, students will watch recorded TV programs and analytically listen to shown interviews and discussions. While studying new vocabulary and expressions, students will practise to grasp a speaker's intent and mood. 2) Students will reflect on the content of the shown material and write up summaries or work on exercises confirming their understanding.</p>			
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
ハンドアウト Handouts		楢本総子、宮谷敦美『日本語生中継・中～上級編』くろしお出版（2004年）		授業参加（50%）、課題提出（50%） Participation (50%), Assignments (50%)

授業題目	通訳者になるための実践コース			Practical Interpretation	
担当講師名	Instructor (s)	小倉 慶郎 OGURA.Y			
Course No.	Mon. 2	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話
JPN417.02	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標	この授業では、英→日・日→英の逐次通訳と同時通訳の技術を学び、将来プロの通訳者になれるよう指導する。				
Objective	音声教材を利用して、シャドウイング・リプロダクションなどさまざまな通訳技術を学習する。受講生は、英語・日本語ともにも上級レベルであること。				
授業内容	Interpretation training will be provided with the help of audio materials. Students must be fluent both in English and in Japanese.				
Description					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography		
There is no textbook for this course.		鳥飼久美子著『CDブック「プロ英語」入門——通訳者が実践している英語練習法』講談社インターナショナル Pöhhacker, F. Introducing Interpreting Studies (Routledge)			
			評価方法	Manner of Assessment	
				平常点 (70%)、学期末試験 (30%)、出席を重視。 The course grade will be based on class participation (70%), final examination (30%). Regular attendance is absolutely necessary.	

授業題目	日→英翻訳者になるための実践コース				Practical Translation (J to E only)	
担当講師名	小倉 慶郎		OGURA.Y			
Course No.	Mon. 3	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
JPN417.04	Rec.		CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標	この授業では、日→英翻訳の技術を学び、将来プロの翻訳者になれるよう指導する。		The purpose of this course is to study various skills in written translation from Japanese to English for your future career.			
Objective						
授業内容	朝日新聞の社説などのほか、文学作品（吉本ばなな、村上春樹等）、アニメの字幕翻訳（「となりのトトロ」「千と千尋の神隠し」）などを教材として、プロの翻訳者がどのように訳しているのかを検討する。特に文化的な語句の翻訳に注目したい。		Students will carefully study how professional translators put culture-specific words into English, through materials such as editorials in the Ashahi, famous literary works including Haruki Murakami and Banana Yoshimoto, and Japanese animation by Hayao Miyazaki.			
Description	受講生は、英語・日本語ともに上級レベルであること。		Students must be fluent both in English and in Japanese.			
テキスト	Textbook (s)		参考書		Bibliography	
テキストは特に使用しない。 There is no textbook for this course.			『翻訳の原理』平子義男著、大修館書店 Munday, J. Introducing Translation Studies (Routledge)		Manner of Assessment	
					平常点 (70%)、学期末試験 (30%)、出席を重視。 The course grade will be based on class participation (70%), final examination (30%). Regular attendance is absolutely necessary.	

授業題目	発音矯正 (はつおんきょうせい)			Clinical Training for Better Pronunciation	
担当講師名	福居 誠二		FUKUI		
Course No.	Mon. 3	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話
JPN417.06	Rec.	Rec.	CONV	Japanese 4F	Advanced Japanese: Conversation
目標	日本語の発音を、より自然なものにすること。				
Objective	To make students' Japanese pronunciation more natural				
授業内容	<p>日本語の発音が正確に聞き取れるようになり、発音できるよくなるためには、時間をかけて耳を慣らし、話す機会を増やすことが大切ですが、知って説明します。理解をたすけるために、受講生の母語や英語をはじめとする他のふかい音声との比較などもまじえた授業にします。なお授業の進め方は受講生の数によってかわります。授業計画は1回目と2回目の授業で説明します。授業内容はおよそ次の通りです：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 音声、おと、おん、こえ、せい (1)</li> <li>(2) 音声、おと、おん、こえ、せい (2)</li> <li>(3) 母音、子音 (1)</li> <li>(4) 母音、子音 (2)</li> <li>(5) 母音、子音 (3)</li> <li>(6) 促音、撥音 (1)</li> <li>(7) 促音、撥音 (2)</li> <li>(8) アクセント規則</li> <li>(9) アクセントの聞き取りと発出練習 (1)</li> <li>(10) アクセントの聞き取りと発出練習 (2)</li> <li>(11) アクセントの聞き取りと発出練習 (3)</li> <li>(12) アクセントの聞き取りと発出練習 (4)</li> <li>(13) 最終試験</li> </ol>				
Description	<p>Repeated listening or mimicking training, and frequent conversations with your Japanese friends and teachers may be of much help, of course, but it is a time-consuming work indeed. When you have some knowledge on the producing mechanisms of Japanese speech sounds, and when you can perceive the speech sound of your own languages objectively, you will be better Japanese speakers. The course design is subject to the number of the participants. Details will be announced at the 1st and 2nd classes. Topics dealt in this course are:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) Speech, sound, phonetic units, voice, voicing (1)</li> <li>(2) Speech, sound, phonetic units, voice, voicing (1)</li> <li>(3) Vowels and consonants (1)</li> <li>(4) Vowels and consonants (2)</li> <li>(5) Vowels and consonants (3)</li> <li>(6) Checked and nasal syllabics (1)</li> <li>(7) Checked and nasal syllabics (2)</li> <li>(8) Accent feature and rules</li> <li>(9) Accent perception and production (1)</li> <li>(10) Accent perception and production (2)</li> <li>(11) Accent perception and production (3)</li> <li>(12) Accent perception and production (4)</li> <li>(13) Final test</li> </ol>				
テキスト	Textbook (s)		Bibliography		
「日本語はどんなことば」(ふくいせいじ著、新生会)の音韻編を使います。ただしこの本は絶版になっていますので、作成中の改訂版を使います。これはネット上で公開した受講生には無料でダウンロードできるようにしています。また必要ときには参考文献にもとづいてつくったプリントを配布します。	「日本語はどんなことば」(ふくいせいじ著、新生会)の音韻編を使います。ただしこの本は絶版になっていますので、作成中の改訂版を使います。これはネット上で公開した受講生には無料でダウンロードできるようにしています。また必要ときには参考文献にもとづいてつくったプリントを配布します。		参考書		
One section of "Nihongowa donna kotoba?" (by Fukui S. Shinsaikai) is used. Although this book is sold out now, a new revised edition can be downloaded from a website of the instructor, of which url will be given after registration. Handouts based on the reference books are given occasionally, too.	One section of "Nihongowa donna kotoba?" (by Fukui S. Shinsaikai) is used. Although this book is sold out now, a new revised edition can be downloaded from a website of the instructor, of which url will be given after registration. Handouts based on the reference books are given occasionally, too.		<p>ふくいせいじ「ことばを学ぶ人の発音クリニック」1999 S.K.リ ンケージ 天沼寧・大坪一夫・水谷修「日本語音声学」くろしお出版 平山輝男「全国アクセント辞典」東京堂出版 Fukui Seiji "Kotobao manabuhitono hatuon clinic" 1999 S.K.Linkage Amanuma, Ootubo, Mizutani "Nihongo Onseigaku" Kuroso Syuppan Hirayama Teruo "Zenkoku Akusento Ziten" Tôkyôdô Syuppan</p>		
評価方法	Manner of Assessment				
筆記と実技(聞き取りと発音)の定期試験結果と、授業への積極的で規則的な参加態度を同等に評価します。	Based on the final tests on listening and pronouncing. Positive and regular attendance is equally evaluated.				

授業題目	Title			上級日本語会話—様々なバリエーションでの実践—		Advanced Japanese Conversation -various oral expressions-	
担当講師名	Instructor (s)		湯浅 章子 YUASA				
Course No.	Tue. 1		実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
JPN417.08	Rec.		Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標	Objective			To acquire Japanese conversation skills expected as an advanced level speaker			
授業内容	Description			<p>日本語上級者として求められる会話能力を、様々な場面を想定した練習、実践を通じて身につける。</p> <p>このクラスは日本語能力試験1級 (N1) 相当、あるいは2級 (N2) 以上の能力を有する学生を対象とする。</p> <p>本授業では様々な場面における日本語表現を上級会話テキストを用いて練習、実践する。</p> <p>また、新聞記事や読み物を用いて上級話者としての発音練習を行う。</p>			
テキスト	Textbook (s)		参考書	Bibliography		評価方法	Manner of Assessment
ハンドアウト	Handouts		萩原雅佳子他 2005『日本語上級話者への道—きちんと伝える技術と表現』スリーネットワーク		平常点 (50%) 期末試験 (50%) Class Participation (50%) Final Examination (50%)		

授業題目	グループワークとディスカッションのための上級日本語			Advanced-level Japanese for group work and discussion
担当講師名	高井 美穂			TAKAI
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話
JPN417.10	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation	
目 標	この授業では、少人数でのグループワークやディスカッションが日本語で遂行できるようになることを目指します。			
Objective	In this class, you will learn the structure of informal discussions in Japanese, and various useful expressions. We will have tasks or discussions in each class. Each discussion will be recorded for feedbacks. Through repeated tasks and feedbacks, you will learn following skills;			
授業内容	<p>ディスカッションの「型」や必要な表現を学び、実践とフィードバックを繰り返しながら以下の技術を学びます。</p> <p>① 上手に発言の順番を得ながら、うまく話を始め、続け、終わらせる</p> <p>② 議論で自分の意見を説明する</p> <p>③ 異なるアプローチの利点と不利な点を比較しながら、論点や問題の概略をはっきりと述べる</p> <p>④ 合意点を要約する</p> <p>⑤ 他人に意見を述べるように促したりすることによって、作業を先に進めることに貢献する</p> <p>⑥ 相手の反応や意見、推論にコメントして、議論の進展に貢献する</p> <p>なお、ディスカッションはフィードバックのために録音します。</p>			
Description	<p>1) to initiate, maintain and end discourse appropriately with effective turntaking.</p> <p>2) to account for your opinions in discussion.</p> <p>3) to outline an issue or a problem clearly, weighing advantages and disadvantages of different approaches.</p> <p>4) to summarise the point reached in a discussion.</p> <p>5) to help along the progress of the work by inviting others to join in.</p> <p>6) to give feedback on and follow up statements and inferences and so help the development of the discussion.</p>			
テキスト	参考書	Bibliography		評価方法
Textbook (s)	高本総子・宮谷敦美著『聞いて覚える話し方 日本語生中継 中・上級編』くろしお出版			Manner of Assessment
ハンドアウトを配布します。 Handouts			出席 (30%)、毎回の授業でのパフォーマンス (30%)、期末試験 (40%) Attendance (30%), Performance in each class (30%), Final examination (40%)	

授業題目	Title				Perception and Production of Modern Standard Japanese			
担当講師名	Instructor (s)				KAKUDO			
Course No.	Wed. 4		実習		J/MA		日本語実習 4F 上級会話	
JPN417.12	Rec.		CONV		Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation			
目標	Objective				<p>1. To perceive Japanese word accent.</p> <p>2. To perceive Japanese sentence intonation.</p> <p>3. To produce Japanese word accent.</p> <p>4. To produce Japanese sentence intonation.</p>			
授業内容	Description				<p>Chapter 3 Accent</p> <p>Chapter 4 Intonation</p>			
	<p>1. 日本語の語アクセントの知覚</p> <p>2. 日本語の文アクセント (イントネーション) の知覚</p> <p>3. 日本語の語アクセントの生成</p> <p>4. 日本語の文アクセント (イントネーション) の生成</p>				<p>Chapter 3 Accent</p> <p>Chapter 4 Intonation</p>			
	<p>テキストに沿って概説し練習する。</p> <p>第3章 アクセント</p> <p>第4章 イントネーション</p> <p>受講者はアクセントが知覚できる者に限ります。</p> <p>最初の授業でアクセント知覚能力をテストします。合格しない場合は出席しても無駄になります。</p>				<p>Chapter 3 Accent</p> <p>Chapter 4 Intonation</p>			
	テキスト		Textbook (s)		参考書		Bibliography	
	窪園晴夫監修 田中真一／窪園晴夫著 (1999) 『日本語の発音教室』くろしお出版							
	【注意】受講者は必ず教科書を買ってください。コピーは配布しません。日本には著作権があります。							
	Students must buy the text book. Copy will not be distributed.							
	There is a COPYRIGHT in Japan!							
					評価方法		Manner of Assessment	
							<p>1. 理論の理解度</p> <p>2. 到達目標への達成度</p> <p>にも続いて評価を行う。</p>	

授業題目	話すことと読むことと Conversation and Reading		
担当講師名	波多野 吉徳	HATANO	
Course No.	実習	J/MA	日本語実習 4F 上級会話
JPN417.14	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation
目標	このクラスの目的は論理的に話せるようになることです。言い換えれば、自分の言いたいことを聞き手に伝えるにはどういいう話し方をすればいいかを考えるということです。みなさんは大学生なので、母語では様々なことを的確に伝える術(方法)を知っていますね。それを応用して、日本語でも、母語での話し方に一歩でも二歩でも近づけるようになればいいと思います。		
Objective	The aims of this class is to learn how to tell your ideas accurately and effectively.		
授業内容	<p>論理的な(説得力のある)話し方ができるためには</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①日本語の構造</li> <li>②日本語の談話形式</li> </ol> <p>について基本的な知識をもっていることとともに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>③話題に関する知識</li> <li>④それを表現するための語彙</li> </ol> <p>をもっていることが必要になります。</p> <p>よって、話す前の作業として読む時間を組み入れます。時間の経過とともに、話す時間が多くなっていくでしょう。</p> <p>また、「日本」を知るための参考映像資料を見る予定です。</p> <p>みなさん自身の興味関心がどんなものか今はわかりません。いろいろなことに興味をもつメンバーが集まれば、おもしろい授業になると思います。</p>		
Description	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Reading materials to learn JAPANESE structure and conversation pattern.</li> <li>2. Reading article etc. to learn JAPAN (people,society,culture).</li> <li>3. Based on 1 and 2, speak your ideas to the classmates.</li> <li>4. Watching DVD to learn JAPAN (people,society,culture).</li> </ol>		
テキスト	参考書	Bibliography	
Textbook (s)	菅原克也『英語と日本語のあいだ』講談社現代新書 2086		
ハンドアウト(担当者作成の資料、参考文献の抜粋、輪読用のテキストなど)	Handouts		
	評価方法	Manner of Assessment	
	積極的な授業参加 70% 試験 30%	Participation (positive) 70% Examination 30%	

授業題目	Title			Advanced Japanese: Conversation	
担当講師名	Instructor (s)		OOSAKI		
Course No.	Thu. 4	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話
JPN417.16	Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標	Objective		To acquire Japanese language skills expected as an advanced level speaker		
授業内容	Description		<p>日本語上級話者として求められる会話の能力を身につけること</p> <p>授業では以下のような話題について会話練習をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介で好印象を与えよう</li> <li>2. なくした経歴を話そう</li> <li>3. 動作の順序を説明しよう</li> <li>4. スポーツの面白さを伝えよう</li> <li>5. 言いかえて説明しよう</li> <li>6. ストーリーを話そう その他</li> </ol> <p>語彙や表現のリストをあらかじめ渡しますから、予習をして授業に臨んでください。</p>		
			<p>Topics covered in the class are as follows:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. How to leave a good impression in your self-introduction.</li> <li>2. Have you ever lost something important? Talk about your experiences.</li> <li>3. Explaining the sequence of movement.</li> <li>4. Are there any sports you like to play or watch? Talk about fun of sports.</li> <li>5. Explaining in other words.</li> <li>6. Telling a story, etc.</li> </ol> <p>Vocabulary and expressions requisite for the class will be provided in advance so that you can prepare for the class.</p>		
	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
					Manner of Assessment
ハンドアウト配布 Handouts.			『日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現』 萩原稚佳子他著 スリーエーネットワーク (2005)		授業参加 (80%) 課題 (20%) Participation (80%) and assignment (20%)

授業題目	Title			Advanced Conversation		
担当講師名	Instructor (s)			ATSUTA		
Course No.	Thu. 5	実習	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
JPN417.18	Rec.		CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標	The objective of this course is to learn how to effectively convey one's opinion within limited time and to attain command over richer expression abilities.					
Objective	限られた時間の中で身近なものを的確に表現し伝達する技術を習得する					
授業内容	<p>① 今見ているものを実況報告するなど、身近なものの描写を、限られた時間内に行う練習を毎回し、言いたいことが的確に表現できる訓練をする</p> <p>② 毎回与えられる様々なトピックについて、タスクをこなしながら考えをまとめ表現する。その作業の中で、より効果的な表現があれば学習し、その使い方を練習する</p>					
Description	<p>1) Practising to describe, within limited time, the actual condition of familiar things like objects in the classroom and to train the ability for precise expression.</p> <p>2) Summarising one's thoughts on various given topics, while working on assigned problems.</p> <p>If more effective expressions exist, they are studied and their usage practised.</p>					
テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography			
萩原雅佳子、増田真佐子、齋藤眞理子、伊藤とく美『日本語上級話者への道』スリーエーネットワーク(2005)		授業参加 (60%)、口頭発表 (40%) Participation (60%), Speeches (40%)				
Manner of Assessment						

授業題目	Title			Advanced Conversation	
担当講師名	Instructor (s)	MATSUMOTO.T			
Course No.	Fri. 2	J/MA	日本語実習 4F	上級会話	
JPN417.20	実習 Rec.	CONV	Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation		
目標 Objective	日本人と話すときに注意しなければならない待遇表現を理解する。		To understand different phrases they need to be careful of when speaking to Japanese, depending on situations.		
授業内容 Description	本講義では、主にオフィスで話されている口語を取り上げ、日本で生活するために必要なコミュニケーション能力を伸ばすことを目標とする。 挨拶、電話の応対、依頼、注文、情報伝達、意見交換といった場面を設定し、実際に会話の練習を行う。また、外国人にはわかりにくい日本社会の常識やマナー等についても、学習する。		This class uses ordinary Japanese actually used in conversations at the office, and is designed to bring non-native speakers to the level of communication necessary for daily life in Japan. This class introduces many different situations, for example, greetings, telephone conversations, making requests, placing orders, communicating information, exchanging opinions, and so on. We actually try out the expressions. And we also study Japanese manners and customs and ways of thinking that foreigners might find difficult to understand.		
プリント配布 Handouts	テキスト	Textbook (s)	参考書	Bibliography	評価方法
			野田尚史・森口稔 (2004) 『日本語を話すトレニング』 ひつじ書房 高野岳人・矢島美加子・原啓二・富澤宏光・古市輝子 (1993) 『中級レベルからの実用ビジネス日本語』 アルク		出席 (60%) 学期末テスト (40%) Participation (60%), examination (40%)

授業題目	Title			自分の母語について日本語で説明する			Explaining your mother language in Japanese		
担当講師名	Instructor (s)			大崎 紀子			OOSAKI		
Course No.	Thu. 3			実習			J/MA		
JPN417.22	Rec.			日本語実習 4F			上級会話		
				Japanese 4F : Advanced Japanese: Conversation					
目標	Objective			自分の母語と日本語の違いを説明することを通して、日本語の会話力を高めます。			The aim of this course is to improve your speaking skills in Japanese through comparing your mother language with Japanese and explaining the differences.		
授業内容	Description			授業では以下のような話題を取り上げます： ・類義語 ・慣用句 ・ことわざ など。 なお、授業での討論のために各自準備が必要です。			Topics of discussion in the class will be as follows: - synonymous words - idiomatic phrases - proverbs, etc. Students need to prepare for the discussion in the class.		
テキスト	Textbook (s)			参考書			Bibliography		
ハンドアウト	Handouts			『日本語上級話者への道—きちんと伝える技術と表現』(2005)、『日本語超級話者へのかけはし—きちんと伝える技術と表現 上級から超級へ』(2007)、萩原雅佳子他著、スリーエーネットワーク			評価方法 授業参加 (70%)、課題 (30%) Participation (70%) and assignment (30%)		
							Manner of Assessment		

# MM1

Monday		Tuesday		Wednesday		Thursday		Friday	
CONV (317.02) MIHARA R (352.02) MOTOBAYASHI SP (410.02) HARADA K (413.02) KUBOTA	1301 1302 1303 1312	<b>MSPA [300.02] FURUKAWA</b>	<b>1304</b>	<b>MSPB [300.12] YAMAMOTO.S</b> SP (310.04) NONAKA K (413.10) KUNIKATA RDG (414.12) KATSUKI LIS (416.08) TAKATSUKI CONV (417.10) TAKAI	1304 1302 1301 1307 1303 1312 1312	COMP (315.10) HATANO LIS (316.08) MASHITA CONV (317.10) FURUE SP (410.12) YAMAZAWA K (413.14) YAMANAKA RDG (414.18) FUJIWARA	1301 1302 1303 1312 1309	SP (310.10) MATSUMOTO.T RDG (314.08) TANAKA.K LIS (316.10) KOMORI COMP (415.16) ITO.TOM	1302 1312 1301 1303
<b>MSPA [300.02] HARADA</b>	<b>1304</b>	MR (364.04) WATANABE K (313.04) KITAGAWA RDG (314.02) FURUKAWA COMP (315.04) Lee Yousun LIS (316.04) SOGAWA CONV (317.04) ITO.H R (351.02) SHIMAMOTO SP (410.06) KOBAYASHI	1313 1308 1309 1307 1312 1303 1301 1302	<b>MSPA [300.02] KATSUKI</b>	<b>1304</b>	<b>FURUE</b>	<b>MSPB [300.12] TANAKA.K</b> SP (410.18) KOMORI K (413.16) ITO.TOM CONV (417.20) MATSUMOTO.T	<b>1304</b> 1301 1302 1302 1303	
MR (355.02) TONGU SP (310.02) ISHIBASHI LIS (316.02) MIHARA SP (410.04) YAMAKAWA K (413.04) SHINOHARA RDG (414.04) KISHIDA CONV (417.04) OGURA.Y CONV (417.06) FUKUI	1312 1302 1306 1307 1303 1301 1214 1308	<b>MDR [309.82] SHIMAMOTO</b>	<b>1304</b>	K (313.06) KUNIKATA LIS (316.06) NISHIMURA CONV (317.08) KOMINAMI RDG (414.16) YOSHIKANE COMP (415.10) IWAI	1301 1302 1303 1305 1312	K (313.10) FURUE RDG (314.06) MASHITA SP (410.16) MITO COMP (415.14) YAMAMOTO.K CONV (417.22) OOSAKI	1301 1302 1303 1312 1308	SP (310.12) SYUDO COMP (315.12) FUJIE RDG (414.22) TAMAS LIS (416.14) ATSUTA	1301 1302 1312 1303
MR (362.02) Carmona Daniel William R (331.02) KISHIDA R (341.02) GONOJI R (353.02) SANO SP (410.08) KATSUKI RDG (414.06) YAMAZAKI COMP (415.04) IMAI LIS (416.04) IDEGUCHI	1302 1303 1312 1310 1306 1305 1307 1309	<b>MIS [219.82] KATO.H</b> <b>MIS [219.84] NAKATA</b> <b>MIS [219.86] MIZUTA</b>	<b>1517</b> <b>1516</b> <b>1503</b>	SP (310.06) YOSHIKANE RDG (314.04) HIROKAWA COMP (315.08) NIHONMATSU R (361.02) INOUE.S K (413.12) NISHIMURA LIS (416.10) IWAI CONV (417.12) KAKUDO	1301 1302 1303 1305 1307 1312 1214	SP (310.08) ATSUTA RDG (414.20) INOMO CONV (417.16) OOSAKI	1301 1306 1302	MR (352.04) TAMAS R (344.02) SHIBATA SP (410.20) ATSUTA	1301 1302 1303
MR (350.02) FUKUMITSU COMP (315.02) IDEGUCHI LIS (316.12) KATSUKI R (364.02) NUKITA RDG (414.08) YAMAKAGE	1313 1301 1311 1302 1303			MR (364.06) INUI K (313.08) HIROKAWA R (333.02) YAMAMOTO.S SP (410.10) SHOJI	1313 1301 1302 1303	LIS (416.12) OOSAKI CONV (417.18) ATSUTA	1302 1301	R (332.02) TSUTA	1301

I

II

III

IV

V

# MM2

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	
I	CONV (317.02) MIHARA 1301 R (352.02) MOTOBAYASHI 1302 SP (410.02) HARADA 1303 K (413.02) KUBOTA 1312	MSPA [300.04] KOBAYASHI 1305 MR (364.04) WATANABE 1313 K (313.04) KITAGAWA 1308 RDG (314.02) FURUKAWA 1309 COMP (315.04) Lee Yousun 1307 LIS (316.04) SOGAWA 1312 CONV (317.04) ITO.H 1303 R (351.02) SHIMAMOTO 1301 SP (410.06) KOBAYASHI 1302	MSPB [300.14] HIBI SP (310.04) NONAKA K (413.10) KUNIKATA RDG (414.12) KATSUKI LIS (416.08) TAKATSUKI CONV (417.10) TAKAI MSPA [300.04] NONAKA	1305 1302 1301 1307 1303 1312 1305 1305	COMP (315.10) HATANO LIS (316.08) MASHITA CONV (317.10) FURUE SP (410.12) YAMAZAWA K (413.14) YAMANAKA RDG (414.18) FUJIWARA MSPA [300.04] YAMAZAWA	SP (310.10) MATSUMOTO.T 1302 RDG (314.08) TANAKA.K 1312 LIS (316.10) KOMORI 1301 COMP (415.16) ITO.TOM 1303 MSPB [300.14] IMAI 1305 SP (410.18) KOMORI 1301 K (413.16) ITO.TOM 1302 CONV (417.20) MATSUMOTO.T 1303
II	MSPA [300.04] MIHARA 1305 MR (355.02) TONGU 1312 SP (310.02) ISHIBASHI 1302 LIS (316.02) MIHARA 1306 SP (410.04) YAMAKAWA 1307 K (413.04) SHINOHARA 1303 RDG (414.04) KISHIDA 1301 CONV (417.04) OGURA.Y 1214 CONV (417.06) FUKUI 1308	MDR [309.84] KATO.H 1305 MR (362.02) KATO.H MIS [219.82] NAKATA MIS [219.84] NAKATA MIS [219.86] MIZUTA	K (313.06) KUNIKATA LIS (316.06) NISHIMURA CONV (317.08) KOMINAMI RDG (414.16) YOSHIKANE COMP (415.10) Iwai	1301 1302 1303 1305 1312	K (313.10) FURUE RDG (314.06) MASHITA SP (410.16) MITO COMP (415.14) YAMAMOTO.K CONV (417.22) OOSAKI	SP (310.12) SYUDO 1301 COMP (315.12) FUJIE 1302 RDG (414.22) TAMAS 1312 LIS (416.14) ATSUTA 1303
III	MR (362.02) Carmona Daniel William 1302 R (331.02) KISHIDA 1303 R (341.02) GONOJI 1312 R (353.02) SANO 1310 SP (410.08) KATSUKI 1306 RDG (414.06) YAMAZAKI 1305 COMP (415.04) IMAI 1307 LIS (416.04) IDEGUCHI 1309	MIS [219.82] KATO.H 1517 MIS [219.84] NAKATA 1516 MIS [219.86] MIZUTA 1503	SP (310.06) YOSHIKANE RDG (314.04) HIROKAWA COMP (315.08) NIHONMATSU R (361.02) INOUE.S K (413.12) NISHIMURA LIS (416.10) Iwai CONV (417.12) KAKUDO	1301 1302 1303 1305 1307 1312 1214	SP (310.08) ATSUTA RDG (414.20) INOMO CONV (417.16) OOSAKI	MR (352.04) TAMAS 1301 R (344.02) SHIBATA 1302 SP (410.20) ATSUTA 1303
IV	MR (350.02) FUKUMITSU 1313 COMP (315.02) IDEGUCHI 1301 LIS (316.12) KATSUKI 1311 R (364.02) NUKITA 1302 RDG (414.08) YAMAKAGE 1303	MR (364.06) INUI K (313.08) HIROKAWA R (333.02) YAMAMOTO.S SP (410.10) SHOJI	MR (364.06) INUI K (313.08) HIROKAWA R (333.02) YAMAMOTO.S SP (410.10) SHOJI	1313 1301 1302 1303	LIS (416.12) OOSAKI CONV (417.18) ATSUTA	R (332.02) TSUTA 1301
V						

# MA1

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
I	CONV (317.02) MIHARA 1301 R (352.02) MOTOBAYASHI 1302 SP (410.02) HARADA 1303 K (413.02) KUBOTA 1312	MR (364.06) INUI 1313 K (413.08) Lee Yousun 1301 RDG (414.10) KITAGAWA 1306 COMP (415.06) KASAMATSU 1302 LIS (416.06) ITO.H 1303 CONV (417.08) YUASA 1312	SP (310.04) NONAKA 1302 K (413.10) KUNIKATA 1301 RDG (414.12) KATSUKI 1307 LIS (416.08) TAKATSUKI 1303 CONV (417.10) TAKAI 1312 1312	COMP (315.10) HATANO 1301 LIS (316.08) MASHITA 1302 CONV (317.10) FURUE 1303 SP (410.12) YAMAZAWA 1312 K (413.14) YAMANAKA 1310 RDG (414.18) FUJIWARA 1309	SP (310.10) MATSUMOTO.T 1302 RDG (314.08) TANAKA.K 1312 LIS (316.10) KOMORI 1301 COMP (415.16) ITO.TOM 1303
II	RDG (414.02) KUBOTA 1301 COMP (415.02) SAKATA 1302 LIS (416.02) KAWABUCHI 1303 CONV (417.02) OGURA.Y 1214	MR (364.04) WATANABE 1313 K (313.04) KITAGAWA 1308 RDG (314.02) FURUKAWA 1309 COMP (315.04) Lee Yousun 1307 LIS (316.04) SOGAWA 1312 CONV (317.04) ITO.H 1303 R (351.02) SHIMAMOTO 1301 SP (410.06) KOBAYASHI 1302	COMP (315.06) KOMINAMI 1302 CONV (317.06) HIBI 1303 R (360.02) ITO.TOS 1308 RDG (414.14) NIHONMATSU 1301	SP (410.14) MASHITA 1301 COMP (415.12) FUJIWARA 1302 CONV (417.14) HATANO 1303	SP (410.18) KOMORI 1301 K (413.16) ITO.TOM 1302 CONV (417.20) MATSUMOTO.T 1303
III	MR (355.02) TONGU 1312 SP (310.02) ISHIBASHI 1302 LIS (316.02) MIHARA 1306 SP (410.04) YAMAKAWA 1307 K (413.04) SHINOHARA 1303 RDG (414.04) KISHIDA 1301 CONV (417.04) OGURA.Y 1214 CONV (417.06) FUKUI 1308	<b>MDR [409.82] NAKATA 1301</b>	K (313.06) KUNIKATA 1301 LIS (316.06) NISHIMURA 1302 CONV (317.08) KOMINAMI 1303 RDG (414.16) YOSHIKANE 1305 COMP (415.10) IWAJ 1312	K (313.10) FURUE 1301 RDG (314.06) MASHITA 1302 SP (410.16) MITO 1303 COMP (415.14) YAMAMOTO.K 1312 CONV (417.22) OOSAKI 1308	SP (310.12) SYUDO 1301 COMP (315.12) FUJIE 1302 RDG (414.22) TAMAS 1312 LIS (416.14) ATSUTA 1303
IV	MR (362.02) Carmona Daniel William 1302 R (331.02) KISHIDA 1303 R (341.02) GONOJI 1312 R (353.02) SANO 1310 SP (410.08) KATSUKI 1306 RDG (414.06) YAMAZAKI 1305 COMP (415.04) IMAI 1307 LIS (416.04) IDEGUCHI 1309	<b>MIS [219.82] KATO.H 1517</b> <b>MIS [219.84] NAKATA 1516</b> <b>MIS [219.86] MIZUTA 1503</b>	SP (310.06) YOSHIKANE 1301 RDG (314.04) HIROKAWA 1302 COMP (315.08) NIHONMATSU 1303 R (361.02) INOUE.S 1305 K (413.12) NISHIMURA 1307 LIS (416.10) IWAJ 1312 CONV (417.12) KAKUDO 1214	SP (310.08) ATSUTA 1301 RDG (414.20) INOMO 1306 CONV (417.16) OOSAKI 1302	MR (352.04) TAMAS 1301 R (344.02) SHIBATA 1302 SP (410.20) ATSUTA 1303
V	MR (350.02) FUKUMITSU 1313 COMP (315.02) IDEGUCHI 1301 LIS (316.12) KATSUKI 1311 R (364.02) NUKITA 1302 RDG (414.08) YAMAKAGE 1303		K (313.08) HIROKAWA 1301 R (333.02) YAMAMOTO.S 1302 SP (410.10) SHOJI 1303	LIS (416.12) OOSAKI 1302 CONV (417.18) ATSUTA 1301	R (332.02) TSUTA 1301

# MA2

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday		
I	CONV (317.02) MIHARA R (352.02) MOTOBAYASHI SP (410.02) HARADA K (413.02) KUBOTA	MR (364.06) INUI K (413.08) Lee Yousun RDG (414.10) KITAGAWA COMP (415.06) KASAMATSU LIS (416.06) ITO.H CONV (417.08) YUASA	1313 1301 1306 1302 1303 1312	SP (310.04) NONAKA K (413.10) KUNIKATA RDG (414.12) KATSUKI LIS (416.08) TAKATSUKI CONV (417.10) TAKAI	1302 1301 1307 1303 1312 1309	SP (310.10) MATSUMOTO.T RDG (314.08) TANAKA.K LIS (316.10) KOMORI COMP (415.16) ITO.TOM	1302 1312 1301 1303
II	RDG (414.02) KUBOTA COMP (415.02) SAKATA LIS (416.02) KAWABUCHI CONV (417.02) OGURA.Y	MR (364.04) WATANABE K (313.04) KITAGAWA RDG (314.02) FURUKAWA COMP (315.04) Lee Yousun LIS (316.04) SOGAWA CONV (317.04) ITO.H R (351.02) SHIMAMOTO SP (410.06) KOBAYASHI	1313 1308 1309 1307 1312 1303 1301 1302	COMP (315.06) KOMINAMI CONV (317.06) HIBI R (360.02) ITO.TOS RDG (414.14) NIHONMATSU	1302 1303 1308 1301	SP (410.18) KOMORI K (413.16) ITO.TOM CONV (417.20) MATSUMOTO.T	1301 1302 1303
III	MR (355.02) TONGU SP (310.02) ISHIBASHI LIS (316.02) MIHARA SP (410.04) YAMAKAWA K (413.04) SHINOHARA RDG (414.04) KISHIDA CONV (417.04) OGURA.Y CONV (417.06) FUKUI	<b>MDR [409.84] MIZUTA</b>	<b>1302</b>	K (313.06) KUNIKATA LIS (316.06) NISHIMURA CONV (317.08) KOMINAMI RDG (414.16) YOSHIKANE COMP (415.10) Iwai	1301 1302 1303 1305 1312	SP (310.12) SYUDO COMP (315.12) FUJIE RDG (414.22) TAMAS LIS (416.14) ATSUTA	1301 1302 1312 1303
IV	MR (362.02) Carmona Daniel William R (331.02) KISHIDA R (341.02) GONOJI R (353.02) SANO SP (410.08) KATSUKI RDG (414.06) YAMAZAKI COMP (415.04) IMAI LIS (416.04) IDEGUCHI	<b>MIS [219.82] KATO.H</b> <b>MIS [219.84] NAKATA</b> <b>MIS [219.86] MIZUTA</b>	<b>1517</b> <b>1516</b> <b>1503</b>	SP (310.06) YOSHIKANE RDG (314.04) HIROKAWA COMP (315.08) NIHONMATSU R (361.02) INOUE.S K (413.12) NISHIMURA LIS (416.10) Iwai CONV (417.12) KAKUDO	1301 1302 1303 1305 1307 1312 1214	MR (352.04) TAMAS R (344.02) SHIBATA SP (410.20) ATSUTA	1301 1302 1303
V	MR (350.02) FUKUMITSU COMP (315.02) IDEGUCHI LIS (316.12) KATSUKI R (364.02) NUKITA RDG (414.08) YAMAKAGE			K (313.08) HIROKAWA R (333.02) YAMAMOTO.S SP (410.10) SHOJI	1301 1302 1303	R (332.02) TSUTA	1301

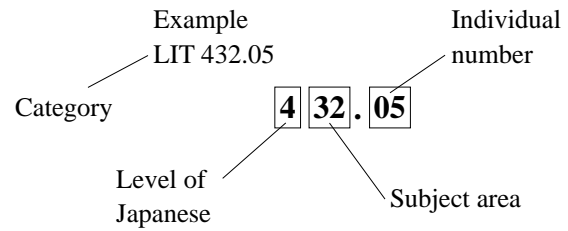
# MA3

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
I	CONV (317.02) MIHARA R (352.02) MOTOBAYASHI SP (410.02) HARADA K (413.02) KUBOTA	MR (364.06) INUI K (413.08) Lee Yousun RDG (414.10) KITAGAWA COMP (415.06) KASAMATSU LIS (416.06) ITO.H CONV (417.08) YUASA	SP (310.04) NONAKA K (413.10) KUNIKATA RDG (414.12) KATSUKI LIS (416.08) TAKATSUKI CONV (417.10) TAKAI	COMP (315.10) HATANO LIS (316.08) MASHITA CONV (317.10) FURUE SP (410.12) YAMAZAWA K (413.14) YAMANAKA RDG (414.18) FUJIWARA	SP (310.10) MATSUMOTO.T RDG (314.08) TANAKA.K LIS (316.10) KOMORI COMP (415.16) ITO.TOM
II	RDG (414.02) KUBOTA COMP (415.02) SAKATA LIS (416.02) KAWABUCHI CONV (417.02) OGURA.Y	MR (364.04) WATANABE K (313.04) KITAGAWA RDG (314.02) FURUKAWA COMP (315.04) Lee Yousun LIS (316.04) SOGAWA CONV (317.04) ITO.H R (351.02) SHIMAMOTO SP (410.06) KOBAYASHI	COMP (315.06) KOMINAMI CONV (317.06) HIBI R (360.02) ITO.TOS RDG (414.14) NIHONMATSU	SP (410.14) MASHITA COMP (415.12) FUJIWARA CONV (417.14) HATANO	SP (410.18) KOMORI K (413.16) ITO.TOM CONV (417.20) MATSUMOTO.T
III	MR (355.02) TONGU SP (310.02) ISHIBASHI LIS (316.02) MIHARA SP (410.04) YAMAKAWA K (413.04) SHINOHARA RDG (414.04) KISHIDA CONV (417.04) OGURA.Y CONV (417.06) FUKUI	<b>MDR [409.86] KISHIDA</b>	K (313.06) KUNIKATA LIS (316.06) NISHIMURA CONV (317.08) KOMINAMI RDG (414.16) YOSHIKANE COMP (415.10) Iwai	K (313.10) FURUE RDG (314.06) MASHITA SP (410.16) MITO COMP (415.14) YAMAMOTO.K CONV (417.22) OOSAKI	SP (310.12) SYUDO COMP (315.12) FUJIE RDG (414.22) TAMAS LIS (416.14) ATSUTA
IV	MR (362.02) Carmona Daniel William R (331.02) KISHIDA R (341.02) GONOJI R (353.02) SANO SP (410.08) KATSUKI RDG (414.06) YAMAZAKI COMP (415.04) IMAI LIS (416.04) IDEGUCHI	<b>MIS [219.82] KATO.H</b> <b>MIS [219.84] MAKATA</b> <b>MIS [219.86] MIZUTA</b>	SP (310.06) YOSHIKANE RDG (314.04) HIROKAWA COMP (315.08) NIHONMATSU R (361.02) INOUE.S K (413.12) NISHIMURA LIS (416.10) Iwai CONV (417.12) KAKUDO	SP (310.08) ATSUTA RDG (414.20) INOMO CONV (417.16) OOSAKI	MR (352.04) TAMAS R (344.02) SHIBATA SP (410.20) ATSUTA
V	MR (350.02) FUKUMITSU COMP (315.02) IDEGUCHI LIS (316.12) KATSUKI R (364.02) NUKITA RDG (414.08) YAMAKAGE	K (313.08) HIROKAWA R (333.02) YAMAMOTO.S SP (410.10) SHOJI	LIS (416.12) OOSAKI CONV (417.18) ATSUTA	LIS (416.12) OOSAKI CONV (417.18) ATSUTA	R (332.02) TSUTA

# 科目コード / Course Numbering System

## 【日本語レベル Levels】

初級 Elementary	100.x -
初中級 Upper-Elementary	200.x -
中級 Intermediate	300.x -
上級 Advanced	400.x -
その他 Courses in English on other languages	000.x -



## 【科目分野 Subject Categories & Areas】

### 日本語・日本文化研修科目 (JPN 00-19)

#### 必修科目 Required

SP	00.01 - 01.99
RK	02.01 - 03.99
LIS	06.01 - 06.99
CONV	07.01 - 07.99
JC	09.01 - 09.79
MDR	09.81 - 09.99

#### 選択科目 Elective

SP	10.01 - 11.99
K	13.01 - 13.99
RDG	14.01 - 14.99
COMP	15.01 - 15.99
LIS	16.01 - 16.99
CONV	17.01 - 17.99
CAI	18.01 - 18.99
JC	19.01 - 19.79
MIS	19.81 - 19.99
GS	20.01 - 20.99

### 言語系研究科目 (LIN 30-39)

R 日本語学入門 Japanese Linguistics (General Survey)	30.01 - 30.99
R 日本語学 Japanese Linguistics	31.01 - 31.99
R 国語学 Japanese Philology	32.01 - 32.99
R 日本語教育学 Teaching Japanese as L2	33.01 - 33.99
R 古典文法 Classical Japanese	34.01 - 34.99

### 文学系研究科目 (LIT 40-49)

R 日本文学入門 Japanese Linguistics (General Survey)	40.01 - 40.99
R 近・現代文学 Modern Literature	41.01 - 42.99
R 古典文学 Classical Literature	43.01 - 44.99
R 漢文 Classical Chinese	45.01 - 45.99

### 文化・歴史系研究科目 (CUL 50-59)

R 芸術学 Arts	50.01 - 50.99
R 民俗・文化 Folklore & Culture	51.01 - 52.99
R 歴史 History	53.01 - 54.99
R 思想・宗教 Thought & Religion	55.01 - 56.99

### 社会科学系研究科目 (SOC 60-69)

R 経済・経営学 Economics & Business Admin	60.01 - 61.99
R 政治学・法学 Politics & Law	62.01 - 62.99
R 国際関係 International Relations	63.01 - 63.99
R 社会学 Sociology	64.01 - 64.99
R 教育学 Education	65.01 - 65.99

### 自然科学系研究科目 (NAT 70-79)

R 自然科学 Natural Sciences	70.01 - 70.99
R 環境問題 Environmental Problems	71.01 - 71.99

### 専門読解・演習 (RS 80/DR 80)

RS 専門読解 Reading in a Specific Field	RS 280.01 - 280.99
DR 専門演習 Directed Research & Reading	DR 480.01 - 480.99

M 配当科目については、略号の前に「M」を加える

りやく  
略 号 / **Abbreviations**

Levels/Programs	
J	Japanese Studies Program
UE	Elementary Level in U Program
UA	Advanced Level in U Program
MM	Intermediate Program
MA	Advanced Program

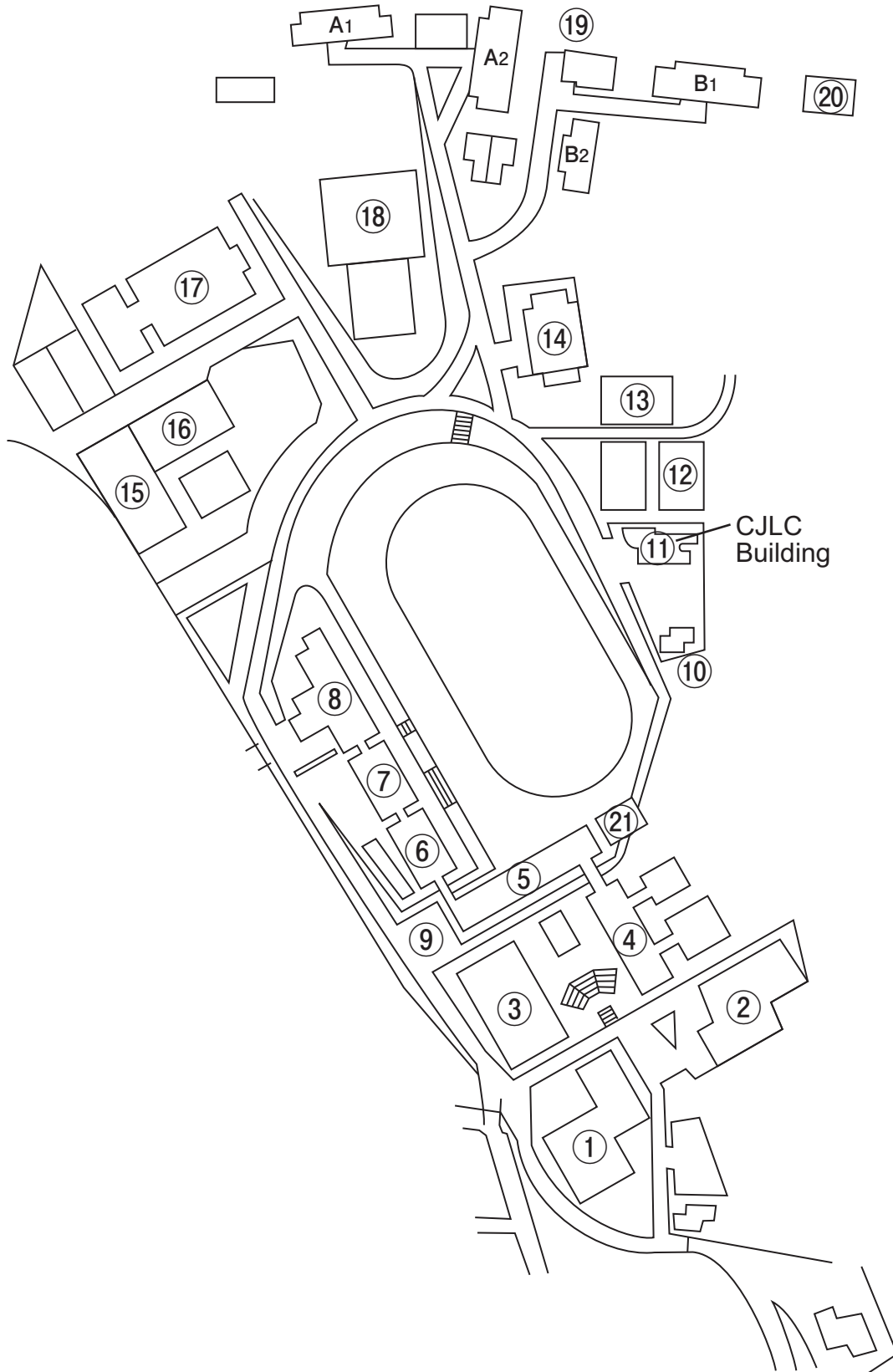
Types	
Lec.	Lecture
Sem.	Seminar
Rec.	Recitation

Subject	
CAI	Computer-Assisted Instruction
CHEM	Chemistry
COMP	Composition
CONV	Conversation
DR	Directed Research and Reading
ENG	English
GS	General Studies
HIST	Japanese History
JC	Japanese Cultural Background
K	Kanji
LIS	Listening Comprehension
MATH	Mathematics
PHYS	Physics
POLI	Politics and Economics
R	Reading and Research
RDG	Reading
RK	Reading and Kanji
RS	Reading in a Specific Field
SP	Sentence Patterns
MDR	Special Seminar on Japanese Language and Culture
MR	Research Subjects in Japanese Studies
MCR	Research Subjects in Comparative Studies
MIS	Independent Studies
MSP	Modern Japanese : Sentence Patterns

みのお がくしゃはいちず  
箕面キャンパス学舎配置図

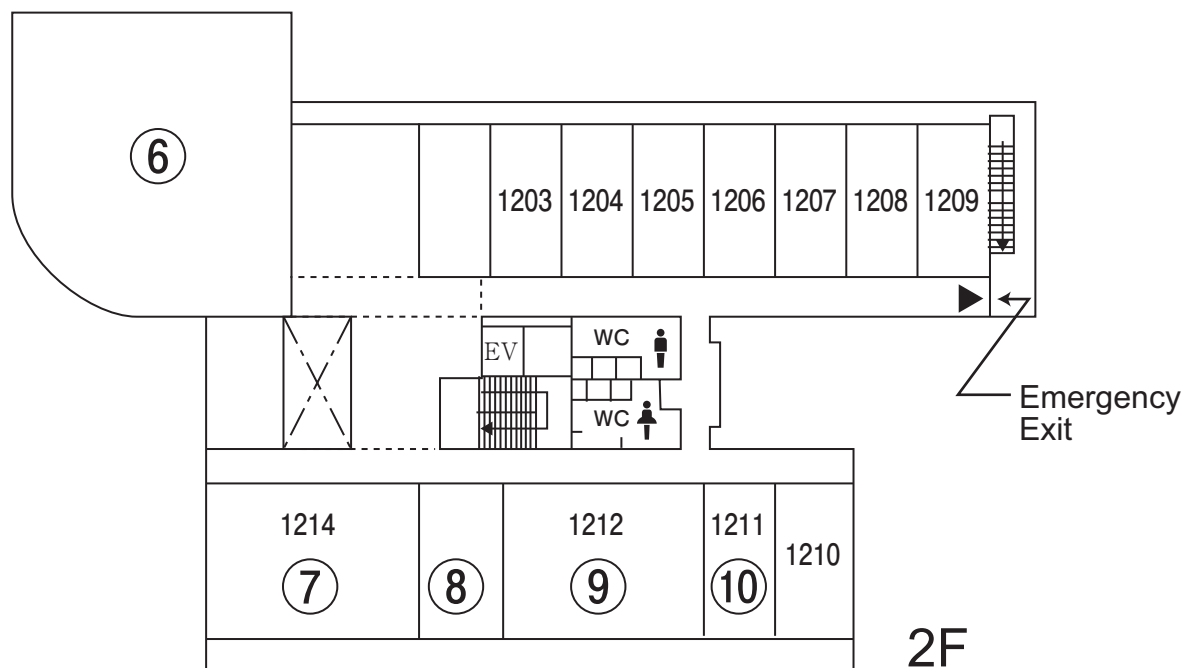
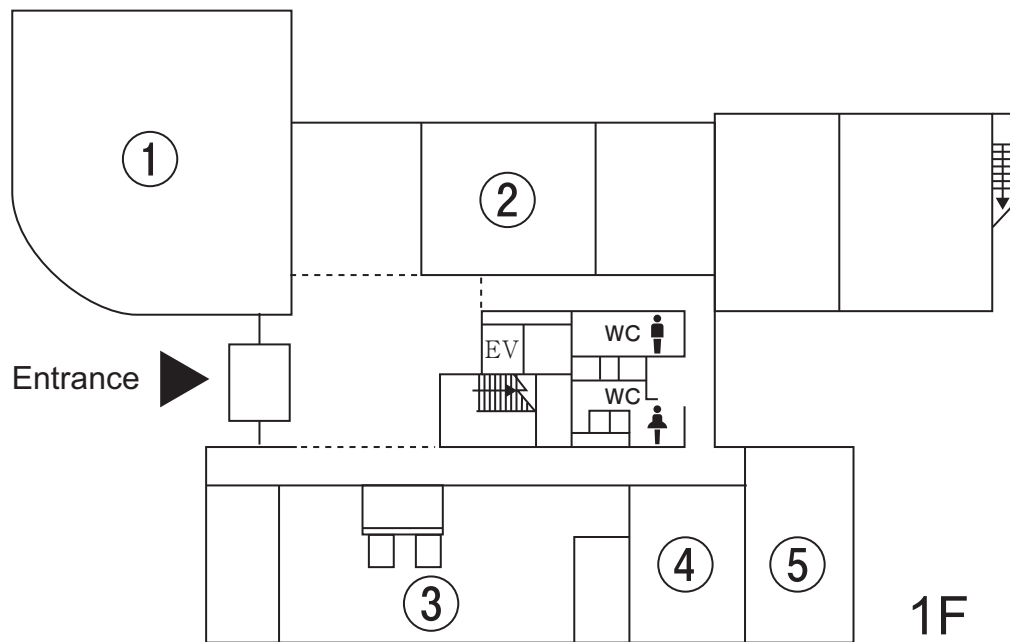
Facility Layout on Minoh Campus

箕面キャンパス学舎配置図  
Facility Layout on Minoh Campus

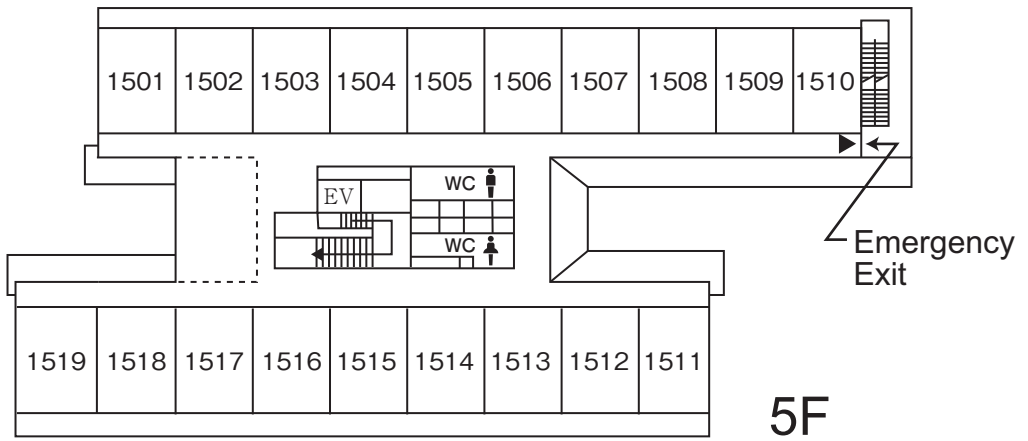
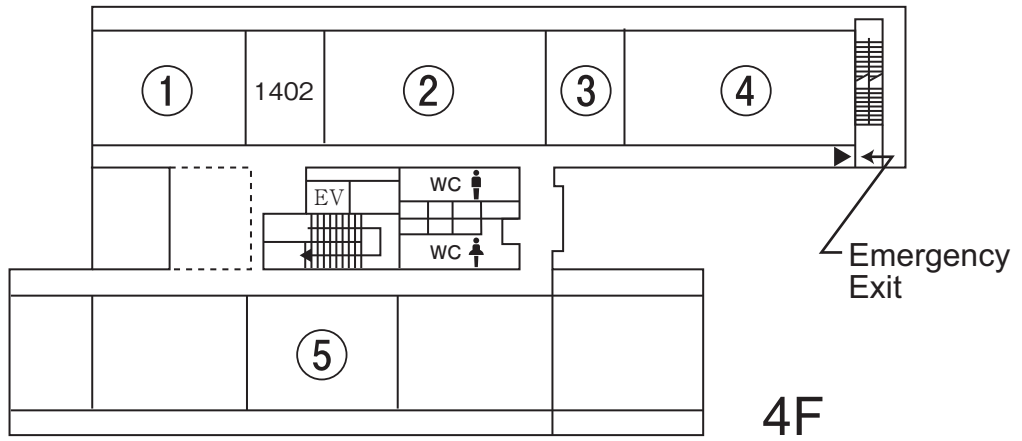
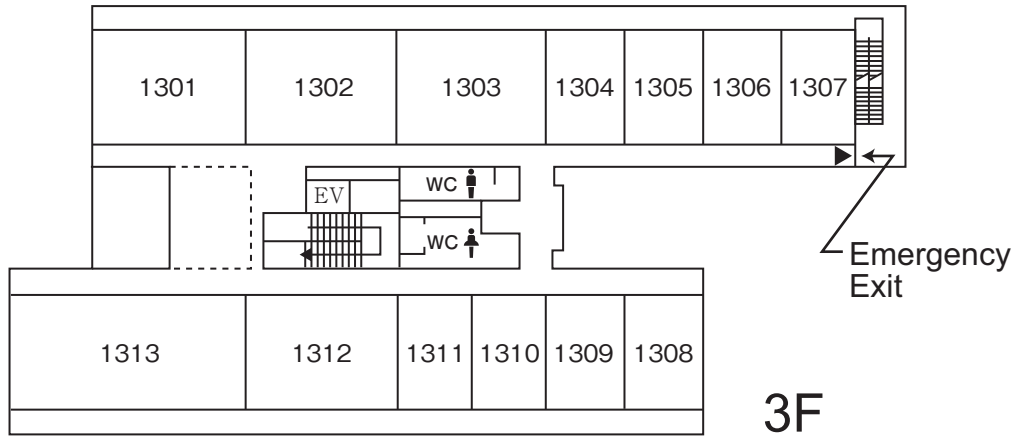


番号 Number	施 設 Facility
①	管理棟 Administration Building
②	箕面福利会館 Minoh Cafeteria & University Bookstore
③	外国学図書館 International Studies Library
④	研究・講義棟 (A 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building A)
⑤	研究・講義棟 (B 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building B)
⑥	研究・講義棟 (C 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building C)
⑦	研究・講義棟 (D 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building D)
⑧	研究・講義棟 (E 棟) Classrooms and Faculty Offices (Building E)
⑨	バスターミナル Bus Terminal
⑩	記念会館 Memorial Hall
⑪	日本語日本文化教育センター棟 Center for Japanese Language and Culture Building
⑫	サークル共用施設 Extracurricular Activities Facilities
⑬	箕面留学生会館 2 号館 Minoh Dormitory for Foreign Students: Building 2
⑭	箕面留学生会館 1 号館 Minoh Dormitory for Foreign Students: Building 1
⑮	ハンドボールコート Handball field
⑯	プール Swimming Pool
⑰	体育館 Gymnasium
⑱	テニスコート Tennis Court
⑲	学生寮 Dormitory for Students
⑳	箕面国際学生宿舎 Minoh International Student House
㉑	総合研究棟 General Research Building

日本語日本文化教育センター棟  
CJLC Building



番号 Number	施設 Facility
①	多目的ホール CJLC Hall
②	講師控室 Instructor's Lounge
③	CJLC 事務室 CJLC Office
④	応接室 Reception Office
⑤	センター長室 Director's Office
⑥	センター図書館 CJLC Library
⑦	LL 実習室 Language Laboratory
⑧	LL 準備室 Audio-visual Equipment Room
⑨	コンピュータ演習室 Computer Room
⑩	コンピュータ小教室 Computer Room



番号 Number	施設 Facility
①	共同研究室 1 CJLC Faculty Room 1
②	物理実験室 Physics Laboratory
③	実験準備室 Lab Equipment Room
④	化学実験室 Chemistry Laboratory
⑤	共同研究室 2 CJLC Faculty Room 2

※ 教員研究室  
Instructor's Offices

部屋番号 Room Number	教員名 Instructor's Name	部屋番号 Room Number	教員名 Instructor's Name
1501	五之治 昌比呂 M. GONOJI	1511	今井 忍 Sh. IMAI
1502		1512	莊司 育子 I. SHOJI
1503	水田 明男 A. MIZUTA	1513	岸田 泰浩 Y. KISHIDA
1504	山蔭 昭子 A. YAMAKAGE	1514	平尾 得子 T. HIRAO
1505	角道 正佳 M. KAKUDO	1515	岩井 康雄 Y. IWAI
1506	蔦 清行 K. TSUTA	1516	中田 一志 H. NAKATA
1507	嶋本 隆光 T. SHIMAMOTO	1517	加藤 均 H. KATO
1508	山川 太 F. YAMAKAWA	1518	奥西 峻介 Sh. OKUNISHI
1509	山本 進 S. YAMAMOTO	1519	柴田芳成 Y. SHIBATA
1510	佐野 方郁 M. SANO		

# 履修届

## Subject Registration Form

Fall Semester, 2011-2012

Name

Nationality

Class

Contact Information

Advisor

印

Student No.

\*Please write your phone number or e-mail address for emergency contact

\*Submit this form to the CJLC Office by October 17th.

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
I	( ..... )	( ..... )	( ..... )	( ..... )	( ..... )
II	( ..... )	( ..... )	( ..... )	( ..... )	( ..... )
III	( ..... )	( ..... )	( ..... )	( ..... )	( ..... )
IV	( ..... )	( ..... )	( ..... )	( ..... )	( ..... )
V	( ..... )	( ..... )	( ..... )	( ..... )	( ..... )

Special Class

( ..... )

ex.

COMP	← Subject
JPN ( 214 . 02 )	← Code
A. SUZUKI	← Instructor

大阪大学日本語日本文化教育センター  
Center for Japanese Language and Culture, Osaka University

発 行 平成 23 年 9 月

Published in September, 2011

編 集 大阪大学日本語日本文化教育センター

Edited by Center for Japanese Language and Culture,  
Osaka University

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東 8 丁目 1 番 1 号

8-1-1, Aomatani-higashi, Minoh, Osaka

Phone (072) 730-5075, 5076 (学生交流推進課)

Fax (072) 730-5074